

平成26年度

# 名古屋市美術館年報

2 0 1 4

# 目次

序	1
沿革	2
展覧会事業	3
1 常設展	3
(1)名品コレクション展	4
(2)常設企画展	12
2 特別展	15
教育普及事業	27
1 教育プログラム	28
1 一般成人対象の事業	28
(1)講演会・解説会	28
(2)コレクション解析学	29
(3)上映会	30
(4)コンサート	30
(5)パフォーマンス・ワークショップ	30
(6)その他	31
2 子ども対象の事業	31
(1)学校休業日の体験活動の推進	31
(2)夏休みこどもの美術館	33
(3)芸術と科学の杜	35
3 学校対象事業	36
(1)ボランティアによる学校団体向け ガイドトークの実績	36
(2)アートカード貸出実績	36
(3)出前アート体験	37
(4)就業・職業・職場体験及び 職場訪問受け入れ	39
(5)教員対象の講座	40
(6)その他	40
2 ボランティア	41
(1)ボランティア登録者	41
(2)定例会	41
(3)ガイド活動	42
(4)サポート活動 系の活動	42
(5)その他	43
3 協力会	45
4 図書室	45
5 出版	46
資料	47
1 収集	47
(1)受贈	48
(2)資料収集状況一覧	66
2 保存・修復	67
3 貸出	68
入館者一覧	70
組織・予算	71
1 組織図	71
2 美術館協議会	71
(1)名古屋市美術館協議会委員	71
(2)名古屋市美術館協議会開催状況	71
3 職員	71
4 運営予算	71

# 序

## PREFACE

名古屋市美術館の平成26年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

当館に限らず、日本の美術館を取り巻く状況は相変わらず大変厳しいものがありますが、優れた美術作品を多くの方々にご紹介するという、美術館本来の目的の達成のために、一步一步努力を積み重ねていきたいと考えております。市民の皆様方には、これまで以上に美術館に対するご支援とご理解を賜りたいと考えております。

美術館活動の根幹は、何と言っても充実したコレクションにあります。今年度は残念ながら新たな購入作品はありませんでしたが、地元作家を中心に数多くのご寄贈をいただくことができ、新たに128点もの作品をコレクションに加えることができました。19人の作家による、洋画、日本画、水彩・素描、写真等、多彩な作品の数々により、地方美術館の使命の一つである郷土美術のコレクションを一層充実することができました。特に50点近い作品をまとめてご寄贈いただいた鷺見磨については、次年度の常設企画展の中で特集してご紹介したいと考えています。

特別展については、日本の現代美術のトレンドを作ったともいえる「マインドフルネス！高橋コレクション展決定版2014」にはじまり、激動する戦後社会の中で日本画の本質を新たに問い直した画家たちの活動を紹介する「挑戦する日本画：1950～1970年代の画家たち」を7月から8月の夏休みの期間に開催しました。その後9月から10月にかけては、世界トップクラスの現代美術のコレクションを持つ台湾のヤゲオ財団の作品を紹介する「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である」展を開催しました。展示された作品の質の高さもさることながら、美術品の持つ市場価値にまで踏み込んだ解説は、来館者の方々に様々な問題意識を提供しました。11月から12月にかけては、子供たちの姿を通して現代世界の諸相を検証する「ゴー・ビトゥーンズ：こどもを通して見る世界展」を開催しました。そして年度最後には、2009年に開催し、大変な反響を呼んだだまし絵展の第二弾「だまし絵II」を開催しました。現代美術の多様な表現に視点を置いた今回の第二弾では、様々な新しいだましのテクニックを駆使した作品が生み出す驚きの表現に、会場内のいたるところで歓声上がる賑やかで楽しい展示になりました。

常設展は例年通り、収集方針ごとに小テーマを設け、それぞれの作品の特徴を浮かび上がらせるように工夫してご覧いただきました。美術館の魅力の基本はコレクションであり、それをご紹介する常設展こそが活動の中心、という方針をさらに徹底するべく、作品の魅力をより分かりやすくお伝えする常設展を目指したいと思っております。

教育普及活動については、例年通り講演会や講座、常設展、特別展でのギャラリートーク、「キッズの日」や「夏休みこどもの美術館」といった子どもたち向けの事業、出前授業、教師のための美術館利用研修など、精力的に展開しました。クリスマス直前の12月20日と21日の二日間、科学館の建物を利用したプロジェクト・マッピングが白川公園で行われましたが、美術館も連動して臨時の夜間開館とコンサートを行い、大勢の来館者をお迎えすることができました。多彩な美術館活動を支えていただいているボランティアの皆さんは、現在約100名の方に登録していただいております。常設展のギャラリートークを中心に、精力的な活動を展開しています。

平成30年には開館30周年を迎えますが、今後は大学との共同連携や、募金による作品の収集など、新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えております。どうぞ、これまで以上に美術館活動に対するご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

2015年11月

名古屋市美術館

## 沿革 HISTORY

- 昭和52年12月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和56年1月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
- 12月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和57年2月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、美術館のあり方について諮問
- 4月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和58年1月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）基本構想について」答申
- 7月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
- 8月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 10月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和59年3月 建築基本設計完了
- 9月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和60年1月 建築実施設計完了
- 2月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
- 7月 美術館建設工事着手
- 昭和61年11月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和62年4月 美術館開設準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
- 7月 美術館本体工事完成
- 10月 外構工事完成
- 昭和63年3月 「名古屋市美術館条例」制定
- 4月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
- 4月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年9月 博物館登録
- 平成5年9月 南側エレベーターの設置
- 平成7年6月 美術館長（剣持一郎 元名古屋市教育長）委嘱  
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成10年10月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成11年6月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成14年6月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成18年6月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱  
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成21年5月 美術館長（松永恒裕 元名古屋市総務局長）委嘱
- 6月 開館以来1,000万人目の入館者を迎える
- 平成26年5月 美術館長（横井政和 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱

平成26年度の常設展（名品コレクション展）は、これまで5年間継続してきたコレクションの多角的な紹介の形式を変更して、各コーナーにおいて年間を通しての計画を立案する方式によって、総計3回（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）の展示を行いました。

「エコール・ド・パリ」のコーナーにおいては、Ⅰ「パリの女性たち」では、華やかな大都会の片隅に生きる女性たちの姿を親密感に溢れた表現で描いた女性像を展示しました。Ⅱ「パスキンの版画から」では、豊富なコレクション（総計65点）のなかからパスキンの多彩な版画技法を紹介しました。Ⅲ「モディリアーニと友人たち」では、モディリアーニの友人関係を解き明かすように展示解説しました。

「メキシコ・ルネサンス」のコーナーにおいては、メキシコ壁画運動の三大巨匠（オロスコ、リベラ、シケイロス）を中心として、作品のモチーフ（題材）に着目したテーマで展示しました。Ⅰ「労働（者）」では、マゲイ（龍舌蘭）農園で働く母と子と農園主夫人を描いたオロスコの《メキシコ風景》と世界恐慌の不況に喘ぐニューヨークの《地下鉄／労働者（失業者）》など、Ⅱ「こども」では、我が子の洗礼のために教会に向かう一家と幼子を亡くして墓地に向かう家族が交錯する北川民次の《トラルパム霊園のお祭り》や貧しい部屋の片隅に座ってタコス頬張る男の子を見上げる犬を描いたりベラの《タコスを持つ子供》など、Ⅲ「神・信仰」では、アステカ帝国の最後の皇帝への信仰にも似た崇拜を託したシケイロスの《カウテモック

の肖像》から、スペインによる征服からはじまったキリスト教の布教の本質を描いたオロスコの《修道士とインディオ》、そしてキリスト教に改宗したメキシコ民衆の信仰心を写したブラボの写真など、年間を通して、メキシコの画家・写真家たちが普遍的なテーマをどのように描いたのかを紹介しました。

「現代の美術」のコーナーでは、Ⅰ「1950～60年代の美術」、Ⅱ「1970～80年代の美術」、Ⅲ「1990年代以降の美術」と、年代を追い駆けるかたちで、荒川修作・河原温・桑山忠明を中心としたコレクションによって、日本の現代美術の展開を紹介しました。

「郷土の美術」のコーナーでは、季節感を表現したⅠ「“牧歌的”風景－春から初夏にかけて」、写真作品の表現に着目したⅠ「拡張する表現－身体メタファー」とⅢ「坂田稔：造型写真－前衛と民藝」、そして郷土の画家・浅野弥衛の生誕100年を記念したⅡ「浅野弥衛と桜画廊の作家」を展示しました。

常設企画展としては、開館以来、寄託されているコレクションによる現代日本画を代表する画家の「没後10年記念 加山又造版画展」を開催しました。また、名古屋の現代美術を紹介する「ポジション」展の常設企画展版である「ポジション2014 伊藤正人－水性であること」展を開催しました。常設展示室3の壁面に水性の万年筆で書かれた言葉の連なりは静けさを湛えていました。

# (1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of  
Nagoya City Art Museum

## 名品コレクション展 I

会期：2014年4月12日(土)～8月31日(日)

常設展示室 1・2

\*：寄託作品 ☆：初出品

i：前期4月12日(土)～6月8日(日)

ii：後期7月5日(土)～8月31日(日)

### 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	
<b>コレクション解析学</b>						
1	藤田嗣治	自画像	1929	油彩、鉛筆、金箔・キャンヴァス	81.4×65.5	i
2	中村正義	男女	1963	紙本着彩	182.0×259.5	ii

### エコール・ド・パリ：パリの女性たち

1	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	i・ii
2	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6	i・ii
3	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0	i・ii
4	マリー・ローランサン	サーカスにて	1913頃	油彩・キャンヴァス	116.5×89.0	i・ii
5	アメデオ・モディリアーニ	立てる裸婦(カリアティードのための習作)	1911-12頃	油彩、水彩・紙、板	83.0×47.8	i・ii
6	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	1918頃	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
7	ジュール・バスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0	i・ii
8	ジュール・バスキン	横たわるエリアース	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6	i・ii
9	ハイム・スーチン	鳥のいる静物	1918-19頃	油彩・キャンヴァス	60.0×81.5	i・ii
10	ハイム・スーチン	農家の娘	1919頃	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0	i・ii
11	モーリス・ユトリロ	マルカデ通り	1909	油彩・キャンヴァス	60.3×81.3	i・ii
12	モーリス・ユトリロ	ラバン・アジュール	1913頃	油彩・キャンヴァス	50.0×65.0	i・ii
13	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0	i・ii

### 現代の美術：1950年代-60年代の美術

1	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i・ii
2	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i・ii
3	赤瀬川原平	押収品・模型千円札Ⅱパネル作品	1963	模型千円札Ⅱ、写真、ポルト・パネル	82.0×79.0	i・ii
4	赤瀬川原平	押収品・模型千円札Ⅲ梱包作品(かばん)	1963	模型千円札Ⅲ、紐、かばん、ラベル	30.0×40.0×8.0	i・ii
5	赤瀬川原平	押収品・模型千円札Ⅲ梱包作品(ボトル)	1963	模型千円札Ⅲ、紐、ボトル、ラベル	25.0×10.0×6.0	i・ii
6	赤瀬川原平	押収品・模型千円札Ⅲ梱包作品(かなづち)	1963	模型千円札Ⅲ、紐、かなづち、ラベル	25.0×7.0×4.0	i・ii
7	芥川(間所)紗織	古事記より	1957	染色・木綿	172.0×660.0	i
8	荒川修作	デュシャンの大ガラスを小さな細部としている図式	1963-64	アッサンブラージュ	230.0×168.0×57.0	i・ii
9	荒川修作	無題	1964	油彩・キャンヴァス、コラージュ	162.1×130.0	i・ii
10	池田龍雄	貌(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ・紙	29.2×37.4	ii
11	池田龍雄	秩序	1955	インク、鉛筆・紙	37.7×28.4	i
12	池田龍雄	禽獣記シリーズ その1	1957	インク、水彩・紙	36.3×26.4	ii
13	池田龍雄	監視者(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ、水彩・紙	40.1×31.2	i
14	池田龍雄	街	1958	コンテ、水彩・紙	29.1×37.5	ii
15	池田龍雄	神童(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ、水彩・紙	37.7×29.3	i
16	池田龍雄	巨食(禽獣記シリーズ)	1958	インク、コンテ、水彩・紙	40.8×30.5	ii
17	池田龍雄	虫類図譜シリーズA	1958	インク、水彩・紙	28.8×37.4	ii
18	池田龍雄	虫類図譜シリーズB	1959	インク、コンテ、水彩・紙	37.4×28.8	i
19	池田龍雄	虫類図譜シリーズE	1959	インク、水彩・紙	37.3×29.0	i
20	池田龍雄	はじき(玩具世界シリーズ)	1967	インク、コンテ、水彩・紙	39.0×31.1	i
21	石井茂雄	暴力シリーズー戒厳状態Ⅲ	1956	油彩・キャンヴァス	112.2×145.7	i・ii
22	石井茂雄	暴力シリーズー審判	1957	油彩・キャンヴァス	130.0×161.6	i・ii
23	大野倭嵩	緋	1963	絹本着彩、ジュート	117.0×93.0	i・ii

24	岡本太郎	明日の神話	1968	油彩・キャンヴァス(3パネル)	132.7×728.9	ii
25	河原温	カム・オン・マイ・ハウス	1955	油彩・キャンヴァス	125.0×181.0	i・ii
26	河原温	私生児の誕生	1955	油彩・キャンヴァス	132.0×194.0	i・ii
27	桑山忠明	無題	1965	アクリル・キャンヴァス	247.7×215.9	i・ii
28	星野真吾	黒い犠牲	1966	紙本着彩	122.0×183.0	i・ii
29	三上誠	アクロバットショウ	1957	紙本着彩	122.2×122.2	i・ii
30	吉仲太造	生きものK	1955	油彩・キャンヴァス	181.0×226.5	i・ii

## メキシコ・ルネサンス:労働(者)

1	マリア・イスキエルド	無題	1938	グワッシュ・紙	20.7×26.3	i・ii
2	ホセ・クレメンテ・オロスコ	地下鉄/労働者(失業者)	1929	油彩・キャンヴァス	46.5×53.8	i・ii
3	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i・ii
4	ホセ・クレメンテ・オロスコ	ブルケリア	1928	リトグラフ・紙	33.0×41.9	i・ii
5	ホセ・クレメンテ・オロスコ	群衆	1935	リトグラフ・紙	34.0×43.0	i・ii
6	ホセ・クレメンテ・オロスコ	示威行動	1935	リトグラフ・紙	32.0×43.0	i・ii
7	ホセ・クレメンテ・オロスコ	失業者たち	1944	エッチング、アクアチント・紙	23.0×17.0	i・ii
8	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	奴隷	1961	アクリル・板	86.4×64.8	i・ii
9	ベン・シャーン	友達の写真屋	1945	テンペラ・板	50.8×76.2	i・ii
10	ベン・シャーン	牛乳工場で働く囚人たち	1934	グワッシュ・紙	35.6×49.5	i・ii
11	ジョン・スローン	ヴェルジ監獄の解体	1929	テンペラ、油彩・厚紙	76.2×61.0	i・ii
12	マニエル・アルバレス・ブラボ	市場の終り	1931	プラチナパラジウムプリント・紙	35.0×28.0	i
13	マニエル・アルバレス・ブラボ	溶鉱土	1935	プラチナパラジウムプリント・紙	25.4×20.3	ii
14	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:統一戦線]	1928頃	ゼラチンシルバープリント・紙	24.1×18.9	i
15	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:抗議]	1928	ゼラチンシルバープリント・紙	24.1×18.6	ii
16	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:労働へ]	1928頃	ゼラチンシルバープリント・紙	21.0×14.5	i
17	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:労働組合]	1928頃	ゼラチンシルバープリント・紙	25.3×20.3	ii
18	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:脱穀]	1928頃	ゼラチンシルバープリント・紙	21.0×14.5	i
19	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:トラクター]	1928頃	ゼラチンシルバープリント・紙	25.3×20.2	ii
20	ディエゴ・リベラ	ヘンリー・ノーウェップの肖像	1935	油彩・板	115.1×91.2	i・ii
21	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii

ia: 4月12日(土)～5月6日(火・祝)    ib: 5月8日(木)～6月8日(日)  
 iia: 7月5日(土)～8月3日(日)        iib: 8月5日(火)～8月31日(日)

## 郷土の美術:“牧歌的”風景—春から初夏にかけて

☆ 1	水野清亭	春麗	1914	絹本着彩、金地	屏風(二曲一双)	各171.1×184.8	ia
☆ 2	水野清亭	初夏の朝	1915	絹本着彩、金地	屏風(二曲一双)	各171.5×180.8	ib
☆ 3	水野清亭	日ざかり	1916	絹本着彩、金地	屏風(二曲一双)	各171.1×184.8	ib
☆ 4	水野清亭	清水陽春	n.d.(1910年代前半)	紙本着彩、軸装		172.8×82.0	ia
5	平岩三陽	初夏	n.d.(1920年代後半)	紙本着彩、軸装		129.5×42.0	ib
6	佐藤空鳴	晩春風景(分譲地風景)	1929	紙本着彩、軸装		84.5×101.0	ia
7	横山菖生	雨後	n.d.(1920年代後半)	紙本墨画、額装		74.0×116.0	ib
* 8	日高長太郎	山岳の雨	1918	紙、ゴム印画		30.5×41.4	ib
* 9	日高長太郎	雨の夕	1918	紙、ゴム印画		31.0×40.7	ib
* 10	日高長太郎	春の海辺	1919	紙、ゴム印画		31.1×42.8	ia
* 11	日高長太郎	木曾路の春	1920	紙、ゴム印画		30.4×40.8	ia
* 12	日高長太郎	朝の光	1920	紙、ゴム印画		28.0×41.7	ia
* 13	日高長太郎	山間の朝	1920	紙、ゴム印画		31.0×41.8	ia
* 14	日高長太郎	海	1925	紙、ゴム印画		31.2×40.4	ia
* 15	日高長太郎	木陰	1925	紙、ゴム印画		30.8×41.3	ia
* 16	日高長太郎	白樺	1925	紙、ゴム印画		27.6×38.5	ib
* 17	日高長太郎	高雄風景	1926	紙、ゴム印画		22.5×27.7	ib
* 18	日高長太郎	嵐峡	1926	紙、ゴム印画		22.9×28.0	ia
* 19	大橋松太郎	川原の春	1917	紙、ゴム印画		13.5×10.5	ia
* 20	大橋松太郎	白樺	1918	紙、ゴム印画		23.0×28.3	ib
* 21	大橋松太郎	田口にて	1922	紙、ゴム印画		29.0×22.0	ia
* 22	大橋松太郎	題不詳	1924	紙、ゴム印画		29.2×41.0	ib
* 23	大橋松太郎	雨の棧橋	n.d.(1920年代前半)	紙、ゴム印画		28.1×22.4	ia
* 24	大橋松太郎	奈良の印象	1924	紙、ゴム印画		40.4×28.3	ia
* 25	大橋松太郎	春の海	1926	紙、プロムオイル印画		22.0×28.5	ia
* 26	大橋松太郎	題不詳	n.d.(1920年代前半)	紙、ゴム印画		19.2×13.6	ib

27	益子愛太郎	春の光	1920	紙、コロタイプ印刷	14.6×19.7	i a
28	益子愛太郎	濱邊	1922	紙、ゴム印画	32.3×41.6	i b
29	榊原青葉	清水の春	n.d.(1920年代後半)	紙、ゴム印画	28.8×39.9	i a
30	榊原青葉	白亜の光	1922	紙、コロタイプ印刷	13.5×20.2	i a
31	松浦幸陽	若葉の光	1922	紙、コロタイプ印刷	13.9×15.2	i a
32	高田皆義	春の風景	1924	紙、コロタイプ印刷	13.8×19.9	i a

## 郷土の美術：坂田稔「造型写真」—前衛と民藝

* 1	坂田稔	ノイエザハリヒカイト/新即物主義/新興写真	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	42.9×52.7	ii a
* 2	坂田稔	抱合曲線	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	37.8×30.2	ii a・ii b
* 3	坂田稔	嫉妬	1937	ゼラチンシルバープリント・紙	32.7×29.7	ii a・ii b
* 4	坂田稔	渚の夢	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	39.7×47.8	ii b
* 5	坂田稔	危機	1938	ゼラチンシルバープリント・紙	55.9×46.2	ii a
* 6	坂田稔	題不詳(脚と林檎のシルエット)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	55.2×45.0	ii b
* 7	坂田稔	Composition(その1)フィルムによる	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	43.8×55.2	ii a
* 8	坂田稔	題不詳(花卉による構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	54.1×43.9	ii b
* 9	坂田稔	題不詳(ポートレートと抽象による構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	55.2×45.2	ii a
* 10	坂田稔	題不詳(ランプと鏡による構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	52.5×45.9	ii a
* 11	坂田稔	題不詳(皿とセルロイドによる構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	45.5×53.4	ii b
* 12	坂田稔	題不詳(非常階段と毛糸による構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	40.5×27.4	ii a
* 13	坂田稔	題不詳(礫岩による構成)	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	55.8×45.1	ii a・ii b
* 14	坂田稔	解放への慾求	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	42.4×55.5	ii b
* 15	坂田稔	地殻創世	n.d.(1934-38)	ゼラチンシルバープリント・紙	45.4×55.8	ii a
* 16	坂田稔	題不詳(岩肌にドローイング)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	43.4×27.9	ii b
* 17	坂田稔	題不詳(割れたガラス乾板にドローイングによる構成)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	56.3×46.2	ii a
* 18	坂田稔	眼球が流れる	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	43.5×54.7	ii b
* 19	坂田稔	球体について	1939	ゼラチンシルバープリント・紙	45.9×56.3	ii a
* 20	坂田稔	題不詳(「球体について」のバリエーション)	c.1939	ゼラチンシルバープリント・紙	45.7×56.0	ii b
* 21	坂田稔	題不詳(竹垣による構成)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	55.9×45.8	ii a
* 22	坂田稔	題不詳(板材による構成)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	56.1×46.5	ii b
* 23	坂田稔	筍の断面	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	56.3×38.5	ii b
* 24	坂田稔	題不詳(筍の断面による構成)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	46.6×56.7	ii a
* 25	坂田稔	題不詳(水滴による構成)	n.d.(1938-40)	ゼラチンシルバープリント・紙	42.1×50.5	ii b
* 26	坂田稔	無題	1940	ゼラチンシルバープリント・紙	56.6×46.9	ii a・ii b
* 27	坂田稔	題不詳(球体による構成)	c.1940	ゼラチンシルバープリント・紙	46.0×33.6	ii a・ii b
* 28	坂田稔	題不詳(球体による構成)	c.1940	ゼラチンシルバープリント・紙	45.9×33.4	ii a・ii b
* 29	坂田稔	題不詳(球体による構成)	c.1940	ゼラチンシルバープリント・紙	46.2×32.4	ii a・ii b
* 30	坂田稔	題不詳(立方体による構成)	c.1940	ゼラチンシルバープリント・紙	46.1×33.4	ii a・ii b
* 31	坂田稔	題不詳(立方体による構成)	c.1940	ゼラチンシルバープリント・紙	46.0×33.5	ii a・ii b
* 32	坂田稔	題不詳(民家民藝:伊良湖の農民家屋)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	43.4×53.1	ii a・ii b
* 33	坂田稔	題不詳(民家民藝:木曾福島の農家の土蔵)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	42.3×34.0	ii a・ii b
* 34	坂田稔	題不詳(民家民藝:元寇の役のときに船首に飾られたもの)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	56.0×46.1	ii a・ii b
* 35	坂田稔	題不詳(民家民藝:障子)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	45.8×55.8	ii a・ii b
* 36	坂田稔	題不詳(民家民藝:飛騨地方の農民家屋)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	45.7×55.7	ii a・ii b
* 37	坂田稔	題不詳(民家民藝:飛騨地方の農民家屋)	c.1941	ゼラチンシルバープリント・紙	55.1×45.2	ii a・ii b



# 名品コレクション展Ⅱ

会期：2014年9月6日(土)～12月23日(火・祝)

常設展示室1・2

i：前期9月6日(土)～10月26日(日)

ii：後期11月8日(土)～12月23日(火・祝)

\*：寄託作品

## 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	
1	イサム・ノグチ	死すべきもの(Mortality)	1959-62	ブロンズ	190.0×51.0×48.0	i
2	ジュール・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント・紙	33.5×47.9	ii
3	ジュール・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグランドエッチング・紙	25.2×30.0	ii

## エコール・ド・パリ:パスキンの版画から

1	ジュール・パスキン	美しきヨーロッパ婦人	1918	ドライポイント・紙	14.7×9.5	i
2	ジュール・パスキン	幾何学	1918	ドライポイント・紙	15.1×6.7	i
3	ジュール・パスキン	接吻	1925	エマーユ・シャンルヴェ・紙	14.2×10.2	i
4	ジュール・パスキン	女たちと子ども	1929	ソフトグランドエッチング・紙	22.5×26.9	i
5	ジュール・パスキン	くらべっこ	1929	ドライポイント、アクアチント・紙	18.3×18.0	i
6	ジュール・パスキン	夢想	1929	ドライポイント、アクアチント・紙	21.9×27.1	i
7	ジュール・パスキン	6人の裸婦	1929	ソフトグランドエッチング・紙	11.8×9.2	i
8	ジュール・パスキン	ユディトとホロフェルネス	1922	ドライポイント・紙	9.2×13.5	i
9	ジュール・パスキン	エウロペの掠奪	1923	ドライポイント、アクアチント・紙	9.7×13.6	i
10	ジュール・パスキン	ここにヘロデ王ありき	1923	エッチング・紙	11.3×14.9	i
11	ジュール・パスキン	バテシバの化粧	1928	ドライポイント、メゾチント・紙	32.6×24.9	i
12	ジュール・パスキン	サロメ	1927	ドライポイント、アクアチント・紙	23.9×24.0	i
13	ジュール・パスキン	サロメ、サロメ	1927	エッチング、エマーユ・シャンルヴェ・紙	23.9×31.6	i
14	ジュール・パスキン	サロメの踊り	1927	ドライポイント・紙	20.2×27.2	i
15	ジュール・パスキン	ヘロデ王の前で踊るサロメ	1930	ソフトグランドエッチング、アクアチント・紙	45.5×57.0	i
16	ジュール・パスキン	ヴィーナスとアモル	1917	ドライポイント・紙	12.8×15.8	ii
17	ジュール・パスキン	ヴィーナスへのオマージュ	1927	エッチング、エマーユ・シャンルヴェ・紙	28.5×40.9	ii
18	ジュール・パスキン	ヴィーナスへのオマージュ	1927	エッチング、エマーユ・シャンルヴェ・紙	28.5×40.9	ii
19	ジュール・パスキン	娘たち	1926	ソフトグランドエッチング、エマーユ・シャンルヴェ・紙	12.9×17.9	ii
20	ジュール・パスキン	3人の女	1927	エッチング・紙	13.0×18.2	ii
21	ジュール・パスキン	目ざめ	1925	リトグラフ・紙	24.8×18.9	ii
22	ジュール・パスキン	女友達	1926	エッチング・紙	14.8×19.9	ii
23	ジュール・パスキン	ニューヨーク風景	1916	エッチング・紙	11.9×15.3	ii
24	ジュール・パスキン	アメリカの女たち	1917	エッチング・紙	14.0×18.0	ii
25	ジュール・パスキン	アメリカの少女	1917	ソフトグランドエッチング・紙	8.4×8.4	ii
26	ジュール・パスキン	セントラルパーク	1929	ソフトグランドエッチング・紙	12.2×15.2	ii
27	ジュール・パスキン	美しきツレイカ	1913	木口木版・紙	11.7×5.7	ii
28	ジュール・パスキン	身だしなみ	1913	木版・紙	11.3×7.6	ii
29	ジュール・パスキン	夜の娘たち	1914	木口木版・紙	5.6×11.6	ii
30	ジュール・パスキン	娘と騎手	1916	木版・紙	5.3×12.6	ii
31	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	i・ii
32	アメデオ・モディリアアーニ	おさげ髪の少女	c. 1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
33	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0	i・ii
34	ジュール・パスキン	横たわるエリアーナ	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6	i・ii
35	ハイム・スーチン	セレの風景	c. 1922	油彩・キャンヴァス	79.8×87.2	i・ii
36	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・厚紙	73.1×92.0	i・ii
37	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0	i・ii

## メキシコ・ルネサンス:こども

1	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	i・ii
2	ホセ・クレメンテ・オロスコ	家族	1926	リトグラフ・紙	26.0×42.5	i・ii
3	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i・ii
4	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i・ii
5	北川民次	トラルバム豊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	i・ii
6	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	幼き母親	1956	リトグラフ・紙	93.5×66.5	i・ii
7	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	デューコ・メゾナイト	80.2×61.2	i・ii
8	ポール・ストランド	少年、ウルアバン(「メキシカン・ポートフォリオ」より)	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.2	i
9	ポール・ストランド	少年、イダルゴ(「メキシカン・ポートフォリオ」より)	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.3	ii
10	ポール・ストランド	若い女と少年、トルカ(「メキシカン・ポートフォリオ」より)	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.6	i
11	ポール・ストランド	少女と子ども、トルカ(「メキシカン・ポートフォリオ」より)	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.3×12.5	ii
12	マニュエル・アルバレス・ブラボ	小便をする子供	1927	プラチナパラジウムプリント・紙	25.0×20.0	i・ii
13	マニュエル・アルバレス・ブラボ	夢想	1931	ゼラチンシルバープリント・紙	25.4×20.3	i・ii
14	マニュエル・アルバレス・ブラボ	タバコ	1940	プラチナパラジウムプリント・紙	25.0×20.0	i・ii
15	ティナ・モドッティ	アステカの赤子	1926-27	ゼラチンシルバープリント・紙	23.1×18.5	i・ii
16	ディエゴ・リベラ	タコスを持つ子供	1932	リトグラフ・紙	44.5×31.8	i・ii
17	ディエゴ・リベラ	野外学校	1932	リトグラフ・紙	38.9×53.8	i・ii
18	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii
19	アマドール・ルーゴ	戦いの後のメキシコの女	1939	ピロキシリン・キャンヴァス、板	98.0×80.7	i・ii
20	アマドール・ルーゴ	龍舌蘭とサボテンと樹	1939	テンペラ・キャンヴァス	80.3×100.3	i・ii

## 現代の美術:1970年代、80年代の美術

1	荒川修作	忘れるということ(振り起こされて出し尽くしていること)	1973-74	アクリル・キャンヴァス、コラージュ	195.5×609.9	i・ii
2	河原温	APR. 5,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
3	河原温	APR. 6,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
4	河原温	APR. 7,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
5	河原温	APR. 8,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
6	河原温	APR. 9,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
7	河原温	APR. 10,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
8	河原温	APR. 11,1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i・ii
9	久野利博	BODY DISTANCE/February. 1,1981(Nagoya)	1981	ゼラチンシルバープリント	90×60	i
10	久野利博	BODY DISTANCE/August. 13,1982(Firenze)	1982	ゼラチンシルバープリント	90×60	i
11	久野利博	BODY DISTANCE/September. 9,1982(Kassel)	1982	ゼラチンシルバープリント	90×60	i
12	桑山忠明	無題	1973	アクリル・キャンヴァス	直径225.0	i・ii
* 13	杉本博司	Orpheum, California	1977	ゼラチンシルバープリント	42.2×54.4	i・ii
14	辰野登恵子	WORK 86-P-12	1986	油彩・キャンヴァス	291.0×218.0	ii
15	山本富章	無題	1987	ミクストメディア	286.0×382.0×16.0	ii
16	ベルント&ヒラ・ベッヒャー	巻上げ機	1980	モノクロ写真12点1組	154.2×165.6	i・ii
17	ジョナサン・ポロフスキー	ベルリンの夢	1988	リトグラフ・鉄、アクリル	91.0×65.0	i
18	ジョナサン・ポロフスキー	I dream A dog walking on the tight rope	1980	video	60min	i
* 19	ジョン・ケージ	版画集『七・日・日記』(7点組)	1978	エッチング等・紙	各30.5×43.0	i・ii
20	トニー・クラッグ	住家のある静かな場所	1984	木	155.0×105.0×60.0	i・ii
21	バリー・フラナガン	三日月と釣鐘の上を跳ぶ野ウサギ	1983	ブロンズ	121.9×94.0×61.0	i・ii
22	アンディ・ゴールズワージー	楓の紅葉による色彩線/大内山村/1987年11月14日	1987	カラー写真	92.6×50.0	i
23	アンディ・ゴールズワージー	穴のまわりの楓の紅葉/大内山村/1987年11月14日	1987	カラー写真	40.5×48.5	i
24	アンディ・ゴールズワージー	栗の枯葉/大内山村/1987年11月15日	1987	カラー写真	95.2×48.3	i
25	アンディ・ゴールズワージー	楓の紅葉による鎖/大内山村/1987年11月21日	1987	カラー写真	129.3×73.4	i
26	アンディ・ゴールズワージー	編まれた竹/紀伊長島町/1987年11月29日	1987	カラー写真	77.5×76.5	i
27	アンディ・ゴールズワージー	白く擦れた石/紀伊長島町/1987年11月29日	1987	カラー写真	50.6×50.6	ii
28	アンディ・ゴールズワージー	割れた小石の線/紀伊長島町/1987年12月2日	1987	カラー写真	76.5×37.5	ii
29	アンディ・ゴールズワージー	夜雨に塗れた桜の紅葉/紀伊長島町/1987年12月6日	1987	カラー写真	50.3×43.3	ii
30	アンディ・ゴールズワージー	太陽の輝く朝の雪の厚板/和泉村/1987年12月19日	1987	カラー写真	74.8×75.5	ii
31	アンディ・ゴールズワージー	冷え込んだ山影で早朝に制作/和泉村/1987年12月24日	1987	カラー写真	69.7×142.0	ii
32	アンゼラム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i・ii
33	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i・ii
34	ビル・ヴィオラ	映りこむ池	1977-79	DVD	7min	i

## 郷土の美術：浅野弥衛と桜画廊の作家

1	浅野弥衛	作品	1975	油彩・キャンヴァス	97.0×145.5	i・ii	
2	浅野弥衛	作品	1991	油彩・キャンヴァス	72.5×91.0	i・ii	
3	浅野弥衛	作品	1984	鉛筆・紙	3点1組 各111.5×79.2	i・ii	
4	久野真	ある晴れた日に	1993	ステンレス・板 4パネル	130.0×400.0	i・ii	
5	庄司達	白い布による空間 '68-6	1968(2003再制作)	綿布、糸、塗装金属フレーム	216.0×202.0×202.0	i・ii	
6	伊藤利彦	CUSTOM 5	1965	エナメル、ガラス用パテ・紙	165.0×113.0	i	
7	伊藤利彦	CUSTOM 8	1966	エナメル、ガラス用パテ・紙	132.0×165.0	i	
8	稲葉桂	作品66-3	1966	油彩・みがき粉、カシュー下地・キャンヴァス	113.0×164.0	i	
9	稲葉桂	作品66-7	1966	油彩・みがき粉、カシュー下地・キャンヴァス	132.0×164.0	i	
10	近藤文雄	Aの肖像	1965	インク、墨、鉛筆、水彩・ケント紙	36.0×53.0	i	
11	近藤文雄	C氏の肖像	1966	インク、墨、鉛筆、水彩・ケント紙	35.0×51.0	i	
12	近藤文雄	ある夏の午後に	1967	インク、墨、鉛筆、水彩・ケント紙	35.0×51.0	i	
13	近藤文雄	鏡の前	1967	インク、墨、鉛筆、水彩・ケント紙	35.0×51.0	i	
14	水谷勇夫	さらしもの	1961	紙本着彩	162.0×130.0	i	
15	水谷勇夫	狂宴	1962	紙本着彩	97.0×130.0	i	
*	16	河口龍夫	関係一質①	1981	雨水・布、鉄、木製パネル	183.2×91.7×1.5	ii
*	17	河口龍夫	関係一質②	1981	雨水・布、鉄、木製パネル	183.2×91.7×1.5	ii
	18	桑山忠明	無題:白/黒/黄土	1987	油彩・ハニカムボード	各91.5×61.0×10.2	ii
	19	元永定正	あかいしかくのなかはいろぬり	1981	アクリル・キャンヴァス	182.0×227.0	ii
	20	吉川家永	方式82～砂丘	1982	モノクロ写真	6枚1組 各108.0×108.0	ii



会場風景

# 名品コレクション展Ⅲ

会期：2015年1月10日(土)～3月29日(日)

常設展示室1・2

\*：寄託品 ☆：初出品

i：前期1月10日(土)～2月15日(日)

ii：後期2月17日(火)～3月29日(日)

## 出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	
-----	-----	-----	-----	-------	---------	--

### コレクション解析学

1	北川民次	トラルバム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	i・ii
---	------	-------------	------	-----------	-----------	------

### エコール・ド・パリ：ローランサンの芸術

1	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	i・ii
2	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6	i・ii
3	マリー・ローランサン	横たわる裸婦	1908	油彩・キャンヴァス	38.0×46.4	i・ii
4	マリー・ローランサン	サーカスにて	c.1913	油彩・キャンヴァス	116.5×89.0	i・ii
5	マリー・ローランサン	アポリネールの娘	c.1924	油彩・キャンヴァス	73.1×54.0	i・ii
6	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
7	アメデオ・モディリアーニ	立てる裸婦(カリアティードのための習作)	c.1911-12	油彩、水彩・紙、板	83.0×47.8	i・ii
8	バプロ・ピカソ	女	1922-23	エッチング・紙	11.8×7.9(21.3×17.6)	i・ii
9	ハイム・スーチン	農家の娘	c.1919	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0	i・ii
10	モーリス・ユトリロ	マルカデ通り	1909	油彩・キャンヴァス	60.3×81.3	i・ii
11	モーリス・ユトリロ	ラバン・アジュール	c.1913	油彩・キャンヴァス	50.0×65.0	i・ii

### メキシコ・ルネサンス：神・信仰

1	ホセ・クレメンテ・オロスコ	白い神々	1947頃	油彩・メゾナイト	71.0×91.5	i・ii
2	ホセ・クレメンテ・オロスコ	修道士とインディオ	1926	リトグラフ・紙	31.6×26.5	i・ii
3	ホセ・クレメンテ・オロスコ	レクイエム	1928	リトグラフ・紙	29.8×40.0	i・ii
4	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	制作年不詳	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	i・ii
5	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii
6	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	クアウテモックの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	i・ii
7	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4	i・ii
8	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	i・ii
9	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i・ii
10	北川民次	チュルプスコのコンベント回廊	1923/1955	油彩・キャンヴァス	71.3×61.5	i・ii
☆11	ティナ・モドッティ	キリストの鞭打ち	1925-27	ゼラチン・シルバー・プリント	24.7×19.5	i・ii
12	ポール・ストランド	教会、コアピアクストラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	i・ii
13	ポール・ストランド	聖母、サンフェリペ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.2×20.2	i・ii
14	ポール・ストランド	キリスト、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.0×20.0	i・ii
15	ポール・ストランド	カルバリオ、パツァロ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.2×19.8	i・ii
16	ポール・ストランド	キリスト、トラコチョアヤ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.0	i・ii
17	ポール・ストランド	いばらのキリスト、ウエクトウラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.7×20.1	i・ii

## 現代の美術：1990年代以降の美術

* 1	河口龍夫	1997年の闇のフロッターージュ	2008	鉛筆・和紙、フロッターージュ	64.6×98.8	i・ii
* 2	河口龍夫	2001年の闇のフロッターージュ	2008	鉛筆・和紙、フロッターージュ	64.6×98.8	i・ii
* 3	河口龍夫	2005年の闇のフロッターージュ	2008	鉛筆・和紙、フロッターージュ	64.6×98.8	i・ii
* 4	河口龍夫	2007年の闇のフロッターージュ	2008	鉛筆・和紙、フロッターージュ	64.6×98.8	i・ii
5	河口龍夫	DARK BOX 2008	2008	鉄、闇	37.0×60.0×35.0	i・ii
6	草間彌生	ピンクポート	1992	ファイバーワーク、ポート	90.0×350.0×180.0	i・ii
☆ 7	島袋道浩	鹿をさがして	1997/2000	ミクストメディア	インスタレーションサイズ	i・ii
* 8	杉戸洋	Elephant (p.p)	2000	顔料、アクリル・紙	220.0×178.0	i・ii
* 9	杉戸洋	Red Eye	2000	顔料、アクリル・紙	38.0×45.5	i・ii
*☆ 10	田島秀彦	雨と雨粒	2010	アクリル・MDFパネル、電球、モーター	182.0×140.0	i・ii
11	福田美蘭	陶器 (スルバランによる)	1992	カラー写真	46.2×85.7×3.3	i・ii
12	福田美蘭	陶器 (スルバランによる)	1992	カラー写真	47.9×86.0×3.5	i・ii
13	森村泰昌	兄弟 (虐殺I)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×302.0	i・ii
14	森村泰昌	兄弟 (虐殺II)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×302.0	i・ii
15	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-1 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
16	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-2 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
17	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-3 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
18	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-4 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
19	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-5 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
20	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	顔-6 (「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	42.0×30.0	i・ii
21	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	蟬鳳 (原画:HWG102 (557B) 雨と家並み)	1990	彩色・蟬鳳	30.0×36.0	i・ii
22	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	蟬鳳 (原画:HWG103 (870A) タヒチに降る雨)	1990	彩色・蟬鳳	30.0×36.0	i・ii
23	アンゼラム・キーファー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i・ii
24	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i・ii

## 郷土の美術 拡張する表現：身体の変容

☆ 1	岸本清子	創世記の崩壊—そして、海	1980	アクリル、クレヨン・キャンヴァス	139.0×1662.0	
☆ 2	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	1/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×32.5	i
☆ 3	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	2/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×32.5	i
☆ 4	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	3/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×32.5	i
☆ 5	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	4/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×36.5	i
☆ 6	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	5/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×36.5	i
☆ 7	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	6/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×36.5	i
☆ 8	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	7/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×36.5	ii
☆ 9	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	8/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×31.0	ii
☆ 10	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	9/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×30.0	ii
☆ 11	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	10/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×31.0	ii
☆ 12	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	11/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×25.5	ii
☆ 13	岸本清子	《創世記の崩壊—そして、海》の下絵	12/12 1980	パステル、色鉛筆・紙	34.5×32.5	ii
14	水谷勇夫	出口	1960	紙本着彩	268.0×562.5	i・ii
15	水谷勇夫	狂妄	1962	紙本着彩	72.5×90.0	i・ii
☆ 16	水谷勇夫	十魔王-1	n.d. (1960年代後半)	テラコッタ、粘土、木	高さ 150.0	i・ii
☆ 17	水谷勇夫	十魔王-2	n.d. (1960年代後半)	テラコッタ、粘土、木	高さ 150.0	i・ii

## (2)常設企画展 Thematic Exhibition

### ポジション2014 伊藤正人—水性であること

Position2014

Masato Ito: Being Aqueous

会期：2014年11月8日(土)～12月23日(火・祝)

#### 会場

常設展示室3

#### 内容

名古屋とその近隣地方を拠点にして活動する作家を取り上げる〈ポジション〉展では、今回、景色を題材に見ることと想うことの重なりあう働きについて思考し、それを言葉を用いて美術として表現する伊藤正人(1983-)を紹介した。

伊藤が記す万年筆によるロイヤルブルーインクの文字たちはひとつの景色として空間に漂い、ひとときもとどまることのない私たちの視覚と感応の揺らぎをその不確かさのように繊細に映し出す。遠方に見える山並み、植生、海に浮かぶ群島、光と風、水と、作品となった景色は移り変わっているが、この度の展示ではみずからの作為を「水性であること」と位置づけ、それを水面の景色に託して表出した。

#### 関連事業

アーティストトーク

日 時:11月15日(土)午後2時～

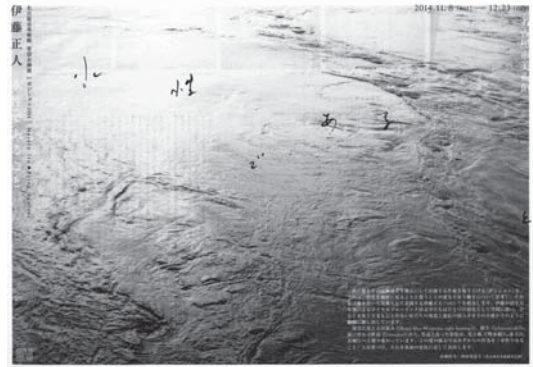
講 師:伊藤正人(出品作家)

聞き手:角田美奈子(当館学芸員)

会 場:2階講堂

#### 出品作品

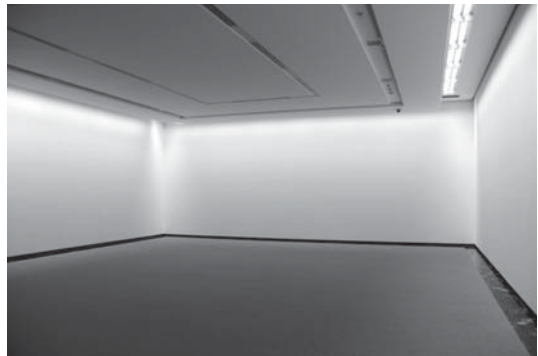
伊藤正人 《水性であること》 2014年 壁面に万年筆



チラシ



アーティストトーク



会場風景



会場風景

## 特集 没後10年 加山又造版画展

KAYAMA Matazo's Printworks: After 10 Years of His Death

会期：2014年9月6日(土)～10月26日(日)

### 会場

常設展示室3

### 内容

加山又造(1927-2004)は、戦後の日本を代表する日本画家のひとりであり、版画にもすぐれた作品を残している。加山の版画制作は銅版画、リトグラフ、木版画に及び、銅版画とリトグラフは作家自身が版の制作を手がけている。木版画は浮世絵の伝統を受け継ぐ彫師と摺師とともに制作が行われている。

加山の版画はいずれも意欲的に多様な技法に取り組みされており、経験とともに練達するその試みの成果を確かめることが見所のひとつとなっている。加山は1955年から2003年までの間に154点の版画作品を制作したが、名古屋市美術館にはそのうちの70点余りが寄託されており、本年は作家の没後10年となることから、そのなかから選りすぐった39点を「自然-動植物」「自然-風景」「女」「伝統木版画」の4つのテーマのもとに紹介した。この寄託作品からの特集展示は1999年以来15年振りである。



会場風景

出品作品

No.	作品名	*よみ	制作(発行)年	技法	用紙	版数	イメージ(用紙)サイズ	cm	制作	発行	レゾ番号
<b>自然—動植物</b>											
1	鹿		1955(1974)	エッチング、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	23.2×33.2	(38.0×48.2)	フジ美術版画工房	フジ美術	1
2	黒いオオカミ		1964	エッチング、アクアチント	BFK	1版	23.5×30.2	(38.0×56.0)	J. A. A. 版画工房	日本美術家連盟	6
3	ほね貝と千鳥		1972	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	36.1×29.7	(60.0×45.0)	フジ美術版画工房	フジ美術	15
4	莓		1975	メゾチント、ドライポイント、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	6.8×8.3	(37.3×32.9)	フジ美術版画工房	フジ美術	17
5	三つの莓		1977	メゾチント、ドライポイント	ヴェラン・アルシュ	4版	8.6×16.6	(27.0×39.0)	フジ美術版画工房	フジ美術	20
6	熱帯魚		1977	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	36.0×19.6	(52.8×35.8)	フジ美術版画工房	フジ美術	21
7	朽葉と虫		1978	リトグラフエッチング、アクアチント、ドライポイント、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	11.4×15.7	(25.0×31.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	42
8	サイ		1978	エッチング、アクアチント、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	11.9×15.0	(25.0×31.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	45
9	メタモルフォーシス		1979	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	18.2×10.1	(34.0×25.5)	フジ美術版画工房	朝日新聞社	46
10	蝶		1986	アクアチント、メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	44.6×32.4	(66.7×53.5)	木村希八版画工房	HOMMAGE AUX PRIX NOBEL	85
11	翡翠 *かわせみ		1987	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	44.4×32.6	(66.5×53.5)	木村希八版画工房	HOMMAGE AUX PRIX NOBEL	96
12	翡翠1990 *ひすい		1990	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	41.7×32.2	(65.0×49.5)	木村希八版画工房	日本フランコニー	108
13	寂 *じやく		1990	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	19.4×18.3	(47.0×38.0)	木村希八版画工房	日本フランコニー	113

自然—風景

14	すずむし		1978	エッチング、メゾチント、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	13.5×16.3	(27.0×35.0)	フジ美術版画工房	フジ美術	41
15	越後雪景		1978	メゾチント、ビュラン、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	1版	12.0×15.2	(25.0×31.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	44
16	月 *つき		1983	アクアチント	ヴェラン・アルシュ	4版	29.5×39.3	(52.5×67.5)	木村希八版画工房	版画廊	66
17	雪 *ゆき		1983	アクアチント	ヴェラン・アルシュ	5版7色	29.5×39.3	(52.5×67.5)	木村希八版画工房	版画廊	67
18	花 *はな		1983	アクアチント、メゾチント	ヴェラン・アルシュ	4版	29.5×39.3	(52.5×67.5)	木村希八版画工房	版画廊	68
19	長城		1986	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	18.6×19.5	(40.0×47.0)	木村希八版画工房	造形センター	84
20	黄山 *こうさん		1987	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	4版	18.6×19.7	(39.7×47.0)	木村希八版画工房	造形センター	95
21	灘江 *りこう		1994	メゾチント、ビュラン	ヴェラン・アルシュ	3版	18.6×19.6	(37.0×45.0)	木村希八版画工房	瑠璃屋コレクション	132

女

22	横になる裸婦 I-①		1977	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	3版	24.0×52.5	(44.0×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	22
23	横になる裸婦 I-②		1977	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	3版	25.0×49.0	(44.0×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	23
24	横になる裸婦 I-③		1977	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	3版	24.0×49.0	(44.0×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	24
25	横になる裸婦 I-④		1977	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	3版	26.0×49.0	(44.0×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	25
26	横になる裸婦 I-⑤		1977	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	3版	26.0×52.5	(44.0×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	26
27	レースの裸婦②		1978	リトグラフ	ヴェラン・アルシュ	9版	26.5×49.3	(45.8×63.5)	フジ美術版画工房	フジ美術	40
28	黒い裸婦		1980	エッチング、アクアチント、ドライポイント	ヴェラン・アルシュ	4版	20.2×37.2	(42.0×59.0)	フジ美術版画工房	フジ美術	52
29	横になる裸婦'84(黒衣)		1984	エッチング、アクアチント、ルーレット	ヴェラン・アルシュ	4版	29.3×41.5	(52.5×67.0)	木村希八版画工房	HOMMAGE AUX PRIX NOBEL	69
30	横になる裸婦'84(白衣)		1984	エッチング、アクアチント、ルーレット	ヴェラン・アルシュ	3版	29.3×39.0	(52.5×67.0)	木村希八版画工房	HOMMAGE AUX PRIX NOBEL	70
31	黒衣の裸婦		1987	エッチング、アクアチント、ドライポイント、ルーレット、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	4版	12.9×18.3	(24.0×33.0)	木村希八版画工房	中央公論社	89
32	白衣をまとう女		1987	エッチング、アクアチント、ドライポイント、雁皮刷	ヴェラン・アルシュ、雁皮紙	4版	13.7×22.7	(24.0×33.0)	木村希八版画工房	中央公論社	94

伝統木版画

33	撫子 *なでしこ		1988	木版	越前生漉奉書	10版30度摺	37.7×48.0	(42.0×54.0)	アダチ版画研究所	版画廊、日経カルチャー	101
34	はなびら		1988	木版	越前生漉奉書	9版25度摺	19.0×47.7	(22.0×55.0)	アダチ版画研究所	版画廊、日経カルチャー	102
35	更紗 *さらさ		1989	木版	越前生漉奉書	10版30度摺	32.8×47.8	(38.0×53.0)	アダチ版画研究所	版画廊、日経カルチャー	103
36	西洋人形		1990	木版	越前生漉奉書	16版35度摺	42.2×28.3	(49.3×33.2)	アダチ版画研究所	日本フランコニー	110
37	日本人形		1990	木版	越前生漉奉書	22版40度摺	40.8×26.8	(49.5×33.2)	アダチ版画研究所	日本フランコニー	111
38	干綱 *ほしあみ		1992	木版	越前生漉奉書	15版25度摺	48.5×34.5	(52.0×39.5)	アダチ版画研究所	版画廊、日経カルチャー	123
39	朱い千羽鶴		1993	木版	越前生漉奉書	14版20度摺	29.5×43.0	(33.4×48.0)	アダチ版画研究所	版画廊、日経カルチャー	128

※ 作品名その他の表記は、加山又造の全版画作品を収録する『加山又造全版画集1955-2003』(阿部出版 2009年)に従っている。

レゾネ番号は、全版画作品のそれぞれに付与された作品番号である。



平成26年度は、5本の特別展を開催しました。年度最初の特別展は、屈指の現代美術コレクターであり、精神科医の高橋龍太郎氏の現代美術コレクションをご紹介します「マインドフルネス！ 高橋コレクション決定版2014」でした。個人コレクターによる作品の収集は、個人の趣味や感性が前面に打ち出された作品の選択にその面白さがあります。網羅的で普遍的なコレクションを目指す美術館、とりわけ公立の美術館のコレクションとは、大きく性格が異なりますが、それゆえにはっきりとした特徴がコレクション全体を貫いています。高橋コレクションの場合、それは確かな技術に裏打ちされた作品の完成度の高さと、見るものを圧倒するようなパワーとが矛盾なく両立している点でしょう。作品が発散する強烈なエネルギーを楽しむように、会場には若い来館者の姿が数多く見えました。高橋氏は、純粹に自分の感性を信じて作品を選択したということですが、その後収集作家の多くが国内外で高い評価を得ている事実を見れば、時代と共鳴する氏の感性の確かさを思わずにはいられません。

続いて7月から8月にかけては、第二次大戦後の日本画の再生と復活を検証する「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」を開催しました。長い伝統を誇る日本画は、江戸から明治へという大きな転換期に最初の変貌を遂げます。西欧絵画という未知の伝統との接触により、日本画はその表現の根本を見つめなおすこととなります。そして太平洋戦争の敗戦は日本の伝統的文化全般に関する大きな見直しを迫り、日本画は第二の試練にさらされます。新しい時代に日本画はもはや不要であるという「日本画滅亡論」が声高に叫ばれ、日本画はその存立の危機に見舞われます。この展覧会では、その危機からいかに脱して、新たな表現の中に自らの存亡を賭した戦後日本画の熱い挑戦の軌跡を紹介しました。約70点の作品が並んだ会場は、困難な状況の中で模索の果てに生まれた新たな表現の数々が、半世紀近い時間を経てなお熱気を放っていました。

9月から10月にかけては、台湾の個人コレクターの作品を紹介する「現代美術のハードコアは実は世界の宝である展」を開催しました。異様に長い展覧会タイトルに戸惑われた方も多かったようですが、現代美術という、一部の愛好家だけを対象としているかに思われる美術品が、より普遍的な価値を有しているということを意図して考え出されたタイトルでした。約80点

の出品作品には、ウォーホル、リヒター、ベーコン、キーファーなど、世界の現代美術を代表する作家がずらりと並び、さらに日本ではあまり目にする機会のない台湾の現代作家の作品も紹介されました。作家の知名度が高いこともさることながら、それぞれの作品の質の高さと、物理的な大きさにも圧倒されるものがあり、一個人がこれほどのコレクションを作り上げたことに驚かれる方が多かったようです。また作品の市場価格という、通常美術館の展示ではまずお目にかからない情報が公開されていたことに、驚かれたり、違和感を感じる方も少なからずいらっしゃったようです。

4本目の特別展は「ゴー・ビトゥーンズ：こどもを通して見る世界展」を開催しました。「ゴー・ビトゥーンズ」とは、新大陸アメリカに移住した子供たちが、親と先住者たちの間の仲介役として活動したことを指して付けられた言葉です。政治、経済、教育、差別、性など、子供たちを通して見ると、社会の諸相がどんな風に見えるのかをこの展覧会では検証しました。絵画、アニメーション、ビデオ、写真など、様々な媒体で表現される子供たちの姿は、使い古された言葉ではありますが、「子供は社会の鏡」という事実を改めて教えてくれます。そして、どれほど様々な問題を抱えていようと、未来は決して悲観すべきものではない、という思いを、子供たちの姿が私たちに与えてくれます。会場に並んだ作品を見て回りながら、鑑賞者の方たちは考え込んだり、微笑んだり、当惑したりと様々な思いを抱かれたようです。

年が明けて26年度最後の特別展は「だまし絵II」を開催しました。この展覧会は2009年に開催して大好評を博した「だまし絵展」の第二弾として企画されたもので、前は日本と西洋のだまし絵作品の歴史を、ほぼ網羅的にご紹介しましたが、今回は現代美術に重点を置きながら、様々な技術を駆使した、いわば進化系としてのだまし絵をご覧いただきました。現代美術が中心ということもあり、会場には巨大な作品や、鑑賞者の動きに反応する最新の仕掛けの作品もあり、いたるところで驚きの声や、楽しそうな笑い声が響き、いつにも増して賑やかな展示室になりました。一方でダリやエッシャーといった、大御所の作品の前は常に大勢の人だかりができ、時代を経ても色あせぬ作品の魅力を改めて認識させてくれました。

# マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版2014

Mindfulness! TAKAHASHI COLLECTION 2014

会期：2014年4月12日(土)～6月8日(日)

## 主催

名古屋市美術館、中日新聞社

## 後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

## 特別協力

高橋龍太郎、高橋コレクション、医療法人こころの会

## 協力

名古屋市交通局

## 企画協力

内田真由美、児島やよい

## 観覧料

一般1,000円、高大生700円、中学生以下無料

## 内容

精神科医の高橋龍太郎氏が収集した2000点にも及ぶコレクションは、日本の現代美術の大変重要なコレクションである。特に1990年代以降の日本の現代美術に関しては、全国の現代美術を収蔵している美術館を含めても、他に比類ないほど充実し、若手作家から現在は国内外で活躍するアーティストになった作家たちの初期作品や、評価されるきっかけになった作品など、重要な作品が含まれている。そのコレクションのエッセンスを紹介する展覧会。霧島アート・森、札幌芸術の森で開催された「マインドフルネス!」をもとに、名古屋では、「ネオテニー展」に出品されていた内容と合わせて1990年代以降活躍している、これまで名古屋であまり紹介されていなかった作家を中心に、また若手の女性作家に重点を置いて構成した。また、名古屋や東海地方にゆかりの作家の作品も積極的に紹介し、会期内に作品についてのトークやワークショップなど作家のイベントも開催した。

## 図録

25.0×18.3cm 164頁

編集：笠木日南子、中村暁子(名古屋市美術館)

杉本研介(中日新聞社)、押金純士(美術出版社)

発行：株式会社美術出版社



チラシ



ポスター



会場風景



常設展3会場風景

## 関連事業

### オープニング記念トーク

高橋龍太郎氏と出品作家(秋山さやか氏、加藤泉氏、小出ナオキ氏、鴻池朋子氏、名知聡子氏、富谷悦子氏、松井えり菜氏、和田典子氏)が作品の前で自作についてトークした。

日時: 4月12日(土)午後2時～

場所: 展覧会会場



オープニング記念トーク

### アーティスト・トーク

出品作家、近藤亜樹氏、名知聡子氏、松井えり菜氏、和田典子氏が、名古屋在住作家とそれ以外の作家とチームにわかれ、それぞれ、制作環境や地域の特性についてや、それぞれの制作モチーフについてなど作品の前で議論をした。

日時: 4月27日(土)午後2時～

場所: 展覧会会場、要入場券



アーティスト・トーク

### 鴻池朋子ワークショップ

出品作家鴻池朋子氏とともに作品を鑑賞し、その作品を作った作家になりきったり、作品を購入したコレクターになりきって、参加者が作品についての思いを語った。

日時: 5月11日(日)午後2時～

場所: 展覧会会場、要入場券

### 山口晃アーティストトーク(サイン会)

出品作家、山口晃氏が自身の作品についてトークし、トークの後サイン会も行った。

日時: 5月25日(日)午後2時～

場所: 2階講堂



鴻池朋子ワークショップ

### 高橋龍太郎トーク(聞き手:内田真由美、児島やよい)

高橋龍太郎氏と内田真由美氏、児島やよい氏(展覧会企画・監修)が、高橋コレクションのあゆみについてトークした。

日時: 6月1日(日)午後2時～

場所: 2階講堂

### 展覧会解説会

担当学芸員笠木日南子が出品作品について解説した。

日時: 4月13日(日)午後2時～

講師: 笠木日南子(当館学芸員)

場所: 2階講堂



高橋龍太郎トーク



山口晃アーティストトーク

## 「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」展

Challenging Japanese style paintings from 1950's to 1970's

会期：2014年7月5日(土)～8月24日(日)

### 主催

名古屋市美術館、中日新聞社

### 後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

### 協力

京都市美術館、名古屋市交通局

### 観覧料

一般1,200円、高大生700円、中学生以下無料

### 内容

「日本画」は、幕末にヨーロッパから移入された油彩画すなわち「西洋画」に対して、日本古来の伝統を継承する絵画の総称として、明治期に誕生した。これ以降、日本の近代化が進むなかで、狩野派、琳派に代表される江戸美術を基礎にしながら、ヨーロッパの近代美術の影響を受けて、「近代の日本画」は形成されていった。しかし、第二次世界大戦後、激動する日本社会の現実に対応できない「近代の日本画」に対する批判として「日本画滅亡論」が登場した。この逆風のなかで、意欲的な日本画家たちは時代状況を踏まえながら、古今東西の美術を学ぶことで、「日本画」の革新に取り組んだ。新しい時代の新しい「日本画」への多彩な挑戦が行なわれ、「現代の日本画」が創造されていったのである。

本展では、戦後1950年代から1970年代において、新しい日本画の創造に「挑戦する日本画」の代表作を集成して、日本画がいかんにして「現代化」されたのかを再検討した。日展(堂本印象、福田平八郎、徳岡神泉、東山魁夷、杉山寧、高山辰雄など)、院展(岩橋英遠、片岡球子、平山郁夫など)、青龍社(川端龍子、横山操など)の代表作家をはじめ、戦後に誕生した革新的なグループである創造美術から創画会(福田豊四郎、橋本明治、加山又造など)、前衛的なパンリアル美術協会(三上誠、星野真吾など)やケラ美術協会(岩田重義など)、そして从会(中村正義など)や現代美術の作家(桑山忠明、李禹煥)まで、総計50作家の作品77点を紹介した。

### 図録

28.0×22.1×1.4cm 170頁

編集：名古屋市美術館

発行：「挑戦する日本画」展実行委員会

### 関連事業

#### 記念講演会

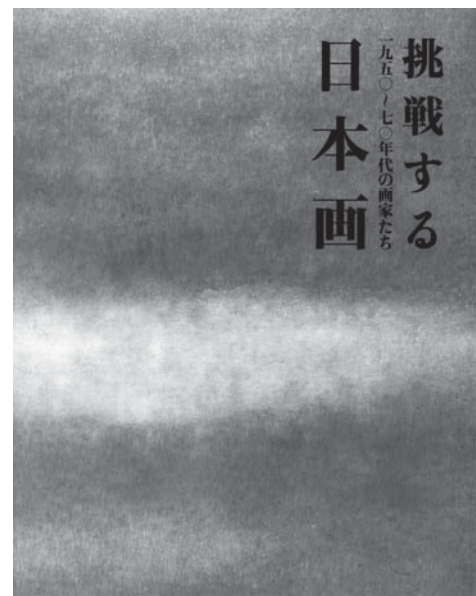
日時：7月13日(日)午後2時～

講師：吉田俊英(豊田市美術館館長)

演題：「日本画の生命力」



ポスター



図録

### 展覧会解説会

日時：2014年7月20日(日)午後2時～/8月10日(日)午後2時～

講師：山田 諭(当館学芸員)

演題：「日本画はいかにして現代化されたのか」

出品作品

1	川端龍子	刺青	1948年 紙本着彩	157.0×248.5cm	第20回青龍社展	大田区立龍子記念館蔵
2	川端龍子	夢	1951年 紙本着彩	159.0×249.0cm	第23回青龍社展	大田区立龍子記念館蔵
3	小野竹喬	沼	1970年 紙本着彩	119.0×158.0cm	第2回改組日展	京都市美術館蔵
4	中村岳陵	残照	1961年 紙本着彩	94.0×120.0cm	第4回新日展	静岡県立美術館蔵
5	堂本印象	新聞	1950年 紙本着彩	130.0×160.0cm	第6回日展	京都国立近代美術館蔵
6	堂本印象	無礙	1958年 紙本着彩	160.0×130.0cm	第1回新日展	京都市美術館蔵
7	福田平八郎	新雪	1948年 絹本着彩	112.0×82.0cm	第4回日展	個人蔵(大分県立芸術会館寄託)
8	福田平八郎	水	1958年 紙本着彩	135.0×93.2cm	第1回新日展	大分県立芸術会館蔵
9	山口蓬春	宴	1960年 紙本着彩	91.0×135.5cm	第3回新日展	神奈川県立近代美術館蔵
10	池田遥邨	幻想の明神礁	1952年 絹本着彩	128.0×112.0cm	第8回日展	倉敷市立美術館蔵
11	池田遥邨	日蝕	1974年 紙本着彩	147.0×90.0cm	個展(高島屋)	倉敷市立美術館蔵
12	小倉遊亀	家族達	1959年 紙本着彩	125.8×190.2cm	第44回再興院展	滋賀県立近代美術館蔵
13	徳岡神泉	流れ	1954年 紙本着彩	132.0×170.0cm	第10回日展	京都市美術館蔵
14	徳岡神泉	枯葉	1958年 紙本着彩	145.0×114.5cm	第1回新日展	京都国立近代美術館蔵
15	山口華楊	霽	1968年 紙本着彩	171.0×159.0cm	第11回新日展	京都市美術館蔵
16	三輪晁勢	古庫	1958年 紙本着彩	182.0×285.0cm	第1回新日展	京都市美術館蔵
17	丸木位里・俊	原爆の図 第6部(原子野)	1952年 紙本墨画淡彩,屏風(四曲一雙)	180.0×720.0cm	第6回日本アンデパンダン展	原爆の図丸木美術館蔵
18	丸木位里	牡丹	1967年 紙本墨画淡彩,屏風(二曲一雙)	208.0×264.0cm	第9回日本国際美術展	有限会社流々蔵
19	小松 均	雪壁	1964年 紙本墨画淡彩	222.0×172.0cm	第49回再興院展	京都市美術館蔵
20	岩橋英遠	庭石(月)	1953年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	150.0×142.0cm	第38回再興院展	東京都現代美術館蔵
21	岩橋英遠	庭石(水)	1953年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	150.0×142.0cm	第38回再興院展	東京都現代美術館蔵
22	岩橋英遠	庭石(雨)	1953年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	150.0×142.0cm	第38回再興院展	東京都現代美術館蔵
23	岩橋英遠	庭石(雪)	1953年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	150.0×142.0cm	第38回再興院展	東京都現代美術館蔵
24	岩橋英遠	仙	1965年 紙本着彩	149.0×209.0cm	第50回再興院展	神奈川県立近代美術館蔵
25	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948年 絹本着彩,屏風(三曲一雙)	179.3×222.4cm	第1回創造美術展	秋田県立近代美術館蔵
26	福田豊四郎	濤	1956年 紙本着彩,屏風(四曲一雙)	167.7×255.3cm	第20回新制作協会展	秋田県立近代美術館蔵
27	広田多津	舞妓	1973年 紙本着彩	164.5×114.3cm	第37回新制作協会展	愛知県美術館蔵
28	広田多津	ひとり	1982年 紙本着彩	153.0×111.5cm	第9回創画会展	愛知県美術館蔵
29	橋本明治	赤い椅子	1951年 紙本着彩	177.0×134.0cm	第7回日展	東京国立近代美術館蔵
30	片岡球子	幻想	1961年 紙本着彩	223.0×355.0cm	第46回再興院展	神奈川県立近代美術館蔵
31	片岡球子	面構 東洲斎写楽	1971年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	188.0×176.0cm	第56回再興院展	神奈川県立近代美術館蔵
32	片岡球子	面構 葛飾北斎	1971年 紙本着彩,屏風(二曲一雙)	188.0×176.0cm	第56回再興院展	神奈川県立近代美術館蔵
33	吉岡堅二	群鶴	1953年 紙本着彩	181.0×189.0cm	第17回新制作協会展	神奈川県立近代美術館蔵
34	向井久万	浮游	1949年 紙本着彩	147.5×87.5cm	第3回創造美術展	歴史館いづみさの蔵
35	東山魁夷	白夜	1963年 紙本着彩	73.0×100.0cm	東山魁夷北歐風景画展	財団法人北澤美術館蔵
36	東山魁夷	谿紅葉	1968年 紙本着彩	89.0×130.0cm		兵庫県立美術館蔵
37	東山魁夷	石の窓	1971年 紙本着彩	114.0×166.0cm	東山魁夷新作展	長野県信濃美術館 東山魁夷館蔵
38	杉山 寧	仮象	1959年 紙本着彩	182.5×152.0cm	第3回新日展	個人蔵
39	杉山 寧	季	1974年 紙本着彩	153.0×219.5cm	第6回改組日展	株式会社ヤマタネ
40	堀尾 実	冬の構図	1955年 紙本着彩,屏風(四曲一雙)	136.0×182.0cm	第7回読売アンデパンダン展	名古屋市美術館蔵
41	高山辰雄	室内	1952年 絹本着彩	198.5×120.5cm	第8回日展	世田谷美術館蔵
42	高山辰雄	行人	1969年 紙本着彩	226.4×147.4cm	第1回改組日展	東京都現代美術館蔵
43	岩崎 鐸	海辺母子像	1948年 フレスコ・紙	145.0×112.0cm		板橋区立美術館蔵
44	岩崎 鐸	蝕(B)	1959年 石膏,ブリキ,銀箔・合板ボード	152.0×123.0cm	第11回プレミオ・リゾーネ展	板橋区立美術館蔵
45	小野具定	捨てた部落	1966年 紙本着彩	180.8×259.7cm	第7回現代日本美術展	東京都現代美術館蔵
46	工藤甲人	蝶の階段	1967年 紙本着彩	135.7×190.9cm	第31回新制作協会展	平塚市美術館蔵
47	森田曠平	渡来図	1978年 紙本着彩,屏風(三曲一雙)	193.0×238.4cm	第63回再興院展	横浜美術館蔵
48	山崎 隆	海浜	1949年 紙本着彩	169.0×203.0cm	第2回バンリアル展	京都市美術館蔵
49	三上 誠	碑	1957年 顔料,油性インク,紙	121.4×121.4cm	第15回バンリアル展	豊橋市美術博物館蔵
50	三上 誠	作品64,は	1964年 木,顔料,紙	151.9×151.5cm	第22回バンリアル展	京都国立近代美術館蔵
51	横山 操	高速四号線	1964年 紙本着彩,パネル(4面)	239.7×480.7cm	第6回現代日本美術展	新潟県立近代美術館蔵
52	水谷勇夫	公証人	1960年 紙本着彩	162.0×130.0cm		名古屋市美術館蔵
53	石本 正	青衣立像	1979年 紙本着彩	155.0×78.5cm		東京都現代美術館蔵
54	稗田一穂	豹のいる風景	1952年 紙本着彩	158.8×141.8cm	第16回新制作協会展	世田谷美術館蔵
55	稗田一穂	かんむりづる	1955年 紙本着彩	149.7×165.5cm	第3回日本国際美術展	世田谷美術館蔵
56	大野淑嵩	緋 No.24	1963年 顔料,麻布,綿	141.0×129.0cm	個展(山田画廊)	京都市美術館蔵
57	大野淑嵩	羯羅俱毘	1982年 顔料,綿	96.5×80.0cm	大野淑嵩画集出版記念展	名古屋市美術館蔵
58	朝倉 摂	黒人歌手ポール・ロブソ	1959年 紙本着彩,屏風(四曲一雙)	109.0×242.4cm	第23回新制作協会展	東京国立近代美術館蔵
59	星野真吾	いがみあい	1959年 紙本着彩,箔	184.0×182.9cm	第17回バンリアル展	豊橋市美術博物館蔵
60	星野真吾	人体による作品	1966年 紙本着彩,箔	214.2×183.0cm	第24回バンリアル展	豊橋市美術博物館蔵
61	下村良之介	池畔	1957年 紙本着彩	154.0×114.5cm	第15回バンリアル展	京都市美術館蔵

62	下村良之介	鳥不動	1965年 紙粘土,顔料・紙	185.0×235.0cm	第23回パンリアル展	京都国立近代美術館蔵
63	芥川紗織	神話より	1957年 染色・木綿	162.3×130.3cm		名古屋市美術館蔵
64	中村正義	妓女	1962年 紙本着彩,金銀箔,コラージュ	227.0×162.0cm	第5回現代日本美術展	豊橋市美術博物館蔵
65	中村正義	うしろの人	1972-77年 紙本着彩,金銀泥	162.1×130.3cm	第11回現代日本美術展	豊橋市美術博物館蔵
66	平川敏夫	樹焰	1964年 紙本着彩	197.0×264.5cm	第28回新制作協会展	株式会社フジメディア・ホールディングス蔵
67	野村 耕	記憶の記憶	1958年 顔料,布・紙	152.0×121.5cm	第16回パンリアル展	京都市美術館蔵
68	加山又造	月と駱駝	1957年 紙本着彩	131.5×163.0cm	個展(東京画廊)	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
69	加山又造	黒い鳥	1957年 紙本着彩	212.5×151.5cm	第4回日本国際美術展	愛知県美術館蔵
70	加山又造	黒い薔薇の裸婦	1976年 紙本着彩,屏風(四曲一隻)	175.5×365.0cm	第3回創画展	東京国立近代美術館蔵
71	麻田鷹司	宗像杜沖島	1978年 紙本着彩	181.8×228.0cm	第5回創画会展	福岡市美術館蔵
72	平山郁夫	波斯黄堂旧址	1974年 紙本着彩,屏風(四曲一隻)	166.7×367.4cm	第59回再興院展	広島県立美術館蔵
73	桑山忠明	無題	1961年 顔料・紙,キャンバス	216.2×166.2cm		名古屋市美術館蔵
74	桑山忠明	無題	1970年 アクリル,キャンバス	273.0×273.0cm		名古屋市美術館蔵
75	岩田重義	Work - 139	1963年 綿布,麻布,木,油彩	130.0×160.0cm	個展(galerie16)	京都国立近代美術館蔵
76	楠田信吾	WORK	1963年 石膏,磨粉,板,水彩,ビニール塗料	133.0×165.0×28.0cm	第9回ケラ美術展	京都国立近代美術館蔵
77	李 禹煥	点より	1978年 膠彩・キャンバス	181.5×227.2cm		豊田市美術館蔵
78	久保田壱重郎	63 在	1963年 ミクストメディア	165.5×91.2cm	第10回ケラ美術展	京都市美術館蔵



会場風景



常設3会場風景

# 現代美術のハードコアは じつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより

Guess What?

Hardcore Contemporary Art's Truly a World Treasure—Selected Works  
from the YAGEO Foundation Collection

会期：2014年9月6日(土)～10月26日(日)

## 主催

名古屋市美術館、中日新聞社、東京国立近代美術館、ヤゲオ財団  
(台湾)

## 後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

## 協力

全日本空輸株式会社、ヤマトロジスティクス株式会社、名古屋市交  
通局

## 観覧料

一般1,200円、高大生800円、中学生以下無料

## 内容

世界トップクラスとされるヤゲオ財団(台湾)の現代美術コレク  
ションの中から、常玉(サンユウ)、フランシス・ベーコン、ザオ・ウー  
キー、アンディ・ウォーホル、ゲルハルト・リヒター、杉本博司、蔡國  
強、ロン・ミュエク、ピーター・ドイグ、マーク・クインなど、代表作ば  
かりの73点を展示。現代美術の名品の数々を楽しんでいただくととも  
に、世界的なコレクターの慧眼によって選抜かれたコレクションの  
素晴らしさを存分に味わっていただける展覧会として開催された。

展覧会のタイトルは「現代美術のハードコアはじつは世界の宝  
である展」。ハードコアとは中核、中心といったような意味であり、こ  
の展覧会でまさに現代美術の中核とも言える作家の作品が見られ  
る、という意味合いが込められている。そして、じつは世界の宝であ  
る、という言葉によって、こういったコレクションが個人の宝物であ  
るだけではなく、世界の人々にとっての大切な宝物であるということ  
を伝えようとしている。美術品は人の手から手へと渡っていくが、人  
類の宝であることに変わりはない。この展覧会は、皆でその宝物を  
分かち合うまたとない機会となった。

## 図録

29×23cm 216頁

編集：東京国立近代美術館、名古屋市美術館、広島市現代美術  
館、京都国立近代美術館、ヤゲオ財団(台湾)、大伸社

発行：東京国立近代美術館

## 関連事業

### 記念講演会

日時：9月7日(日)午後2時～

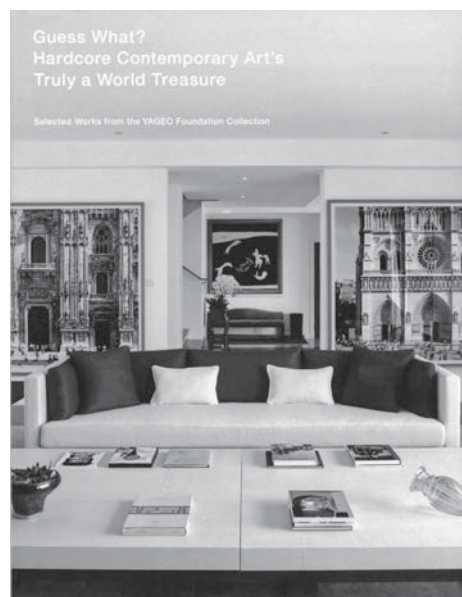
講師：保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)

演題：なぜ現代美術が「世界の宝」なのか?

会場：2階講堂



ポスター



図録

## 展覧会解説会

日時：9月14日(日)午後2時～

講師：中村暁子(当館学芸員)

会場：2階講堂



記念講演会



会場風景



# ゴー・ビトゥイーンズ： こどもを通して見る世界展

Go-Betweens: The World Seen Through Children

会期：2014年11月8日(土)～12月23日(火祝)

## 主催

名古屋市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、中京テレビ放送

## 後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

## 協賛

ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、ボンボン

## 協力

名古屋市交通局

## 制作協力

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 企画協力

森美術館

## 観覧料

一般1,200円、高大生700円、中学生以下無料

## 内容

写真家のジェイコブ・A・リースは、100年以上前のアメリカで英語の不自由な親に代わって通訳などの用事をこなす移民のこどもたちを見て「ゴー・ビトゥイーンズ(媒介者たち)」と呼んだ。こどもは、置かれた境遇に生き方を左右されやすい弱い存在である一方、大人のように常識や枠組みに囚われず、自由な発想で物事をとらえ、前向きに生きようとする力を持っている。未知の世界と真剣に向き合い、ときに戸惑い傷つきながらも柔軟に適應するその姿勢には、未熟さと、大人も気づかない物事の本質を鋭く見抜く不思議な強さが共存している。

本展では、このような力を持つこどもを、広く私たち大人と世界をつなぐ「ゴー・ビトゥイーンズ(媒介者たち)」にとらえ、現実と空想をはじめ、異なる世界を往来するこどもの性質や彼らの持つ多様な感覚、また、彼らの生きる社会の諸相―家族・教育・グローバリズム・政治など―を、世界各国の20作家による映像、写真、絵画などの作品を通して紹介した。単に観覧するだけでなく、作品鑑賞を通してこれからの世界をどう生きるか、来館者とともに考え、語り合う場としての美術展のあり方を投げかけた。

## 図録

28.1×20.9cm 192頁

編集：荒木夏実、佐々木瞳(森美術館)、隈千夏

発行：森美術館



ポスター



図録



会場風景

## キッズ・ワークシート

14.8×10.5cm 12頁

制作:名古屋市美術館、沖縄県立博物館・美術館、高知県立美術館

協力:ポンポワン

## 関連事業

### 記念講演会

日時:11月23日(日)午後2時～

講師:相良敦子(モンテッソーリ教育研究者・長崎純心大学大学院)

演題:「こどものみかた」

会場:2階講堂



キッズ・ワークシート

## 展覧会解説会

日時:12月7日(日)午後2時～

講師:清家三智(当館学芸員)

会場:2階講堂



記念講演会「こどものみかた」

## 映画上映会

①日時:11月16日(日)午後2時～

作品:『子供の情景』(イラン、フランス/2007年/81分/日本語字幕)

②日時:11月22日(土)午後2時～

作品:『はちみつ色のユン』(フランス、ベルギー、韓国、スイス/2012年/75分/日本語字幕)

③日時:11月29日(土)午後2時～

作品:『ぜんぶ、フィデルのせい』(フランス、イタリア/2006年/99分/日本語字幕)

会場:①～③すべて2階講堂



鑑賞プログラム(ファミリー向け)「おしゃべりしながら見よう」

## 鑑賞プログラム

### A. ファミリー向け「おしゃべりしながら見よう」

キッズ・ワークシートを用いた展覧会鑑賞を通して、家族の対話をサポートした。

日時:11月16日(日)午前10時～11時

講師:清家三智(当館学芸員)

会場:企画展示室1・2

### B. 中高生向け「対話を通して広がる世界」

展覧会を鑑賞後、印象に残った作品についてグループ・ディスカッションを行った。

日時:(高校生)12月6日(土)午前10時～午後3時

(中学生)12月14日(日)午後1時～午後4時

講師:清家三智(当館学芸員)

協力:(高校生)愛知県高等学校文化連盟美術・工芸専門部会

(中学生)名古屋市教育研究協議会

会場:企画展示室1・2および2階講堂



鑑賞プログラム(高校生向け)「対話を通して広がる世界」

## だまし絵Ⅱ

Visual Deception II: Into the Future

会期：2015年1月10日(土)～3月22日(日)

### 主催

名古屋市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送

### 後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

### 協賛

積和不動産中部株式会社、株式会社トーエネック

### 協力

スイス インターナショナル エアラインズ、日本貨物航空、日本航空、ルフトハンザ カーゴ AG、名古屋市交通局、JR東海、近畿日本鉄道

### 観覧料

一般1,400円、高大生900円、中学生以下無料

### 内容

古今東西のだまし絵の名品を集め、その歴史と技法を紹介した「視覚の魔術—だまし絵」展(2009年)。その続編となる本展覧会は、主に20世紀以降に登場した「だまし絵の進化形」とも言うべき、見る者の目をあざむくような仕掛けをもつ美術作品を、絵画の領域のみにとどまらず、彫刻や写真、映像にも範囲を広げて紹介した。

展覧会は次の五つの章で構成した。「プロローグ」では16世紀から18世紀に制作された、だまし絵の古典的名品を集め、古くから存在する目だましの代表的な手法を紹介。ジュゼッペ・アルチンボルドの《司書》(1566年頃)、コルネリス・ノルベルトゥス・ヘイスブレヒツの《トロンプレイユ 理髪師の道具のあるレターラック》(1668年)を含む9点を展示した。第1章から第4章までは、20世紀以降の作品をトリックの種類で分類して展示した。「第1章 トロンプレイユ」では、事物の外観をあたかも本物(真実)のように表現してみせることで、現実と虚構の感覚を曖昧にすることをねらった作品を集めた。ロン・ミュエク、レアンドロ・エルリッヒ、トーマス・デマンド、カズ・オオシロらによる作品18点を展示した。「第2章 シャドウ、シルエット&ミラー・イメージ」では、ミケランジェロ・ピストレット《カメラマン》(1962-2004年)やラリー・ケイガン《トカゲ》(2008年)など、鏡もしくは光と影を利用して、正像(実体)と虚像に混乱をもたらすような作品14点を展示した。「第3章 オブ・イリュージョン」では、ヴィクトル・ヴァザルリ、ヤーコブ・アガムらオブ・アートを代表する作家から、パトリック・ヒューズ、名和晃平のものまで、錯視効果もしくは光の屈折を利用して見る者を幻惑する作品13点を集めた。「第4章 アナモルフォーズ・メタモルフォーズ」では、遠近法や比率を操作して、歪んだ空間やものを表現した作品、また見方を変えると別の画像が見えてくるなど、イメージの変容を扱った作品を集めた。サルバドール・ダリ《海辺に出現した顔と果物鉢の幻影》(1938年)、ルネ・マグリット《白紙委任状》(1965年)、エヴァン・ペニー《引き伸ばされた女#2》(2011年)など22点を展示した。



ポスター



図録

## 図録

26.0×21.8cm 164頁

編集: Bunkamura ザ・ミュージアム、兵庫県立美術館、  
名古屋市美術館、中日新聞社

執筆: Bunkamura ザ・ミュージアム

木島俊介、宮澤政男、廣川暁生、柳澤宏美  
兵庫県立美術館

速水豊、岡本弘毅

名古屋市美術館

深谷克典、保崎裕徳

翻訳: マーサ・マクリントク

デザイン: 馬面俊之

制作: アイメックス・ファインアート

発行: 中日新聞社

価格: 2,300円

## 関連事業

日時: 1月18日(日)、2月21日(土)いずれも午後2時～

上映作品: 『ヴィック・ムニーズ／ごみアートの奇跡』

監督 ルーシー・ウォーカー 98分 カラー 英語・ポルトガル語(日本語字幕付) イギリス・ブラジル 2011年

場所: 2階講堂

## 展覧会解説会

日時: 1月24日(土)、3月1日(日)いずれも午後2時～

講師: 保崎裕徳(当館学芸員)

場所: 2階講堂

## ボランティアによるギャラリートーク

開催日: [1月] 20日(火)、22日(木)、27日(火)、29日(木)

[2月] 3日(火)、5日(木)、10日(火)、12日(木)、17日(火)、  
19日(木)、24日(火)、25日(水)、26日(木)

[3月] 3日(火)、4日(水)、5日(木)、10日(火)、11日(水)、  
12日(木)、17日(火)、19日(木)

開始時間: 午前10時30分～／午後1時30分～(約60分)



会場風景



会場風景



会場風景

名古屋市美術館では、美術鑑賞の楽しさや面白さを体験できる美術館を目指して、今年度も来館者の皆さんからの多様な要望に応えられるように多彩な教育プログラムを実施しました。

一般向けには、特別展や常設企画展などでの講演会や解説会が定番ですが、今年度は特別展に関連したアーティスト・トークや映画上映会などを多数実施しました。

「マインドフルネス！ 高橋コレクション展 決定版2014」展では、コレクターの高橋龍太郎氏の講演会を皮切りに、出品作家によるアーティスト・トークが続きました。とくに現在人気の画家・山口晃氏のアーティスト・トークでは、取材中のテレビ番組のカメラも入り、トーク終了後のサイン会も長蛇の列となりました。さらに、鴻池朋子氏によるワークショップも開催されました。また、常設企画展「ポジション2014 水野正人－水性であること」でもアーティスト・トークを開催しました。

「ゴー・ビトゥーンズ：こどもを通して見る世界」展では、子どもを主人公とした展覧会ということで、子どものための展示を目指して、子どもたちの言葉で解説を書き、子どもたちの目線で見ることのできる場所にキャプションを設置する「子どもキャプション・プロジェクト」はじめとして、モンテッソーリ教育研究家の相良敦子氏の講演会とともに、さまざまな環境に置かれた子どもたちの姿を描いた映画の上映会（3回）を開催しました。「だまし絵Ⅱ」展でも、出品作家ヴィック・ムニーズの映画『ごみアートの奇跡』を上映しました。

この他の特別講演会としては、2016年春に開催予定の藤田嗣治展での出品協力が確定しているフランスのランス美術館のダヴィッド・リオ館長による講演会「印象派から藤田へ：ジャポニズムと日本が生んだ素晴らしいコレクション」、あいちトリエンナーレスクールでの文化人類学者・今福龍太氏の講演会「ブラジルの想像力－往還する旅人たち」などを開催しました。

毎年恒例となった名古屋市美術館の学芸員による研究発表の場としての「コレクション解析学」は全5回（藤田嗣治、中村正義、イサム・ノグチ、パスキン、北川民次）を実施しました。

次に、子ども向けの教育普及事業としては、夏休みの恒例となった「夏休み こどもの美術館」では、特別展「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」に関連して、「日本画に挑戦！…してみる？」というタイトルで、日本画の岩絵具を体験する「ざらざらえのぐで、でっかいびょうぶ」、日本画特有の形式である屏風の仕組みを学んで「枕屏風を作ろう」、日本画家・濱田樹里氏を講師に植物画を描きながら「日本画の良さを知ろう」といった、小中学生だけでなく、未

就学児や一般成人も楽しんで参加できるプログラムを実施しました。

また、「美術をたのしむプログラム」名古屋市美術館の「キッズの日」として実施している美術鑑賞プログラムにおいては、「子どものためのワークシート」を配布するとともに、白川公園を巡る「“おと”探検隊」（鈴木昭男の《点音in白川公園》）と「宝物（＝美術作品）を守る」ために工夫されている「“びじゅつかん”探検隊」、「アート・ウォッチング」を実施しました。

学校との連携による教育普及事業としては、平成15年度から開始された「出前アート体験」では、「名画の秘密をさぐる」「作品に託されたメッセージ」「美術から異文化を知ろう！」「アートカードで学ぼう」などのプログラムを持って、当館学芸員やガイドボランティアが出前授業（全8校）を行いました。学校の団体見学への対応においても、ガイドボランティアによる常設展のガイドトークを受けた児童・生徒たち（名古屋市内の小中学校を中心として、大学や老人クラブも含めて、21団体1,381名）は充実した美術鑑賞の体験をしています。名古屋市美術館が開発した美術鑑賞補助教材「アートカード」の貸出は、美術館と保管校から総計22件49セットでした。また、昨年度から引き続いて、教師のための研修会として、名古屋市教育センター研修「名古屋市美術館における鑑賞教育講座」を2日間開催しました。

このように名古屋市美術館が積極的な教育普及事業を展開できるのは、ガイドボランティアの活動に支えられているからです。名品コレクション展でのギャラリートークを基本として、「キッズの日」の美術鑑賞プログラムの企画・実施、「出前アート体験」の「アートカードで学ぼう」の支援、常設展の学校団体向けガイドトークの実施、ボランティア養成講座のサポートを行う教育活動など、幅広い分野で活動を行ってきました。今年度は、総計97名のボランティアが活動しました。

美術館の活動を支援することを目的とした美術愛好家の会である名古屋市美術館協力会では、春・秋の「美術館見学ツアー」や近郊の美術館への「美術鑑賞ミニツアー」を積極的に実施しました。「作家を囲む会」（山口晃氏、伊藤正人氏）を開催しました。また、協力会から美術館へ作品を寄贈した画家・眞島直子氏にオリジナル・カレンダーの作成を委嘱して、多数の新規会員の獲得に成果を挙げました。

この他に、美術書や画集・展覧会カタログが充実した図書室の利用者も年間で5,189名になっています。出版関係では、多彩で豊富な記事が好評の美術館ニュース「アートペーパー」（第96～98号）とともに、『年報』『展覧会案内』を定期刊行しました。

# 1. 一般成人対象の事業

## (1) 講演会・解説会

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
26年4月12日(土)	14時～	マインドフルネス!展オープニング記念トーク	高橋龍太郎(コレクター、精神科医)	企展1・2	230
26年4月13日(日)	14時～	マインドフルネス!展解説会	笠木日南子(当館学芸員)	講堂	65
26年4月27日(日)	14時～	マインドフルネス!展アーティストトーク	近藤亜樹、名知聡子、松井えり菜、和田典子(いずれも本展出品作家)	企展1・2	160
26年5月25日(日)	14時～	マインドフルネス!展アーティストトーク(サイン会)	山口晃(本展出品作家)	講堂	180
26年6月1日(日)	14時～	マインドフルネス!展高橋龍太郎氏トーク	高橋龍太郎(コレクター、精神科医)、聞き手:内田真由美、児島やよい(いずれも本展企画・監修者)	講堂	180
26年7月13日(日)	14時～	挑戦する日本画展記念講演会「日本画の生命力」	吉田俊英(豊田市美術館館長)	講堂	60
26年7月20日(日)	14時～	挑戦する日本画展解説会「日本画はいかにして現代化されたのか」	山田諭(当館学芸係長)	講堂	68
26年8月10日(日)	14時～	挑戦する日本画展解説会「日本画はいかにして現代化されたのか」	山田諭(当館学芸係長)	講堂	15
26年9月7日(日)	14時～	現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展記念講演会「なぜ現代美術が『世界の宝』なのか?」	保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)	講堂	110
26年9月13日(土)	14時～	トリエンナーレスクール「アジアの新しいアートマーケットのヒミツ」	大田秀則(オオタファインアーツ代表)	講堂	107
26年9月14日(日)	14時～	現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展解説会	中村暁子(当館学芸員)	講堂	65
26年11月15日(土)	14時～	ポジション2014「水性であること 伊藤正人」アーティストトーク	伊藤正人(本展出品作家) 聞き手:角田美奈子(当館学芸員)	講堂	75
26年11月23日(日)	14時～	ゴー・ピトゥイーンズ:こどもを通して見る世界展記念講演会「こどものみかた」	相良敦子(モンテッソーリ教育研究家、長崎純心大学大学院教授)	講堂	86
26年12月7日(日)	14時～	ゴー・ピトゥイーンズ:こどもを通して見る世界展解説会	清家三智(当館学芸員)	講堂	67
27年1月24日(土)	14時～	だまし絵Ⅱ展解説会	保崎裕徳(当館学芸員)	講堂	130
27年1月31日(土)	14時～	トリエンナーレスクール「ブラジルの想像力—往還する旅人たち」	今福龍太(文化人類学者、批評家)	講堂	75
27年2月7日(土)	14時～	特別講演会「印象派から藤田へ:ジャポニズムと日本が生んだ素晴らしいコレクション」 ※日本語通訳あり	ダヴィッド・リオ(ランス美術館館長)	講堂	187
27年3月1日(日)	14時～	だまし絵Ⅱ展解説会	保崎裕徳(当館学芸員)	講堂	95
27年3月6日(金)	17時半～	だまし絵Ⅱ展手話通訳&要約筆記つき解説	保崎裕徳(当館学芸員)、名身連	企展1・2	11
27年3月12日(木)	10時～	視覚障がい者の方向け美術鑑賞会	保崎裕徳(当館学芸員)、ボランティア	常展1・2	20

\*展覧会チケットまたは半券の提示が必要。



ランス美術館館長講演会



クリスマスコンサート



街角コンサート

## (2)コレクション解析学

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
26年5月18日(日)	14時～	藤田嗣治《自画像》	深谷克典(当館副館長)	講堂	105
26年7月27日(日)	14時～	中村正義《男女》	山田諭(当館学芸係長)	講堂	90
26年9月28日(日)	14時～	イサム・ノグチ《死すべきもの(Mortality)》	保崎裕徳(当館学芸員)	講堂	88
26年11月30日(日)	14時～	ジュール・パスキン《放蕩息子と娘たち》	中村暁子(当館学芸員)	講堂	60
27年1月25日(日)	14時～	北川民次《トラルパム霊園のお祭り》	清家三智(当館学芸員)	講堂	75

### コレクション解析学第1回

日時: 5月18日(日)午後2時～

作品: 藤田嗣治《自画像》1929年

演題: 「私はいったい何者なのか?」

講師: 深谷克典(副館長)

内容: 西洋美術の歴史における「自画像」の表現の変遷を最初にたどり、それが「職人」から「芸術家」へと移行する、画家の強い自意識の反映であることを示した。名古屋市美術館が所蔵する藤田の自画像は、16年ぶりの帰国を果たす直前にフランスで描かれたものであり、当時盛名を誇っていた画家の強烈な自意識を伝えるものである。一方、藤田は日本国内では一部の画家たちから強い反発を受けており、十分な評価を得ていないというジレンマを抱えていた。帰国直後に発表された藤田自身の文章を検証することにより、そのジレンマの強さと、敵対する画家たちへの反発心を確認するとともに、後に戦争責任を問われて故国を去ることになる遠因を分析した。演題の「私はいったい何者なのか?」という言葉は、日本とフランス、東と西に引き裂かれた藤田自身の内省の象徴として用いた。

### コレクション解析学第3回

日時: 9月28日(日)午後2時～

作品: イサム・ノグチ《死すべきもの(Mortality)》1959-62年

演題: 「ノグチの造形思考」

講師: 保崎裕徳(学芸員)

内容: パリ・ユネスコ本部の庭園の制作という大きな仕事を終えたノグチは、ニューヨークに戻り、アルミニウム板を素材にした軽やかな造形にしばし打ち込んだ。ここで重力の重要性を再認識したと思われるノグチは、《Mortality》において、人の生を「地面からの直立」、死を「自重を支えられずに屈した状態」にたとえ、この2つの要素を共存させた簡潔明快な形態で、死すべき運命を抱えた人間像を提示している。本講演会では、もともと木材とひもで作られていたオリジナルの作品を、ブロンズに移し変えたノグチの動

機を紹介し、その結果生じた視覚的効果、暗示的効果について分析した。また、彫刻制作に際して問題となる、素材や量感、重力、バランス、多視点性、触覚性、空間性に対するノグチの鋭敏な感覚を、《スライド・マントラ》などいくつかの作例を見ながら再確認した。

### コレクション解析学第4回

日時: 11月30日(日)午後2時～

作品: ジュール・パスキン《放蕩息子と娘たち》1926年

演題: 「版画が語るパスキン像」

講師: 中村暁子(学芸員)

内容: パスキンの多彩な版画のうちのひとつである《放蕩息子と娘たち》は、彼がしばしばテーマとして採り上げた放蕩息子の物語を描いたものである。聖書に出てくるこの物語は、家を出て放蕩の限りを尽くした息子が帰ってきたところを優しく迎える父親の慈愛を語ったもので、レンブラントの油彩作品にも採り上げられている。レンブラントは聖書の物語そのままに、帰ってきた息子を受け入れる父親の姿を神々しく描いているが、パスキンの版画の中では、戻ってきた放蕩息子が沢山の女性たちによって迎えられている。《放蕩息子と娘たち》には、パスキンという人物とその人生がよく反映されている。そこで、この講座では、この作品を通じてパスキンという人物像を浮かび上がらせることを試みた。まず、彼の生涯を辿り、パスキンにとって旅とは何であったかを、旅を描いた作品から採り、また、パスキンにとっての女性について、女性像を描いた作品から考察した。さらに、パスキンの作品の中の空間表現について、版画作品の空間処理と油彩の空間処理を挙げて考察し、最後に放蕩息子を描いた作品の中でそういったパスキンの作品の特色がどのように表れているかを考え、パスキンという人物について論じた。

## コレクション解析学第5回

日時:2015年1月25日(日)午後2時～

作品:北川民次《トラルパム霊園のお祭り》1979年

演題:メキシコへのまなざし

講師:清家三智(学芸員)

内容:北川民次(1894-1989)は、同時代を生きた画家には珍しく、ヨーロッパではなくアメリカおよびメキシコで22年を過ごし、帰国後、日本における児童美術教育

に尽力した人物として知られている。しかし、アメリカおよびメキシコ時代、彼がどのように美術を学び、誰に影響を受け、どんな経験から画家としてのキャリアを積んでいったか、具体的かつ詳細に語られることは少ない。北川自身が遺した複数のメキシコ体験記や手記を参照し、22年の海外生活の足取りを追いながら、《トラルパム霊園のお祭り》が彼の画業においてどう位置づけられるのか、丁寧に検証した。

### (3)上映会

年月日	時刻	内容	場 所	参加者
26年11月16日(日)	14時～	GB展映画上映会『子供の情景』(イラン、フランス/2007年/81分/日本語字幕)	講堂	20
26年11月22日(土)	14時～	GB展映画上映会『はちみつ色のユン』(フランス、ベルギー、韓国、スイス/2012年/75分/日本語字幕)	講堂	36
26年11月29日(土)	14時～	GB展映画上映会『ぜんぶ、フィデルのせい』(フランス、イタリア/2006年/99分/日本語字幕)	講堂	42
27年1月18日(日)	14時～	だまし絵Ⅱ展上映会『ヴィック・ムニース／ごみアートの奇跡』(イギリス、ブラジル／2011年／カラー、98分／英語・ポルトガル語 *日本語字幕つき)	講堂	133
27年2月21日(土)	14時～	だまし絵Ⅱ展上映会『ヴィック・ムニース／ごみアートの奇跡』(イギリス、ブラジル／2011年／カラー、98分／英語・ポルトガル語 *日本語字幕つき)	講堂	90

### 『ヴィック・ムニース／ごみアートの奇跡』

監 督 ルーシー・ウォーカー 98分 カラー 英語・ポルトガル語(日本語字幕付) イギリス・ブラジル 2011年

「芸術で世界を変える！」ひとりのアーティストの決心が、世界最大のごみ処理場で働く人々の人生を輝かせていく感動のドキュメンタリー。

日 時 1月18日(日)、2月21日(土)

いずれも午後2時～

場 所 2階講堂

来場者数 1月18日(日):133名、2月21日(土):90名

### (4)コンサート

年月日	時刻	内容	講 師 等	場 所	参加者
26年4月20日(日)	11時30分～	まちかどコンサートin名古屋市美術館	JAZZカルテット「鬼頭バンド」(ヴァイオリン:鬼頭俊、ギター:中村晃、ファゴット:シャシコフ、パーカッション:浅井翔太)	地階ロビー	60
26年4月20日(日)	13時～			地階ロビー	60
26年12月20日(土)	17時～	名古屋市美術館クリスマスコンサート	セントラル愛知交響楽団(オーボエ:池田逸雄、ホルン:山本雅士、ピアノ:山本洋子)	地階ロビー	185
26年12月20日(土)	18時30分～	名古屋市美術館クリスマスコンサート	セントラル愛知交響楽団(オーボエ:池田逸雄、ホルン:山本雅士、ピアノ:山本洋子)	地階ロビー	112
26年12月21日(日)	17時～	名古屋市美術館クリスマスコンサート	セントラル愛知交響楽団(オーボエ:池田逸雄、ホルン:山本雅士、ピアノ:山本洋子)	地階ロビー	200
26年12月21日(日)	18時30分～	名古屋市美術館クリスマスコンサート	セントラル愛知交響楽団(オーボエ:池田逸雄、ホルン:山本雅士、ピアノ:山本洋子)	地階ロビー	167

### (5)パフォーマンス・ワークショップ

年月日	時刻	内容	講 師 等	場 所	参加者
26年5月11日(日)	14時～	マインドフルネス展 鴻池朋子ワークショップ	鴻池朋子(本展出品作家)	展示室内	14
26年11月16日(日)	10時～	GB展鑑賞P「おしゃべりしながら見よう」(ファミリー向け)	当館学芸員	企展	16
26年11月22日(土)	11時～	GB展鑑賞P「おしゃべりしながら見よう」	当館学芸員	企展	22
26年12月6日(土)	10時～	GB展鑑賞P「対話を通して広がる世界」(高校生向け)	当館学芸員、愛知県内教員有志	講堂企展	63
26年12月14日(日)	13時～	GB展鑑賞P「対話を通して広がる世界」(中学生向け)	当館学芸員、名古屋市内教員有志	講堂企展	26
27年2月28日(土)	14時～	だまし絵Ⅱ展ワークショップ「だまし絵を作ろう!」	協力:名古屋市科学館	講堂	54



## (6)その他

### 視覚障がい者の方向け「だまし絵Ⅱ」鑑賞会

日時	2015年2月2日(月)午後1時30分～3時30分
場所	企画展示室1・2
参加者数	11名(および付添1名)
スタッフ	アートな美11名、当館ボランティア7名
企画・運営	(学芸員)保崎裕徳
内容	視覚障がい者の方のみを対象として、特別展「だまし絵Ⅱ」のギャラリートークを、事前申込制で休館日に実施した。参加者の募集、当日の引率・鑑賞にあたっては、視覚障がい者の方への美術鑑賞をサポートする団体「アートな美」にご協力いただいた。参加者1～2名につき「アートな美」の方1～2名と当館ボランティア1名が1組となり、主に「アートな美」の方が作品の外観を言葉で描写し、当館ボランティアが作品解釈や作者について説明しながら鑑賞した。幾つかの作品のガイドにあたっては、事前に作成した立体コピー(作品の輪郭線を浮き上がらせて触察できるようにした紙)や、作品の模型を使いながら鑑賞した。

### 視覚障がい者の方向け常設展鑑賞会

日時	2015年3月12日(木)午前10時～正午
場所	常設展示室1・2、地下1階ロビー
参加者数	9名(および付添8名)
スタッフ	ボランティア14名
企画・運営	(学芸員)保崎裕徳
内容	視覚障がい者の方のみを対象として、常設展のギャラリートークを事前申込制で実施した。参加者1名につき当館ボランティアが1名ないし2名が1組となり、説明をしながら5点前後の作品を鑑賞した。幾つかの作品のガイドにあたっては、事前に作成した立体コピーや、作品の模型を使いながら鑑賞した。

### 手話通訳・要約筆記つき「だまし絵Ⅱ」解説会

日時	2015年3月6日(金)午後5時30分～6時30分
場所	2階講堂、企画展示室1・2、常設展示室3
参加者数	10名
講師	(学芸員)保崎裕徳
スタッフ	手話通訳士2名、要約筆者1名
内容	聴覚に障がいのある方のみを対象として、特別展「だまし絵Ⅱ」の解説会を事前申込制

で実施した。参加者の募集、手話通訳士・要約筆者の派遣にあたっては、社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会 名身連聴覚言語障害者情報文化センターにご協力いただいた。当日は講堂において、スクリーンにプロジェクターで画像を投影し、担当学芸員が作品について解説している内容を、同時に手話通訳と要約筆記で参加者に伝えた。解説会後、参加者は展示室内を自由に鑑賞し、必要のある時は手話通訳士、要約筆者を介して学芸員と質疑応答した。

## 2. 子ども対象の事業

### (1)学校休業日の体験活動の推進

平成15年度から、長期休業期間を除く学校休業日(土日祝)を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。これは名古屋市教育委員会が平成22年度まで推進してきた「なごやっ子教育推進計画」の後継として策定した「名古屋市教育振興基本計画」の一環で行うものである。平成26年度は年間6回のプログラムを開催した。

#### ①こどものためのワークシート

日時	開館中の土曜・日曜・祝日および学校長期休暇期間(128日間)
対象	小中学生
延べ実績	1,222枚
参加方法	当日常設展入口で随時受付
内容	名品コレクション展Ⅰ～Ⅲの各展示内容にあわせて展示作品をじっくり鑑賞するためのヒントやクイズを載せた「こどものためのワークシート」を配布し、取り組んでもらうことで作家や作品への理解を深めた。

#### ②“おと”探検隊

日時	1回目…5月31日(土)／2回目…11月29日(土) いずれも午前10時～正午
対象	小中学生とその保護者
参加者数	1回目…15名／2回目…8名
スタッフ	(学芸員)清家三智 1回目…ボランティア6名 2回目…ボランティア10名(見学者含む)
内容	目には見えない“音”を意識するための練習を参加者全員と一緒に行った後で、2009年に

設置された鈴木明男の作品《点音 in 白川公園》を体験しながら、身近な存在である“音”について考えを深めることをねらいとしたプログラム。意識して耳をすますことで、音の動きや響き方、距離感などを聞きとるだけでなく、「見ること」と「聞くこと」のちがいに気づいたり、空間の広さ／狭さやその日の気候、身の回りの環境などについて五感を使って丁寧に感じ取る機会となり、参加者に白川公園という場の面白さや魅力に気づいてもらうことができた。



### ③“ひじゅつかん”探検隊

**日時** 1回目…7月5日(土)／2回目…2015年1月31日(土)  
いずれも午前10時～正午

**対象** 小学生

**参加者数** 1回目…24名／2回目…23名

**スタッフ** (学芸員)清家三智

1回目…ボランティア10名

2回目…ボランティア12名

**内容** 美術館は何のための場所か、館内を探検しながら自分たちで見て、聞いて、考えを掘り深めていくプログラム。前半は単なるバックヤードツアーではなく、館内の設備をくわしく観察することから「どうして美術館には開かない窓しかないのか」、「火事になったらどうするのか」「なぜ収蔵庫の鍵はこんなにたくさんあるのか」などの疑問を参加者に抱かせ、館内で働いている人々の役割を考えながら学芸員と話し合う活動を通して、「宝物(=美術作品)を守る」という美術館の社会的役割への理解を深めた。

### ④アート・ウォッチング

**日時** 1回目…10月25日(土)／2回目…2015年2月28日(土)  
いずれも午前10時～正午

**対象** 小学生

**参加者数** 1回目…9名／2回目…27名

**スタッフ** (学芸員)清家三智

1回目…ボランティア8名

2回目…ボランティア12名

**内容** (1回目) 参加者全員で常設展に恒常展示してあるディエゴ・リベラの作品《プロレタリアの団結》を鑑賞し、人物の顔の表情が細かいところまで写実的に描かれていることに注目した。その後、手鏡で目やまぶた、鼻、唇の形、眉やまつげの生え方、ほくろの位置など、自分の顔の造作を丁寧に観察し、画用紙に鉛筆を使って、見えるまま出来るだけ詳しく自分の顔を描くことに挑戦した。(2回目) 参加者全員で北川民次の絵画作品《トラルパム霊園のお祭り》をよく観察したあと、ボランティアから3つのお題を順に投げかけた。

①絵の中の登場人物はどんなことを考えているか、何を言おうとしているか、想像してみよう

②絵の中に文字は出てくる? どんなことが書いてあるか、よく見て内容を考えてみよう

③この絵がある物語の一場面だとしたら、この後どんなお話が続くと思うか、想像したことを話し合ってみよう

その後、グループに分かれてそれぞれ2～3点の作品を鑑賞し、参加者の発達段階に即して①および②または③の問いかけを行いながら、積極的に対話を行った。①ではボランティアが吹き出しの描かれたパネルを使い、どの人物の思いや言葉なのかを確認しながら参加者の発言を受け止めた。最後に、各グループでどんな作品を見たか、見ながらどんな想像をして話し合ったかを発表する時間を設けた。各自の見方を共有することで見ていない作品への興味を高めるきっかけにもなった。

「作品を見ながら、どれだけ多様に想像を膨らませ、自由に話し合えるか」をテーマに鑑賞に特化したプログラムだった。

## (2)夏休みこどもの美術館

平成26年度は「日本画に挑戦!…してみる?」と題し、同時期開催の特別展「挑戦する日本画」をきっかけに日本画への関心を高めることをねらいとし、日本画の材料や日本画ならではの絵画形式や表現手法を知り、実際に触ったり匂いを嗅いだりして確かめながら作品制作を行う体験プログラムを多数企画した。またこれまで対象としていた小中学生のほか、未就学児や一般成人も参加できるプログラムを企画・開催した。



### 【事前申し込みが必要な講座】

#### A. 「ざらざらえのぐで、でっかいびょうぶ」

**日 時** 8月8日(金)午前10時～12時30分  
**講 師** 山口百子(美術家)  
**対 象** 小学1～3年生  
**参加費** 400円  
**定 員** 20名  
**参加者数** 19名  
**内 容** 日本画独特の絵具の手ざわりを味わいながら、参加者全員で大きな屏風づくりに挑戦するプログラム。

参加者を4グループに分け、水干絵具やにかわなど日本画で用いる特殊な画材の「手ざわりを確かめる」「においをかぐ」など五感に働きかける活動を行った後、指で練った絵具を水でゆるめ、新鳥の子紙(全紙)を貼った板ダンボールに「海の中」というテーマに沿って筆で自由に描いた。さらに、各自が硯で墨を磨って作った墨汁を使って描き足し、最後はそれぞれのグループで描いた板ダンボールをすべて継ぎ合わせ、四曲一隻の巨大な屏風を完成させた。

#### B. 「枕屏風を作ろう」

**日 時** 8月8日(金)午後2時30分～4時30分  
 8月9日(土)午前10時～午後3時  
 ※2日間かけて制作

**講 師** 山口百子(美術家)  
**対 象** 小学4年生～中学3年生  
**参加費** 500円  
**定 員** 15名  
**参加者数** 16名  
**内 容** 日本画材で絵を描くだけでなく、屏風の構造を知り、自分の手で一から作って仕上げるプログラム。

最初に特別展「挑戦する日本画」を見学し、出品されている屏風作品の大きさ・構造と画題との組み合わせなどについて意見交換を行った。その後、今回制作する枕屏風のサイズを説明し、横長の画面にどんな図柄を描くか考え、下絵を完成させたところで1日目終了。

2日目は下絵で描いた輪郭線に墨を入れ、水干絵具をにかわ水で溶いた絵具で彩色し、絵を完成させた。乾燥させる時間を利用して、屏風の土台となる2枚の台紙を形の異なる3つの紙のちょうつがいをつなぎ合わせ、最後に土台に絵を貼り付けて仕上げた。

### C. 「日本画の良さを知ろう」

日 時 7月26日(土)午前10時～午後4時  
講 師 濱田樹里(日本画家、名古屋造形大学准教授)  
対 象 小学4年生～中学3年生  
参加費 2000円  
定 員 15名  
参加者数 14名  
内 容 活躍中の日本画家のサポートの下、植物画を制作しながら日本画材の特徴や良さについて考えるプログラム。

この日使う道具や画材、画材の原料になる鉱石などを講師が紹介し、水干絵具の溶き方やかわ水の加える量を説明した後、各自が鳥の子紙を水張りした木製パネルに、最初は全員同じ色で、次に各自がしたい色で、地塗りを都合2度施す。地塗りが手につかないくらい乾いてから、講師が持参した花の資料写真から自分の作品にしたいものを選んでパネルの上におき、写真とパネルの間に念紙を挟んで花の形をトレースする。トレースした線を、墨汁を含ませた筆でなぞり、乾いてから彩色に取り掛かる。

講師から「一度色を塗ったら終わりではなく、ときには異なる色を使いながら、何度も塗り重ねることで画面に深みや奥行きが出る」などのアドバイスがあり、普段であれば行わない重ね塗りに参加者は果敢に取り組んだ。そのほか粉末状の軽石を混ぜて部分的に絵具を盛り上げる、砂子を用いて金粉を振りかける、金箔を貼るなど、特殊な装飾技法にも挑戦しながら、参加者は日本画だからこそ出来る表現について考えを深め、作品に工夫をこらした。



### 【当日受付の講座】

#### 「だれでもワークショップ」

日 時 7月23日(水)、7月30日(水)  
8月6日(水)、8月13日(水)、  
8月20日(水)の計5日間  
いずれも午前10時、11時、午後1時、  
2時からの1日4回  
1回につき1時間程度

対 象 どなたでも(※未就学児は必ず保護者同伴)

参加費 200円

定 員 各回10名

参加者数 184名(5日間×4回のべ)

内 容 12cm四方の小さな色紙に日本画材を使って絵を描くミニワークショップ。「夏」をテーマに題材を1つ決めてから全員が硯で墨を磨り、墨汁で輪郭線を描いた後、各自が水干絵具を指で練る体験をし、彩色した。自分の印(マーク)を考えて1cm角のスチレンに鉛筆で彫り、朱肉をつけて画面に捺して完成とした。

欧米式の生活様式に慣れ、日本画というものを全くイメージできない今の未就学児や児童・生徒に関心を持たせるため、使用する全ての道具・画材を丁寧に紹介し、手ざわりを確かめる、においを嗅ぐなどの体験を適宜織り交ぜながらワークショップを進めた。

参加者の中心は幼児～小学生だったが、母親と一緒に参加する1歳半の乳児から、夏休みの部活動で美術館を訪れた中学生や高校生、特別展を見に来た一般成人まで、幅広い層の来館者にワークショップを提供することができた。



### (3)芸術と科学の杜

「芸術と科学の杜」とは、名古屋市美術館と科学館が連携して、市民の豊かな感性と創造力を育む魅力ある事業を継続して実施するとともに、白川公園周辺の文化施設や地域とも協力して連携の輪を広げることで「芸術と科学を中心にさまざまな文化が融合し、新しい文化を生み出すまち」の形成を目指すものである。

平成24年5月には、この事業の目的を実現するため、地元商店街や周辺の施設、関係機関で構成する「芸術と科学の杜連携推進会議」を設立し、買いにおいでや広小路夏祭りなど地元イベントへの参加や、地域連携事業を企画実施している。

その事業の一つとして、10月にサイエンス&アートフェスティバルを開催し、美術館ではアート大会を実施した。



ワークショップ



探検ヘルメット

#### アート大会

日時 10月4日(土)・5日(日)午前10時～午後4時

場所 白川公園

参加者数 1,976人(事前申込不要、当日受付)

企画・制作・講師

松岡 徹(美術家/名古屋芸術大学教授)

アシスタント5名

スタッフ (学芸員)保崎裕徳

当館ボランティア17名

内容 ①スタンプラリー 宇宙人?!ナゾの生き物を

探しに行こう

入り口でスタンプラリーの台紙(裏面は白川公園の地図)をもらった参加者は、公園内及び美術館内に仕掛けられた9つの「宇宙人の痕跡」を探してまわりスタンプを集めた。宇宙人のミイラ、足跡、家など展示物はすべて松岡徹氏に制作いただいた。

②ワークショップ 探検ヘルメットを作ろう

スタンプラリーを楽しむ雰囲気づくりと子ども達の工作意欲に応えるため、宇宙人と交信できる機能を想定しながら「探検ヘルメット」を制作するワークショップを行った。



### 3. 学校対象事業

#### (1) ボランティアによる学校団体向けガイドトークの実績

##### 平成26年度学校団体受入

No.	日時	曜日	団体名	見学者数(生徒数)	引率者数	対応ボランティア数
1	4月23日	水	西城小学校6年生	46	3	6
2	5月13日	火	吉根小学校6年生	134	5	8
3	5月23日	金	小幡小学校6年生	103	3	8
4	5月30日	金	守山小学校6年生	78	2	9
5	6月11日	水	大森小学校6年生	62	3	8
6	6月13日	金	下志段味小学校6年生	49	3	6
7	6月17日	火	志段味東小学校6年生	79	4	9
8	7月11日	金	東京福祉大学	10	1	3
9	7月29日	火	南養護学校高等部1～3年生	15	4	3
10	10月7日	火	城西小学校6年生	56	2	7
11	10月8日	水	笠寺小学校6年生	68	3	8
12	10月15日	水	緑小学校6年生	64	3	8
13	10月23日	木	古知野東小学校5年生	126	5	6
14	10月25日	土	刈谷市老人クラブ連合会	100	5	5
15	11月11日	火	武豊中学校1年生	70	4	8
16	11月22日	土	名古屋造形大学	33	1	3
17	11月26日	水	太子小学校4年生	72	3	12
18	12月10日	水	極楽小学校4年生	81	1	7
19	1月30日	金	豊ヶ丘小学校4年生	44	2	5
20	2月3日	火	高蔵小学校5年生	49	3	6
21	3月11日	水	飛島中学校2年生	42	3	5
計				1,381	63	140

#### (2) アートカード貸出実績

アートカードは、名古屋市美術館の所蔵作品の中から60点を選び、はがき大の複製図版に仕立てた鑑賞学習用補助教材である。名古屋市立の小中学校に対しては各

区に設けた保管校を通して、それ以外の学校・団体には美術館から直接貸出を行い、鑑賞学習の普及に努めている。

##### 平成26年度 アートカード保管校一覧

区	学校名	担当の先生	ケース数	保管ケース番号
千種区	東山小	塚本 雅子	3	1、2、3
東区	桜丘中	高橋 陽子	3	4、5、6
北区	清水小	浅野 陽佑	4	7、8、9、10
西区	稲生小	山崎 美佳	4	11、12、13、61
中村区	笹島中	川松 仁子	3	14、15、16
中区	新栄小	滝 純	3	17、18、19
昭和区	駒方中	高橋 幸夫	3	20、21、22
瑞穂区	萩山中	水谷 恵美	3	23、24、25
熱田区	日比野中	長崎由利子	3	26、27、28
中川区	はとり中	松下 泰久	4	29、30、
	昭和橋中	鬼頭 沙弓		31、33
港区	港明中	木村 雄介	3	34、35、36
南区	柴田小	辻本 哲也	4	38、39、40、41
守山区	瀬古小	原 敏史	4	42、43、44、45
緑区	太子小	中野 幸代	5	46、47、48、49、50
名東区	上社中	小林 弘倫	4	51、52、53、54
天白区	表山小	宮地 千加	4	55、56、57、58

##### 平成26年度 美術館からの直接貸出実績

No.	学校・団体名	期間	ケース数
1	(市内)松原小トワイライトスクール	4月25日ー5月20日	1
2	愛知工業大学情報電子専門学校	5月28日ー6月21日	1
3	伯人学校EAS豊田	7月11日ー8月1日	1
4	(市内)神宮寺小学校	9月21日ー10月3日	1
5	武豊町立武豊中学校	10月4日ー11月11日	2
6	おもてなしプロジェクト エンプロ株式会社	12月17日ー12月17日	1
7	名古屋市博物館	12月17日ー1月22日	1
8	愛知インターナショナルスクール	1月6日ー2月5日	1
9	(市内)福春小トワイライトスクール	2月18日ー2月18日	1

計9件、10セット貸出

平成26年度 アートカード保管校別貸出実績一覧

区	貸出先	ケース数	貸出期間
北	川中小	2	12月24日～貸出中
	味鏡小	2	1月15日～2月26日
中村	アイデアいっぱい楽しい授業づくり講座	2	8月1日～8月6日
昭和	駒方中	1	12月8日～12月12日
瑞穂	田光中	2	9月～2月
熱田	南養護学校	2	4ヶ月

区	貸出先	ケース数	貸出期間
中川	西前田小	1	11月7日～貸出中
守山	西城小	1	4月1日～2月28日
緑	太子小	4	6月30日～7月4日
	緑小	1	10月6日～10月20日
	太子小 (のべ)	17	10月～12月
名東	貴船小	1	8月1日～9月26日
	貴船小	3	11月19日～12月1日

計13件、39セット貸出

### (3)出前アート体験

#### ①天白区・平針小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる  
 日時 7月10日(木)午前10時45分～11時30分  
 場所 わくわくルーム  
 学年 3年生3クラス91人  
 講師 (学芸員)中村暁子  
 授業内容 フリーデンスライヒ・フンデルトワッサーの《郷愁の紫色の屋根》を紹介し、まず、作品の色や形をよく観察した。そして、この作品が曲線で出来ていることに注目し、自分たちの周辺にある真っ直ぐな線と曲線を見つけてもらい、自然の中には曲線しかないというフンデルトワッサーの考えを理解するようにした。また、フンデルトワッサーハウスの画像やフンデルトワッサーのアトリエの画像を通じて、植物についても考えた。次にモディリアアーニの《おさげ髪の少女》を見てもらい、作品の特徴を観察しながら、思ったことを話し合った。いずれの作品においても、子供の意見を引き出しながら、作品の特徴と作家の考えが伝わることを心がけ、名画といわれる絵画がどのような背景のもとに描かれているかを考える授業とした。

#### ②相生小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう  
 日時 9月10日(水)午前9時45分～10時30分  
 場所 教室  
 学年 2年生1クラス24名  
 講師 (学芸員)角田美奈子  
 スタッフ (ボランティア)5名  
 授業内容 名古屋市美術館を例にして美術作品と美術館について紹介したあと、4つのグループに分かれて、「図画工作」の指導要領に記された目標(主に、[共通事項]、ア 自分の感覚や

活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。)に配慮した課題(寒暖計ゲーム)に取り組んだ。

図柄に親しみ、良く見ることを促すための導入として各自に好きなカードを選ばせ、グループごとにそれらのカードを用いて活動を行った。

課題は3つの段階に分け、1つ目を「からだの温度」、2つ目を「こころの温度」とし、3つ目は両者をあわせた観点から寒暖計ゲームの要領でグループで話し合いながらカードを順に寒い(冷たい)と感じるものから暑い(熱い)と感じるものへと並べるところまで行った。

各段階でカードの並び順に違いのあることに注意を向けさせ、活動を通して各自の見方や感覚に違いのあることへの気づきを促したが、相互理解にはコミュニケーションが大切であることをまとめとして紹介した。

これらの活動を通して児童一人ひとりの想像力を刺激するとともに、グループ活動のなかで互いの発想を共有し、異なる感覚や意見への理解と共感を育む機会とし、あわせて自分なりに作品を楽しみ味わう観点への気づきを促す機会とした。

### ③中川区・野田小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日 時 9月25日(木)午前9時50分～12時30分

場 所 各クラス教室

対象学年 2年生3クラス90名 \*クラス毎に授業

講 師 (学芸員)清家三智

スタッフ (ボランティア)7名

授業内容 クラスを6つのグループに分け、机を固めて島を作り、アートカードを広げた。それぞれの班にボランティア1～2名がつき、児童の活動をサポートした。

#### 【導入】たんていゲーム

学芸員が、ある作品の一部分を拡大した図版を黒板に掲示する。児童はそれをよく見て、どの作品のどの部分か、場に広げられたカードから正解を探し当てる。カードを隅々まで丁寧に観察することが当日の活動の要となることを意識させた。

#### 1)分類ゲーム

児童はアートカードを、学芸員の出題するテーマに沿って分類する。今回は絵の中にA)人が登場する／B)動物が登場する／C)風景が登場する／D)AからCのどれにも当てはまらない、の4つに分けることとし、分類に迷うものはグループ内で児童が話し合って基準を定めた。分類が終わった後は各グループの結果を共有する時間をとり、グループによっても作品の見方や分類の基準が異なること、ものの見方や考え方が多様であることを知る機会とした。

#### 2)3つのヒント

学芸員が作品の特徴を示したヒントを提示する(最大3つ)。児童はヒントをよく聞き、当てはまる作品カードを探す。個人戦ではなくグループ全員で話し合いながら一つの正解を決めた。まぎらわしい作品カードが複数あるため、すべてのヒントに正しく当てはまる作品を突き止めるまで、児童たちはヒントの言葉に忠実に注意深く作品カードを観察した。

### ④緑区・熊の前小学校

プログラム名 「名画の秘密をさぐる」

日 時 10月1日(水)午前9時40分～10時25分

場 所 視聴覚室

対象学年 5年生5クラス167名

講 師 (副館長)深谷克典

授業内容 この授業では、ピカソ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、モディリアーニの三人の画家の作品を紹介しながら、それぞれの画家がどのような狙いで作品を描いているのかを説明した。時代も表現方法もそれぞれ異なる三人の作品だが、魅力はどこにあり、なぜそのような描き方をしたのか子供たちに考えさせた。また最後にモディリアーニの真作と贋作の図版を紹介し、どちらが真作であるかを考えさせた上で、どのようにすれば真作と贋作の区別がつくのか、その方法について具体例を挙げて説明した。

### ⑤昭和区・滝川小学校

プログラム名 作品に託されたメッセージ

日 時 12月8日(月)午前9時40分～10時25分

場 所 視聴覚室

対象学年 5年生3クラス103名

講 師 (学芸員)保崎裕徳

授業内容 校内作品展等で児童がお互いの作品を鑑賞する際の評価基準のひとつとして、「作者に制作を支える強い動機や主張があるかどうか、また作者がそれを上手く表現できているかどうか」がある。授業の前半では、ムンクの《叫び》を題材に、作者が表現したかった「叫び」とは何だったのかを、人物のポーズや色づかい・筆づかいに注意しつつ、作者のことばや絵のもとになった実際の風景写真も参考にしながら考えた。後半では、当館所蔵のシャガール《二重肖像》を題材に「どんなメッセージがこめられているか」について考えた。人物の目線や明暗の使い方などを観察し、「なぜそのような描いたのか」という作者の意図(理由)が画面の隅々にいきわたっていることを確認した。

### ⑥西区・稲生小学校

プログラム名 美術から異文化を知ろう

日 時 1月14日(水)午前9時50分～10時35分

場 所 体育館

対象学年 6年生3クラス80名

講 師 (学芸係長)山田諭



**授業内容** フリーダ・カーロの《死の仮面を被った少女》の作品図版を提示して、児童に何が描いてあるか画面全体から細部に到るまで観察して、発表させた後、とくにメキシコにおける「骸骨」の(イメージに託された風習や死生観の)意味をはじめとして、日本とメキシコとの交流関係について、さまざまな資料や作品図版(スライド)を使って解説した。

#### ⑦南区・笠寺小学校

**プログラム名** 「名画」の秘密をさぐる  
**日時** 1月26日(月)午前9時35分～11時05分  
**場所** 視聴覚室  
**対象学年** 6学年2クラス68名  
**講師** (学芸員)笠木日南子  
**授業内容** サルバドール・ダリのだまし絵①《イメージが消える》と②《海辺に出現した顔と果物鉢の幻影》を紹介。絵の中に隠れているダブル・イメージを見つけさせた。次に③ピカソの《ゲルニカ》を紹介、ピカソの表現の工夫について考えさせ、また④ゴヤの《1808年5月3日、プリンシペ・ピオ丘での銃殺》を紹介し、「戦争などの残虐な行為を告発し、二度と繰り返してはいけない」というメッセージをより強く表すために別の作品も引用していることも紹介。最後に⑤森村泰昌《兄弟(虐殺Ⅰ)》《兄弟(虐殺Ⅱ)》を見せ、こちらもゴヤの作品を引用し、作品に込められたメッセージを踏襲しているが、それだけではなく、さらに、「見かけで判断するべきではない」という作家のオリジナルなメッセージが加えられていることを紹介。作品を作るにあたり、本物そっくりに描くことが重要なのではなく、時には、他の作品を真似たり、写真を使ったりしても、感情やメッセージが伝わるように自分なりの表現の工夫をすることで、オリジナルな作品を生み出すことができることを伝えた。

#### ⑧昭和区・滝川小学校

**プログラム名** アートカードで学ぼう  
**日時** 2月17日(火)午前9時40分～11時25分  
**場所** 体育館  
**対象学年** 2年生5クラス129名  
\*学年を二分して授業  
**講師** (学芸員)清家三智

**スタッフ** (ボランティア)13名

**授業内容** 1)よく見て選んでみよう

グループで輪になって座り、場の中央に60枚のアートカードを図柄が見えるよう広げる。児童がめいめいカードを手にとってよく観察した後、気に入ったり、気になったりした作品を選び、選んだ理由を発表しあった。カードを見て気づいたこと、感じたことを自分の言葉で表現することをねらいとした。

2)なかまをさがそう

各グループのリーダー(ボランティアスタッフ)が、場に広げているアートカードから1点を選び、児童はそれをよく観察する。そのカードと共通点のある作品カードを各自が探して選び、作品のどんところが共通している(同じ、又は似ている)かを発表しあった。作品の要素を丁寧に観察することや、各自の着眼点のちがいに気づき、多様な見方を認め合うことをねらいとした。

#### (4)就業・職業・職場体験及び職場訪問受け入れ

1. 対象 中学校・高等学校 生徒
2. 内容 **【体験】** 総務課、学芸課の業務内容を知るとともに、清掃、警備、案内監視、施設管理等の業務内容を知り体験する。  
**【訪問】** 館内施設の見学をするとともに、疑問点についてインタビューを行い美術館に関する理解を深める。

### 3. 実績

実施日	内容	学校名	学年	人数	備考
26.7.29・30	体験	名古屋市立名古屋商業高等学校	2年	4人	女子
26.8.12・13・19	体験	名古屋市立西陵高等学校	2年	1人	女子
26.8.22	体験	私立 名古屋中学校	2年	4人	男子
26.10.21	体験	あるく伏見(就労移行支援)	未成年	2人	女子
26.10.24	体験	名古屋市立八幡中学校	2年	4人	男2女2
26.11.12・14	体験	みよし市立北中学校	2年	1人	女子
26.12.2・3	体験	名古屋市立高針台中学校	2年	2人	女子
27.1.20・21	体験	名古屋市立汐路中学校	2年	4人	女子
27.1.20・21	体験	名古屋市立神沢中学校	2年	2人	女子
27.1.28	体験	名古屋市立萩山中学校	2年	4人	女子
27.2.3・4	体験	名古屋市立大森中学校	2年	3人	女子
27.2.6	体験	名古屋市立明豊中学校	2年	4人	男2女2
27.1.16	訪問	四日市市立西陵中学校	2年	9人	男5女4
27.1.23	訪問	名古屋市立名塚中学校	1年	5人	男2女3
27.1.28	訪問	名古屋市立滝ノ水小学校	5年	12人	
27.1.30	訪問	名古屋市立はとり中学校	1年	6人	男4女2
27.1.30	訪問	安城市立二本木小学校	6年	5人	女子
27.2.10	訪問	知多市立知多中学校	1年	5人	女子
27.3.10	訪問	知立市立八幡中学校	1年	5人	女子

### (5)教員対象の講座

#### ①名古屋市教育センター研修「名古屋市美術館における鑑賞教育講座」

名古屋市教育センターからの依頼により、名古屋市立の小・中・高・養護学校を対象とする研修講座を開催した。美術館の基本的な活動と、児童・生徒を対象にした美術鑑賞の実践例を紹介した。当館が提供している常設展のギャラリートークの体験や鑑賞学習が児童・生徒にどのような学習効果をもたらすか講義と映像資料で解説する時間を設け、美術館の活用法を具体的に知ってもらう機会とした。

また、教育センターからの強い要望を受け、本年度から同内容の講座を2回に分けて開催することとし、受講できる人数を増やすほか、受講者が希望日を選択できるようにした。

日 時 ①7月28日(月)午後1時～4時

②8月4日(月)午後1時～4時

場 所 2階講堂および常設展示室

参加者数 110名(2日間延べ)

講 師 (学芸係長) 山田諭、(学芸員) 中村暁子、清家三智

スタッフ ボランティア14名(2日間延べ)

### (6)その他

#### トワイライトスクールでの「出前アート体験 アートカードで遊ぼう」

日 時 11月20日(木)午後3時～4時

場 所 中村区・中村小学校トワイライトスクール

参加者数 1～3年生10名

スタッフ 当館ボランティア3名

企画・運営 (学芸員) 保崎裕徳

内 容 通常は授業で行う「出前アート体験」を簡易化して、トワイライトスクールの特別講座のひとつとして実施し、児童に当館を認知してもらい、美術への関心をもってもらうという趣旨の企画。5人ずつの2グループに分かれ、各グループにボランティアが進行役として1～2名つき、以下のプログラムを実施した。

#### ①アートかるた

アートカードを表(絵柄を上)にして場に広げる。ボランティアが読み札をよみ、内容に合った絵柄のカードを取る。時間内に多くのカードを取った児童の勝ち。

#### ②マッチング・ゲーム(神経衰弱版)

アートカードを裏にして場に広げる。2枚めくって絵柄の中にある共通点を発見できたら2枚のカードを獲得できる。共通点が見つからなければカードを裏にして次の人の番になる。時間内に多くのカードを取った児童の勝ち。

今年度は、昨年度10月から3月にかけて実施した養成講座を修了した8期の27名が新たに加わり、97名の登録者となった。

多くのメンバーで安定した活動運営ができる一方で、一人あたりの活動の機会を確保することや、ガイドの質やレベルを平準化することが課題となる。活動内容としては、常設展でのギャラリートークや学校休業日の教育プログラムにおける美術鑑賞体験支援、通常の出前授業の他に、トワイライトスクールでもアートカードを使った鑑賞学習体験を実施した。この事業はボランティアが主体となってプログラムを作成・実施するもので、今までにはない新しい試みとなった。また、名古屋まつり開催の日曜日には、常設展の無料開放にあわせて、ボランティアまつりを開催した。ボランティア有志による企画のもと、1点トークや彫刻ガイド、建物ガイド、アートカードを使ったゲームなどを実施し、来館いただいたお客様に美術鑑賞を楽しんでいただくとともに、ボランティア活動についても周知する機会となった。

美術館としては、今後もボランティアが安心して積極的に活動できるよう支援していく体制を維持することが責務である。

## (1)ボランティア登録者(2014年4月～2015年3月)

第4期：赤尾和江、天野恵子、荒川千華、井戸田早苗、加藤真由美、久保田典子、栗木恵子、坂田典子、杉浦直子、田内徳隆、土田晶子、寺西春美、中野芳枝、安井まり子、山田由紀子 ほか、計17名

第5期：赤尾和子、佐藤紀子、鈴木律子、瀧川友子、永田高志、野口健弘、原田直美、引地順子、平山千枝、藤井万巳、村松敦子、森和美、山田優子 ほか、計18名

第6期：伊藤えつ子、荻野知恵子、梶田清美、加藤枝里香、坂井千恵、中村俊雄、林梨加 ほか、計11名

第7期：池本せい子、井田紀子、井上静夫、今井康夫、遠藤明子、太田美奈、小澤智子、加藤たみ枝、加藤久子、末原みとせ、宗宮有紀子、蔦森敦子、中尾隆博、長尾理香、中川和彦、平尾真実、本多悠子、三浦有美、三島悠、安江あおい、安原栄里、横井文代、吉川優実 ほか、計24名

第8期：浅野雅樹、石島千愛、伊藤久美子、伊藤蘭子、今井佐知子、内海典子、沖田裕美、鏡味雅恵、川合幸代、神田初美、児玉史、榊原美和子、柴田順三、杉原和夫、杉山要、谷村満智子、都築祥子、道家千津子、中山越子、廣瀬千明、福田慶恵、三浦徹也、渡辺裕子 ほか、計27名

## (2)定例会

定例会は原則として毎月第2土曜日の午前中に開催した。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。

日時	時間	内容	講師
4月12日	午前10時～12時	係活動の話し合い	ボランティア
5月10日	午前10時～12時	本年度のエコール・ド・パリについて	中村学芸員
6月14日	午前10時～12時	ボランティア交流会	ボランティア
7月12日	午前10時～12時	本年度のメキシコ・ルネサンスについて	清家学芸員
8月2日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅱについて	笠木学芸員
9月13日	午前10時～12時	名古屋の現代美術史	角田学芸員
10月11日	午前10時～12時	フランク・ステラとアメリカ抽象絵画の見方	深谷副館長
11月8日	午前10時～12時	講演会	庄司達氏
12月13日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲについて	笠木学芸員
1月10日	午前10時～12時	メキシコ壁画の三巨匠	山田学芸係長
2月8日	午前10時～12時	メキシコ壁画の三巨匠・シケイロス編	山田学芸係長
3月14日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅰについて	竹葉学芸員/中村学芸員

### (3)ガイド活動

#### ①常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日（午前11時～・午後2時～）、一般を対象とした約1時間のガイドツアーをボランティア2名が担当した。

活動日数 250日間（「名古屋まつり」を除く）

参加者数 延べ1,604名

#### ②特別展ギャラリートーク

特別展ギャラリートークは、ボランティアに参加の希望を募り、展覧会ごとに担当を分けて行う。ギャラリートークの開催日、開始時間、方法などは、担当ごとに選出するまとめ役を中心にした話し合いによって決定する。登録後2年を経過したボランティアのメンバーが活動している。

##### a) マインドフルネス！高橋コレクション展 決定版2014

開催日 4月24日、25日、26日、29日、30日、5月8日、9日、13日、15日、17日、20日、22日、23日、24日（計14日）

時間 10時00分～／13時00分～

担当 4期：4名、5期：1名、6期：1名、7期：1名 計11名  
2名1組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加者数 延べ401名

##### b) 現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより

開催日 9月18日、25日、26日、28日、30日、10月2日、3日、9日、15日、16日、17日、21日、22日、23日（計14日）

時間 10時00分～／13時00分～

担当 5期：4名、6期：3名、7期：2名 計9名  
2名1組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加者数 延べ302名

##### c) だまし絵Ⅱ

開催日 1月20日、22日、27日、29日、2月3日、5日、10日、12日、17日、19日、24日、25日、26日、3月3日、4日、5日、10日、11日、12日、

17日、19日（計21日）

時間 10時30分～／13時30分～

担当 4期：3名、5期：4名、6期：2名、7期：4名 計13名  
2名1組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加者数 延べ948名

#### ③案内活動

総合案内・図書室案内を該当月の一定期間（定休日及び金曜日を除く）に、ボランティアが従事した。活動日一日につき原則的に4名（午前2名／午後2名）、延べ76名のボランティアが担当した。

〈活動日〉

月	日	月	日
4	_____	10	18 19 25 26
5	3 4 5 6	11	_____
6	3 4 5 7 8	12	_____
7	_____	1	_____
8	_____	2	_____
9	_____	3	8 10 11 12 15 18 21 22

### (4)サポート活動 系の活動

#### ・研修係

美術館外の研修と当館の所蔵作家でもある浅野弥衛の回顧展「生誕100年 浅野弥衛展－詩情の線刻象嵌画－」（11/22、パラミタ・ミュージアム：三重県三重郡菰野町）の見学を企画・実施した。また、館内での学習の機会として、連続講座「絵画を読む」、「ギャラリー・トークのスキルアップ勉強会」、美術館所蔵の映画、ビデオ解説の上映会（9/6、11/1）、ボランティア定例会での特別レクチャーとして美術作家の庄司達氏を講師に招き、講演会「自作について」（11/8、美術館2階講堂）を企画・実施した。

#### ・資料係

常設展の展示替えごとにギャラリー・トークの参考となる資料を選別して、ボランティアに配布したり、特別展等で使用した図書資料やコレクション解析学等の解説会の記録を収集し、後に参照しやすいよう整理して保存するなど、資料の管理全般に携わった。

## ・体験活動係

年6回開催される「キッズの日」各プログラムの実施に際し、スタッフの募集や実施までの連絡調整、教材の下準備、当日の運営サポート、実施後のボランティア定例会での活動報告を主に担当した。当日の円滑な事業運営や鑑賞対象となる作品への理解を深めるため、事前打ち合わせやギャラリートークの自主練習を行うとともに、実施後の記録や意見交換を通じてプログラムの改訂にも取り組んだ。

(取りまとめ担当：清家学芸員)

## ・団体対応係

学校等の団体鑑賞を円滑に行うための取りまとめの他、自主勉強会を2回にわたって開催し、小中学生向けのギャラリートークの進め方について、体験談を交えて話し合った。

## (5)その他

### 名古屋まつり特別企画 まるっと一日わくわくアート2014

**日時** 10月19日(日)午前10時～午後5時  
**場所** 常設展示室1・2、屋外美術館敷地内など  
**スタッフ** ボランティア53名  
**補佐** 保崎裕徳(当館学芸員)、竹葉丈(当館学芸員)  
**内容** 常設展が無料開放となる同日にあわせて、特別なイベントで来館者に美術と親しんでいただくと同時に、ボランティアによるギャラリートークをより多くの人に知っていただくという趣旨の企画。今年は以下の4種類のイベントを実施した。各イベントとも前日までの申込は不要の自由参加の形をとったが、④については当日中の申込制とした。なお、通常11時と2時に実施しているツアー形式による常設展ギャラリートークは実施していない。

- ① **1点トーク**…ボランティアのリードにより、来館者が1つの作品をじっくり鑑賞するギャラリートーク。1人のボランティアが1作品につき約15分のトークを担当し、次の作品を別のボランティアが引き継ぐ形で、一時間内に計4作品のトークを行った。10:00～、12:00～、14:00～、16:00～の4回開催。
- ② **建物・彫刻ガイド**…美術館内、館外を巡りながら、黒川紀章設計の建築の特徴ある箇所を紹介していく建物ガイドツアー

と、館の内外に設置されている彫刻について紹介する彫刻ガイドツアーの2つを実施した。所要時間約50分で建物ガイドは11:00～、15:00～の2回、彫刻ガイドは13:00～の1回を開催した。

- ③ **アートカードで遊ぼう**…所蔵作品が印刷されたカードをつかったゲームを体験し、参加者が常設展の作品に親しむとともに、作品をきっかけとしたコミュニケーションを家族及びボランティアと楽しむ企画。来館者の希望に応じて随時、約15分のゲームを地下1階キッズコーナーで実施した。
- ④ **ジェームズ・タレル《テレフォンブース》の特別展示**…1人用の電話ボックス型の空間に滞在し、7分間の光の明滅・色彩の変化を体験する作品を地下1階に設置。10分ごとの予約制で来館者に体験していただいた。また、作品付近にモニタを設置し、タレルについての解説映像も上映した。

また、上記のイベント以外に、「監視補助」としてボランティアの協力を得た。無料開放とギャラリートーク開催にともなう当日の会場の混雑を考慮し、人の流れが滞る場所や、人が触れそうになる危険のある作品の周辺にボランティアが立ち、適切な声掛けでトラブルを未然に防いだ。



1点トーク



1点トーク



アートカードで遊ぼう



《テレフォンプース》特別展示

### 3 協力会

名古屋市美術館協力は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

<会員数>	<新規・継続別> (平成27年3月31日現在)		
	新規	継続	計
特別会員 6名	特別会員 0名	6名	6名
一般会員 104名	一般会員 12名	92名	104名
ユース会員 12名	ユース会員 7名	5名	12名
家族会員 44名	家族会員 9名	35名	44名
(計) 166名	(計) 28名	138名	166名

#### 平成26年度美術館協力会事業報告

##### 1 展覧会ギャラリー・トークの開催

- 「マインドフルネス!高橋コレクション展 決定版2014」  
平成26年4月13日(日) 40名参加
- 「挑戦する日本画:1950~70年代の画家たち」  
平成26年7月6日(日) 61名参加
- 「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展」  
平成26年9月7日(日) 52名参加
- 「ゴー・ビトゥー・インズ:こどもを通して見る世界展」  
平成26年11月16日(日) 32名参加
- 「だまし絵Ⅱ展」  
平成27年1月11日(日) 52名参加

##### 2 美術館見学ツアーの実施

- 春 平成26年5月11日(日) 42名参加  
大阪市立美術館、国立国際美術館、藤田美術館
- 秋 平成26年8月23日(土)~24日(日) 24名参加  
山梨県立美術館、茅野市美術館、清春芸術村  
平山郁夫シルクロード美術館

##### 3 作家を囲む会

- 「山口晃」を囲む会  
平成26年5月25日(日) 38名参加
- 「伊藤正人」を囲む会  
平成26年11月15日(土) 16名参加

##### 4 美術館鑑賞ミニツアー

- 「大浮世絵展」名古屋市博物館  
平成26年4月6日(日) 41名参加
- 「シャガール展」愛知県美術館  
平成26年5月25日(日) 30名参加
- 「ミレー展」ボストン美術館  
平成26年6月29日(日) 21名参加
- 「幽霊・妖怪画大全集」名古屋市博物館  
平成26年7月12日(土) 22名参加
- 「ポール・デルヴォー展」ヤマザキマザック美術館  
平成26年8月31日(日) 26名参加

- 「小磯良平展」稲沢市荻須記念美術館  
平成26年10月26日(日) 18名参加
- 「デュフィ展」愛知県美術館  
平成26年11月23日(日) 19名参加
- 「岡田文化財団コレクション展」三重県美術館  
平成26年12月21日(日) 10名参加
- 「ロイヤル・アカデミー展」愛知県美術館  
平成27年2月15日(日) 34名参加
- 「ジャポニズム展」ボストン美術館  
平成27年3月15日(日) 34名参加

##### 5 ブログの運用

平成26年度ブログ閲覧状況  
[投稿41件、閲覧数10,353回、ユーザー数(延) 2,830名]

##### 6 オリジナル・カレンダーの作成及び配付

「真島直子」氏の鉛筆画 250部

##### 7 催しものの案内

特別展、常設展、講演会など情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付

##### 8 作品の寄贈

オリジナル・カレンダー 1件1点  
平成27年1月19日の資料収集審査委員会で決定

##### 9 総会の開催

平成26年7月6日(日) 20名参加(委任状70名)

### 4 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、そのときどきの特別展に即した参考資料やビデオ番組を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力しています。

#### 図書資料分類別冊数一覧 (平成26年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書、辞典、年鑑、図書目録	573(2)	223(0)
画集、美術全集、所蔵品目録	7,331(77)	3,490(14)
展覧会図録	12,427(333)	1,489(11)
研究書、技法書	341(9)	13(0)
年報、紀要、報告書	6,715(251)	23(0)
美術雑誌	12,633(72)	2,540(16)
その他(美術教科書、一般図書)	2,553(9)	1,094(0)
小計	42,573(753)	8,872(41)
総計	51,445(794)冊	

( )は今年度の受け入れ図書冊数

#### 入室者数 5,189名

4月	353名	10月	374名
5月	717名	11月	236名
6月	307名	12月	291名
7月	529名	1月	348名
8月	856名	2月	419名
9月	400名	3月	359名

### 出版・制作物一覧

#### 美術館ニュース「アートペーパー」No.96、97、98

美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。

A 2 版、部数:各5,000部

#### 特集記事

96号:ジュール・パスキンの優しい空間

97号:キスリング《新聞のある静物》と二人の男

98号:震災と美術館活動について



#### 年報

平成25年度の美術館活動全般の詳細な記録です。

A 4 版、61頁、PDFデータとして当館ホームページに掲載



#### 年間案内

平成27年度一年間の展覧会の情報を告知するものです。

A 4 版変形、部数:20,000部



#### 常設展見学のしおり

小中学生等が常設展を見学する際に配布するしおりです。

A 4 版、表裏カラー印刷、3 ッ折、部数:20,000部





平成26年度は、残念ながら購入予算を確保することができず、受贈128点と受託3点の合計131点の作品を新たに受け入れました。

寄贈については、様々な個人コレクターより、郷土の作家を中心に、油彩、日本画、素描、版画、写真など、実に多彩な作品の数々をご寄贈いただきました。主な寄贈作品としては、まず浅野弥衛の素描4点。浅野弥衛は戦後の郷土を代表する作家の一人として、200点を超える作品を収蔵していましたが、素描は1点のみで、線の画家浅野弥衛の特徴をより明確に伝えることができる素描4点を加えることができました。

鈴木三五郎は戦前の郷土の洋画を代表する画家の一人で、戦後は指導者としても活躍しましたが、今回戦前の貴重な作品2点をご遺族からご寄贈いただきました。同じく郷土の洋画を代表する画家・市野長之介のご遺族から6点の作品を、また西村千太郎のご遺族から7点の作品をそれぞれご寄贈いただきました。市野については初期から晩年までの画業全体を見渡せるコレクションを、また西村は戦前を中心にフォーヴからシュールへと移行する重要な作品をご寄贈いただき、郷土の洋画コレクションが一層の厚みを増すことになりました。

郷土作家の星野真吾が所属していたパン・リアル美術協会の作品については、これまでも収集に努めていましたが、今回中心作家の一人、下村良之介氏のご遺族より5点の作品のご寄贈をいただき、一層充実した

コレクションとなりました。

名古屋大須出身の瀬瀬敏郎は、一貫して人間の情念を主題に描き続けた作家ですが、今回ご遺族より1960年代から70年代にかけての代表的なシリーズの作品12点をまとめてご寄贈いただきました。

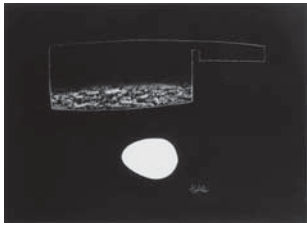
グラビア雑誌の写真などを元に、エロティックで時にシュールな美女の姿を描き続ける地元の作家、鷺見磨の作品50点が、かつて35年にわたり作品の発表を続けてきた画廊のコレクションよりまとめて寄贈されました。作家の活動のほぼ全貌を知ることができる充実したコレクションで、平成27年度の常設企画展でご紹介する予定です。

大正から昭和にかけて美人画の名手として活躍した渡辺幾春の天下絵2点が新たに寄贈されました。いずれも当館ですでに本画を所蔵する幾春の代表作の天下絵で、作家の創作の源泉を知る上でも貴重なコレクションとなりました。またこの寄贈に付随して、幾春の弟で、地元の愛友写真倶楽部で活躍し、若くして亡くなった渡辺清の貴重な写真作品24点が寄贈されました。

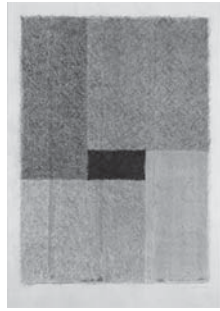
さらに、地元の複数のコレクターの方から藤田嗣治の油彩2点と、バルビゾン画家ミレーのパステル画1点のご寄託をいただきました。いずれの作品も、これまで国内での紹介が全くされていない作品で、質も極めて高く、作家を理解するうえでまたとない寄託となりました。

## (1)受贈

### ①資料



1. 浅野弥衛 (1914-1996)  
ASANO, Yae  
《作品》  
Work  
1973年  
パステル・紙  
pastel on paper  
22.0×30.5cm



2. 浅野弥衛 (1914-1996)  
ASANO, Yae  
《作品》  
Work  
1976年  
墨、鉛筆・紙  
chinese ink and pencil on paper  
51.0×36.0cm



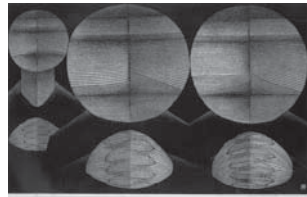
3. 浅野弥衛 (1914-1996)  
ASANO, Yae  
《無題》  
Untitled  
1985年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
87.0×68.5cm



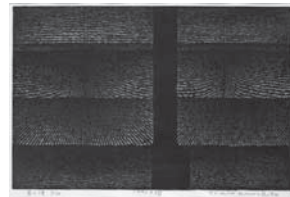
4. 浅野弥衛 (1914-1996)  
ASANO, Yae  
《無題》  
Untitled  
1988年  
鉛筆・烏の子紙  
pencil on torinoko paper  
48.8×48.8cm



5. 今井瑾郎 (1947-)  
IMAI, Kinro  
《円・景》  
Circle - Vista  
1990年  
墨、木  
chinese ink, wood  
65.0×156.5cm



6. 木下富雄 (1923-)  
KINOSHITA, Tomio  
《祈り》  
Pray  
1959年  
木版・紙 ed.8/50  
woodcut on paper, ed.8/50  
イメージ:57.3×91.3cm  
用紙:61.5×95.2cm



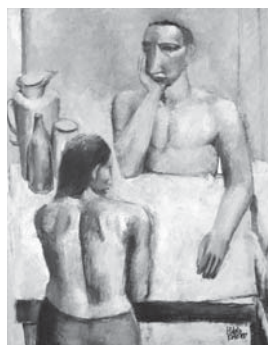
7. 木下富雄 (1923-)  
KINOSHITA, Tomio  
《君と僕》  
You and I  
1992年  
木版・紙 ed.1/50  
woodcut on paper, ed.1/50  
イメージ:29.7×45.8cm



8. 赤塚祐二 (1955-)  
AKATSUKA, Yuji  
《Untitled D-392》  
Untitled D-392  
1991年  
コンテ、パステル・紙  
conte and pastel on paper  
78.5×112.5cm



9. 赤塚祐二 (1955-)  
AKATSUKA, Yuji  
《Untitled D-992》  
Untitled D-992  
1997年  
コンテ・紙  
conte on paper  
79.0×102.8cm



10. 加藤英人 (1963-)  
KATO, Hideto  
《人と食卓》  
Man and Woman of the Table  
1985年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
116.5×91.2cm



11. パラディーノ (1948-)  
PALADINO, Mimmo  
《世紀の出会い》  
Encounter of the Century  
1987年  
木版・紙 ed.24/30  
woodcut on paper, ed.24/30  
90.0×57.5cm



12. 北川民次 (1894-1989)  
KITAGAWA, Tamiji  
《ざくろを持つ女》  
Woman with a Pomegranate  
1954年  
リトグラフ (5版)・紙 ed.75/90  
lithograph (5th state) on paper, ed.75/90  
56.0×41.0cm



13. 北川民次(1894-1989)  
KITAGAWA, Tamiji  
《バッタ》  
Grasshopper  
1958年  
リトグラフ(4版)・紙 ed. E.A.  
lithograph (4th state) on paper, ed.E.A.  
26.0×38.0cm



14. 北川民次(1894-1989)  
KITAGAWA, Tamiji  
《トリオ》  
Trio  
1958年  
リトグラフ(5版)・紙 ed.56/60  
lithograph (5th state) on paper, ed.56/60  
38.2×26.1cm



15. 北川民次(1894-1989)  
KITAGAWA, Tamiji  
《花嫁》  
Bride  
1958年  
リトグラフ(5版)・紙 ed.E.A.  
lithograph (5th state) on paper, ed.E.A.  
38.2×25.9cm



16. 北川民次(1894-1989)  
KITAGAWA, Tamiji  
《十字架》  
Cross  
1958年  
エッチング・紙 ed.E.A.  
etching on paper, ed.E.A.  
イメージ:18.0×16.1cm



17. 鈴木三五郎(1902-1985)  
SUZUKI, Sangoro  
《自画像》  
Self Portrait  
1921年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
45.4×37.8cm



18. 鈴木三五郎(1902-1985)  
SUZUKI, Sangoro  
《窓辺の静物》  
Still Life of the Window  
1933年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
97.3×130.0cm



19. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《自画像》  
Self Portrait  
1924年頃  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
80.5×65.2cm



20. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《マンダリン持てる男》  
Man with a mandolin  
1925年頃  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
90.8×65.3cm



21. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《バザールの楽器店》  
Music Shop in Bazaar  
1929年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
65.5×80.6cm



22. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《公園の池(鶴舞公園胡蝶ヶ池)》  
Pond of the Park (Kocho Pond in Tsuruma Park)  
1935年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
112.0×144.5cm



23. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《魚釣り》  
Boys catching fishes  
1941年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.1×130.5cm



24. 市野長之介(1905-1987)  
ICHINO, Chonosuke  
《佛師A》  
Buddhist sculptor A  
1957年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
145.4×112.4cm



25. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《納屋橋風景》  
Street Scene in Nayabashi  
1930年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
65.0×80.0cm



26. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《街裏》  
Back Street  
1930年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
61.0×73.0cm



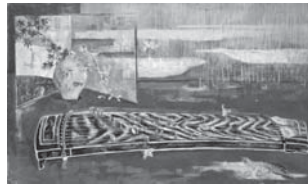
27. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《街の花屋》  
Flower Shop in the Town  
1934年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
91.0×117.0cm



28. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《虎の檻》  
Cage of the Tiger  
1935年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
112.0×246.0cm



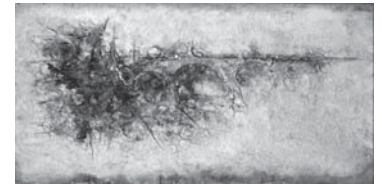
29. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《閨秀画家》  
Female Painter  
1937年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.0×112.0cm



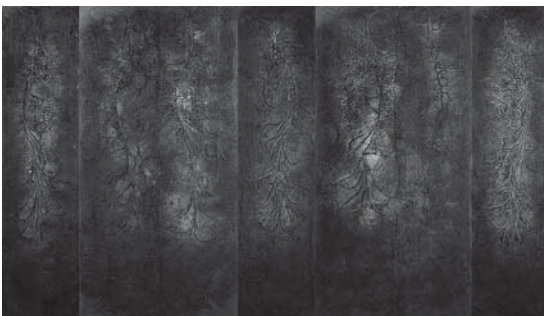
30. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《秋時雨の曲》  
Music of the Shower in Late Autumn  
1939年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
97.0×162.0cm



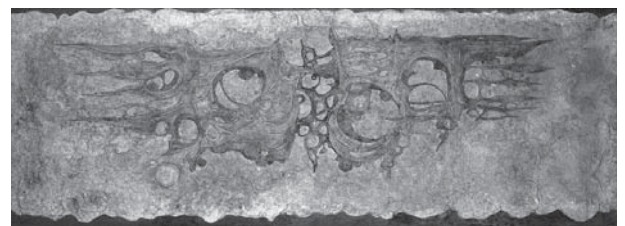
31. 西村千太郎 (1907-1994)  
NISHIMURA, Sentaro  
《空虚》  
Despondency  
1948年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.0×130.0cm



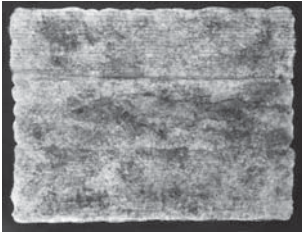
32. 下村良之介 (1923-1998)  
SHIMOMURA, Ryonosuke  
《陌》  
Hyaku (Hundred)  
1961年  
紙本着彩  
color on paper  
91.0×182.0cm



33. 下村良之介 (1923-1998)  
SHIMOMURA, Ryonosuke  
《鳥のほこら》  
Bird Shrine  
1965年  
紙粘土、顔料・紙、板  
paper clay and color on paper and board  
182.0×315.0cm



34. 下村良之介 (1923-1998)  
SHIMOMURA, Ryonosuke  
《化石の張翼》  
Spread Wings of Fossil  
1970年  
紙粘土、顔料・紙、板  
paper clay and color on paper and board  
92.0×252.0cm



35. 下村良之介 (1923-1998)  
SHIMOMURA, Ryonosuke  
《古代の断層》  
Ancient Fault  
1976年  
紙粘土、顔料・紙、板  
paper clay and color on paper and board  
126.5×164.5cm



36. 下村良之介 (1923-1998)  
SHIMOMURA, Ryonosuke  
《青鷺の森(翔)》  
Forest of Grey Herons (Flight)  
1980年  
紙粘土、顔料・紙、板  
paper clay and color on paper and board  
126.0×197.0cm



37. 赤瀬川原平 (1937-2014)  
AKASEGAWA, Genpei  
《赤軍-P.F.L.P. 世界戦争宣言》  
The Red Army - P.F.L.P. Declaration of  
World War  
1971年  
印刷・紙  
print on paper  
73.0×51.5cm



38. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《膿袋シリーズ[顔]》  
Pustule Series [Face]  
1966年  
コンテ・紙  
conte on paper  
53.7×37.8cm



39. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《蛍光塗料シリーズI》  
Fluorescent Paint Series I  
1969年  
蛍光塗料、水彩、コラージュ・ケント紙  
fluorescent paint, color and  
collage on kent-paper  
38.7×54.2cm



40. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《蛍光塗料シリーズII》  
Fluorescent Paint Series II  
1969年  
蛍光塗料、水彩、コラージュ・ケント紙  
fluorescent paint, color and  
collage on kent-paper  
38.1×54.1cm



41. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《蛍光塗料シリーズIII》  
Fluorescent Paint Series III  
1969年  
蛍光塗料、水彩、コラージュ・ケント紙  
fluorescent paint, color and  
collage on kent-paper  
39.0×54.5cm



42. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《蛍光塗料シリーズIV》  
Fluorescent Paint Series IV  
1969年  
蛍光塗料、水彩、コラージュ・ケント紙  
fluorescent paint, color and  
collage on kent-paper  
54.4×38.1cm



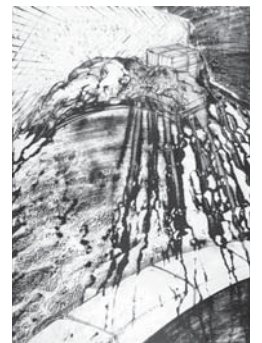
43. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《蛍光塗料シリーズV》  
Fluorescent Paint Series V  
1969年  
蛍光塗料、水彩、コラージュ・ケント紙  
fluorescent paint, color and  
collage on kent-paper  
39.0×54.2cm



44. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《原罪シリーズ[男]》  
Original Sin Series [Man]  
1969年  
蛍光塗料、水彩・ケント紙  
fluorescent paint and color  
on kent-paper  
72.5×54.5cm



45. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《原罪シリーズ[女]》  
Original Sin Series [Woman]  
1969年  
蛍光塗料、水彩・ケント紙  
fluorescent paint and color  
on kent-paper  
78.5×54.5cm



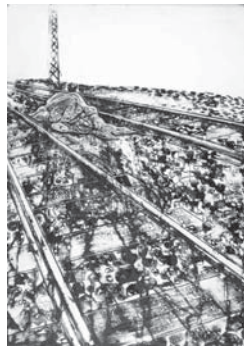
46. 額縁敏郎 (1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《墨によるシリーズ[放射状]》  
Chinese Ink Drawing Series [Radially]  
1971年  
墨、蛍光塗料・ケント紙  
chinese ink and fluorescent paint on  
kent-paper  
78.3×54.5cm



47. 額縁敏郎(1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《墨によるシリーズ[絞首台]》  
Chinese Ink Drawing Series [Gallows]  
1971年  
墨、蛍光塗料・ケント紙  
chinese ink and fluorescent paint on  
kent-paper  
78.0×54.3cm



48. 額縁敏郎(1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《墨によるシリーズ(人体台)》  
Chinese Ink Drawing Series (Human Table)  
1971年  
墨、蛍光塗料・ケント紙  
chinese ink and fluorescent paint on  
kent-paper  
78.0×54.3cm



49. 額縁敏郎(1940-2002)  
KOKETSU, Toshiro  
《墨によるシリーズ(線路)》  
Chinese Ink Drawing Series (Railroad)  
1971年  
墨、蛍光塗料・ケント紙  
chinese ink and fluorescent paint on  
kent-paper  
77.8×54.8cm



50. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
23.4×16.2cm  
白土舎コレクション



51. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
16.3×21.0cm  
白土舎コレクション



52. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
25.0×16.3cm  
白土舎コレクション



53. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題(創世記VI)》  
Untitled-Genesis VI  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
42.2×32.4cm  
白土舎コレクション



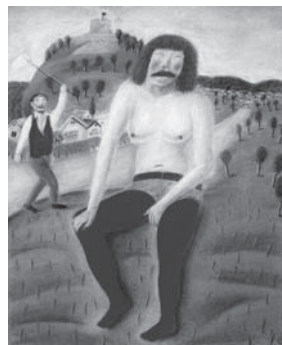
54. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題(創世記VIII)》  
Untitled-Genesis VIII  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
47.2×32.6cm  
白土舎コレクション



55. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
32.7×25.0cm  
白土舎コレクション



56. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
20.5×14.2cm  
白土舎コレクション



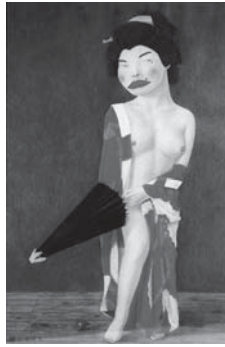
57. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《無題》  
Untitled  
1975年  
バステル・紙  
pastel on paper  
30.0×25.0cm  
白土舎コレクション



58. 鷺見磨(1954-)  
SUMI, Maro  
《風呂覗き》  
Peeping into a Bath Room  
1976年  
バステル・紙  
pastel on paper  
50.3×22.1cm  
白土舎コレクション



59. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《赤い布と女》  
Red Cloth and Woman  
1976年  
パステル・紙  
pastel on paper  
28.8×12.3cm  
白土舎コレクション



60. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《記念写真》  
Commemorative Photograph  
1976年  
パステル、鉛筆・紙  
pastel and pencil on paper  
50.0×32.5cm  
白土舎コレクション



61. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《青春の悲哀》  
Youthful Sadness  
1977年  
パステル、色鉛筆・紙  
pastel and colorpencil on paper  
50.0×32.5cm  
白土舎コレクション



62. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《畑》  
A Field  
1977年  
パステル、色鉛筆・紙  
pastel and colorpencil on paper  
13.5×5.5cm  
白土舎コレクション



63. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《にやけた裸体》  
Grining Nude  
1981年  
パステル・紙  
pastel on paper  
22.0×25.0cm  
白土舎コレクション



64. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《アイ・ニード・ユー》  
I Need You  
1981年  
パステル・紙  
pastel on paper  
65.1×50.0cm  
白土舎コレクション



65. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《SHE LOVES YOU》  
SHE LOVES YOU  
1981年  
パステル・紙／コラージュ  
pastel on paper, collage  
49.8×65.2cm  
白土舎コレクション



66. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《HERE COMES THE SUN》  
HERE COMES THE SUN  
1981年  
パステル・紙／コラージュ  
pastel on paper, collage  
50.0×65.1cm  
白土舎コレクション



67. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《REVOLUTION》  
REVOLUTION  
1981年  
パステル、クレヨン・紙  
pastel and crayon on paper  
63.5×50.1cm  
白土舎コレクション



68. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《TWIST AND SHOUT》  
TWIST AND SHOUT  
1981年  
パステル・紙／コラージュ  
pastel on paper, collage  
50.2×65.3cm  
白土舎コレクション



69. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《DRIVE MY CAR》  
DRIVE MY CAR  
1982年  
パステル・紙  
pastel on paper  
50.5×65.8cm  
白土舎コレクション



70. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《THE LONG AND WINDING ROAD》  
THE LONG AND WINDING ROAD  
1982年  
パステル、水彩・紙  
pastel and color on paper  
43.5×58.5cm  
白土舎コレクション



71. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《SHE LOVES YOU II》  
SHE LOVES YOU II  
1982年  
パステル、水彩・紙  
pastel and color on paper  
50.0×65.5cm  
白土舎コレクション



72. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《ABBEY ROAD》  
ABBEY ROAD  
1982年  
パステル、色鉛筆、水彩・紙  
pastel, colorpencil and color on paper  
44.0×32.5cm  
白土舎コレクション



73. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《One after 909》  
One after 909  
1985年  
パステル・紙  
pastel on paper  
50.2×91.7cm  
白土舎コレクション



74. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《Like a Virgin》  
Like a Virgin  
1987年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.0×130.5cm  
白土舎コレクション



75. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《Crazy for you》  
Crazy for you  
1987年  
パステル・紙  
pastel on paper  
50.0×65.5cm  
白土舎コレクション



76. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《13人の青紀 No.3》  
Aoki as Thirteen III  
1990年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.1×130.3cm  
白土舎コレクション



77. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《13人の青紀 No.6》  
Aoki as Thirteen VI  
1990年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
162.1×130.3cm  
白土舎コレクション



78. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《13人の青紀 No.2 サンプル》  
Aoki as Thirteen II-Sample  
1991年  
パステル・紙  
pastel on paper  
42.0×30.0cm  
白土舎コレクション



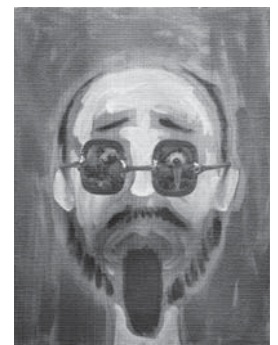
79. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《13人の青紀 No.5》  
Aoki as Thirteen V  
1991年  
パステル・紙  
pastel on paper  
42.0×30.0cm  
白土舎コレクション



80. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《13人の青紀 No.8》  
Aoki as Thirteen VIII  
1991年  
パステル・紙  
pastel on paper  
42.0×30.0cm  
白土舎コレクション



81. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《青紀》  
Aoki  
1992年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
38.0×30.0cm  
白土舎コレクション



82. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《悪魔に抱かれてF》  
Better the Devil You Know F  
1993年  
ミクストメディア  
mixed media  
20.0×15.0×7.0cm  
白土舎コレクション





83. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《第一級恋愛罪・青紀 まさよ》  
Love in the First Degree-Aoki and Masyo  
1993年  
ミクストメディア \*2枚1組  
mixed media  
各26.0×20.0×3.0cm  
白土舎コレクション



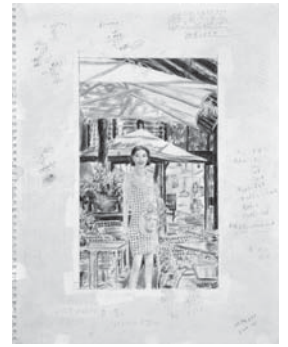
84. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《Portrait of Bsttista Sforza, Portrait of Federico de Montefeltro and Portrait of Aoki》  
Portrait of Bsttista Sforza, Portrait of Federico de Montefeltro and Portrait of Aoki  
1995年  
油彩・ボード(2枚) 油彩・キャンヴァス(1枚)  
oil on board/oil on canvas  
42.3×30.5cm(2枚) 12.7×10.0cm(1枚)  
白土舎コレクション



85. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《Winter》  
Winter  
1995年  
油彩・キャンヴァス \*2枚1組  
oil on canvas  
42.3×30.5cm 23.1×16.2cm  
白土舎コレクション



86. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《Untitled No.2》  
Untitled No.2  
1995年  
色鉛筆・紙  
colorpencil on paper  
41.0×32.0cm  
白土舎コレクション



87. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《Untitled No.3》  
Untitled No.3  
1995年  
色鉛筆・紙  
colorpencil on paper  
41.0×32.0cm  
白土舎コレクション



88. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《BT》  
BT  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



89. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《芸術新潮》  
Geijutsushinchou  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



90. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《太陽》  
Taiyou  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



91. 鷺見麿(1954-)  
SUMI, Maro  
《みづゑ》  
Mizue  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



92. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《VOGUE》  
VOGUE  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



93. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《AMICA》  
AMICA  
1996年  
油彩・キャンヴァス  
oil on canvas  
117.0×90.3cm  
白土舎コレクション



94. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《FATIAH No.4》  
FATIAH No.4  
1998年  
油彩、アクリル・木  
oil and acrylic on wood  
12.0×9.0×4.5cm  
白土舎コレクション



95. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《ファティアの解剖学 その4》  
Fatieh's Anatomy IV  
2001年  
油彩、アクリル・木  
oil and acrylic on wood  
44.0×24.7×7.4cm  
白土舎コレクション



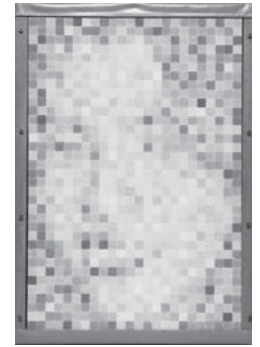
96. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《聖なるファティア VII》  
Sacred Fatiah VII  
2004年  
ミクストメディア  
mixed media  
152.6×60.2×17.0cm  
白土舎コレクション



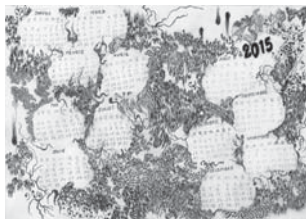
97. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《聖なるファティア VIII》  
Sacred Fatiah VIII  
2006年  
ミクストメディア  
mixed media  
54.0×22.1×11.5cm  
白土舎コレクション



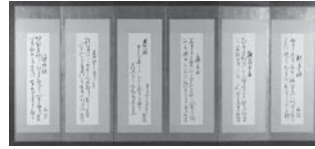
98. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《聖なるファティア XXI》  
Sacred Fatiah XVIII(blue print)  
2006年  
ミクストメディア  
mixed media  
70.1×40.0×5.0cm  
白土舎コレクション



99. 鷺見麿 (1954-)  
SUMI, Maro  
《Fatieh No.1》  
Fatieh No.1  
2003年  
色鉛筆・紙  
colorpencil on paper  
42.0×21.5cm  
白土舎コレクション



100. 眞島直子 (1944-)  
MAJIMA, Naoko  
《2015年協力会カレンダー原画》  
Original Picture for Calendar of 2015 for  
Nagoya City Art Museum Membership  
2014年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
イメージ:29.7×42.0cm 用紙:36.0×51.0cm



101. 奥村石亭(1874-1945)  
OKUMURA, Sekitei  
《月次山水図屏風》  
1910年代後半  
紙本墨画淡彩、六曲二双(画、詩、各一双)  
chinese ink and color on paper, folding screen, each 6panels  
(画)各171.0×367.0cm(詩)各175.5×367.0cm  
水野勇氏寄贈



102. 渡辺幾春(1895-1975)  
WATANABE, Ikuharu  
《「蓄音機」のための大下絵》  
Cartoon for "Gramophone"  
1933年  
鉛筆・淡彩・紙  
pencil and color on paper  
195.4×176.3cm  
渡辺薫氏寄贈

103. 渡辺幾春(1895-1975)  
WATANABE, Ikuharu  
《「二人の女」のための大下絵》  
Cartoon for "Two Women"  
1939年  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
170.8×179.2cm  
渡辺薫氏寄贈

104. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「溪流の瀨」》  
[A Shallow Mountain River]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
14.1×18.1cm  
渡辺薫氏寄贈

105. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「帆船と舵」》  
[A Sailing Vessel and a Barge]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
15.5×29.6cm  
渡辺薫氏寄贈



106. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「漁船と帆掛け船」》  
[A Fishing Boat and a Sailing Boat]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
18.0×26.6cm  
渡辺薫氏寄贈

107. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「汀」》  
[A Shore]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
20.9×28.5cm  
渡辺薫氏寄贈

108. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「浅瀬を行く舟」》  
[A Boat Running in Shallow Water]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.3×30.2cm  
渡辺薫氏寄贈

109. 渡辺清(1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《「浜辺で暖をとる漁師」》  
[Fishermen Having a Warm on a Beach]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.3×30.4cm  
渡辺薫氏寄贈



110. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[川辺の塩炊小屋]》  
[Salt Houses by a Riverside]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
22.3×30.7cm  
渡辺薫氏寄贈



111. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[山中の農家①]》  
[A Farmhouse on a Mountain]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.5×30.5cm  
渡辺薫氏寄贈



112. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[山中の農家②]》  
[A Farmhouse on a Mountain]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.5cm  
渡辺薫氏寄贈



113. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[犁を曳く農夫]》  
[A Farmer Plowing a Field]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.8×30.7cm  
渡辺薫氏寄贈



114. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[種もみ]》  
[Seed Rice]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.6×30.3cm  
渡辺薫氏寄贈



115. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[鶏舎]》  
[A Hen House]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.5cm  
渡辺薫氏寄贈



116. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[高い樹のある屋敷]》  
[A House Surrounded by Tall Trees]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
23.5×27.7cm  
渡辺薫氏寄贈



117. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[陶の町角]》  
[A Street Corner in a Pottery Town]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.3×29.6cm  
渡辺薫氏寄贈



118. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[伽藍と桜花]》  
[A Buddhist Temple and Cherry Blossoms]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.3×26.3cm  
渡辺薫氏寄贈



119. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[舞台と桜]》  
[The Stage of a temple and Cherry Blossoms]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
24.5×30.1cm  
渡辺薫氏寄贈



120. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[お城の基壇]》  
[The Stone Base of Nagoya Castle]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
23.5×29.0cm  
渡辺薫氏寄贈



121. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[堀端からお城を望む]》  
[Nagoya Castle Seen from the Moat]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
26.1×24.6cm  
渡辺薫氏寄贈



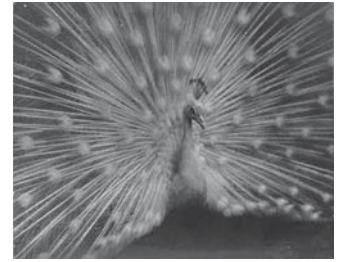
122. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[天守閣①]]》  
[The Keep of Nagoya Castle]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.4cm (24.6×29.8cm)  
渡辺薫氏寄贈



123. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[天守閣②]]》  
[The Keep of Nagoya Castle]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.4cm (24.4×29.8cm)  
渡辺薫氏寄贈



124. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[汽関車]]》  
[A Locomotive]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
30.5×25.4cm  
渡辺薫氏寄贈



125. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[孔雀①]]》  
[A Peacock]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
22.0×27.0cm  
渡辺薫氏寄贈



126. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[孔雀②]]》  
[A Peacock]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.4cm  
渡辺薫氏寄贈



127. 渡辺清 (1903/04-1932)  
WATANABE, Kiyoshi  
《[[静物]]》  
[Still Life]  
1930-32年  
ゼラチン・シルバー・プリント(プロマイド)  
gelatine silver print  
25.4×30.4cm  
渡辺薫氏寄贈



128. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1876年  
水彩・紙  
watercolor on paper  
27.5×37.7cm



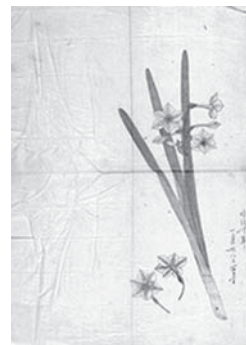
129. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1876年  
墨・水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
27.6×37.4cm



130. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1876年  
墨・水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
37.6×26.7cm



131. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1876年  
鉛筆・水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
19.0×25.7cm



132. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
墨・水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
37.7×27.3cm



133. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[[名古屋時代の習作素描]]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
鉛筆・水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
18.1×14.0cm



134. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
19.0×25.7cm



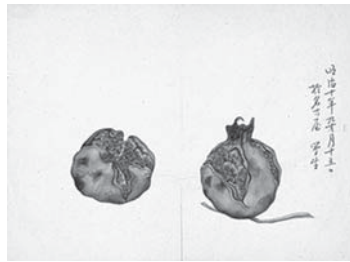
135. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
19.0×25.6cm



136. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
24.0×38.7cm



137. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
墨、水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
25.0×17.5cm



138. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1877年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
17.1×22.9cm



139. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、墨・水彩・紙  
pencil, chinese ink and watercolor  
on paper  
29.3×18.2cm



140. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
29.2×36.3cm



141. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
36.2×29.4cm



142. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
27.9×29.0cm



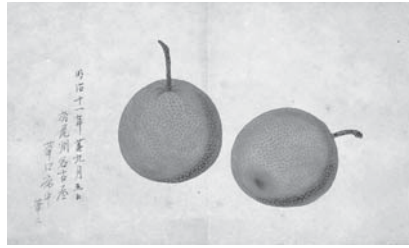
143. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
30.6×23.9cm



144. 河野次郎(1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
47.6×30.5cm



145. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
30.5×23.8cm



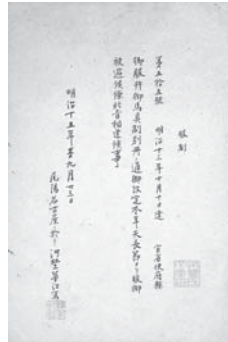
146. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
水彩・紙  
watercolor on paper  
13.7×23.7cm



147. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1878年  
墨、水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
29.3×28.0cm



148. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[名古屋時代の習作素描]》  
[Study Painting in Nagoya Days]  
1882年  
水彩・紙  
watercolor on paper  
30.7×43.0cm



149. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《服制》  
Clothes System  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



150. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.1 御前立》  
Fig.1 Fly  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



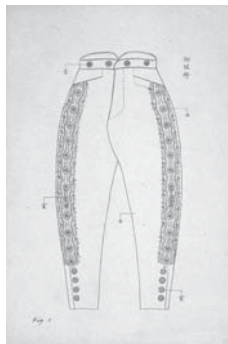
151. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.2 御正帽/御略帽》  
Fig.2 Hat Full Dress/Hat of Ordinary Dress  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



152. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.3 御正衣》  
Fig.3 Jacket of Full Dress  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



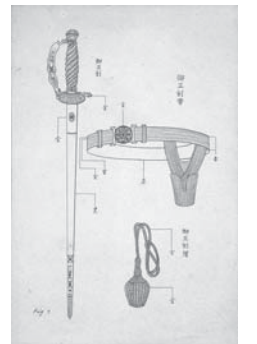
153. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.3-3 同後面》  
Fig.3-3 Rear Surface of the Jacket of Full Dress  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



154. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.5 御短袴》  
Fig. Trousers  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



155. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.6 御飾帯/御飾緒》  
Fig.6 Sash/Decorative Cord  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



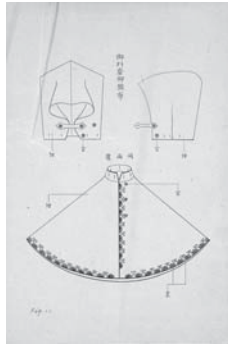
156. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.7 御正剣/御正剣帯/御正剣緒》  
Fig.7 Sword of Full Dress/Sash of the Sword of Full Dress/Decorative Cord of the Sword of Full Dress  
1880年  
インク・紙  
ink on paper  
21.8×14.5cm



157. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.8 御軍衣》  
Fig.8 Military Jacket  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



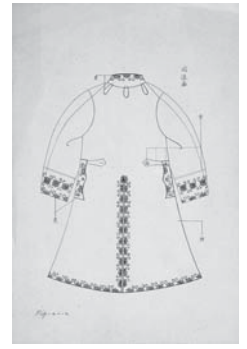
158. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.8-8 同後面》  
Fig.8-8 Rear Surface of  
the Military Jacket  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



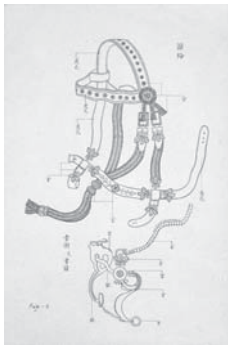
159. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.11 御外套御頭巾  
/同雨覆》  
Fig.11 Hood of the Cloak/  
Raincover  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



160. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.12 御外套》  
Fig.12 Cloak  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



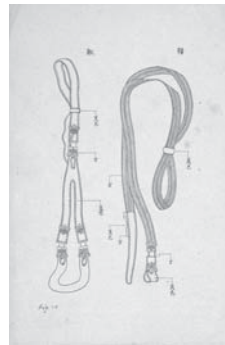
161. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.12-12 同後面》  
Fig.12-12 Rear Surface of  
the Cloak  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



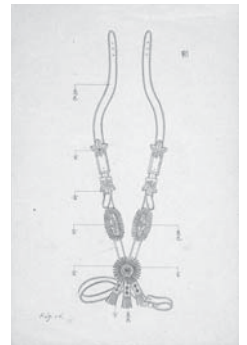
162. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.13 頭絡/轡銜及轡鎖》  
Fig.13 Bridle/Bit and Bit Chain  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



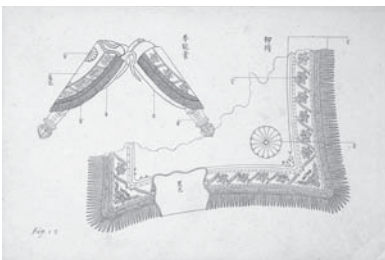
163. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.14 腹帯》  
Fig.14 Girth  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



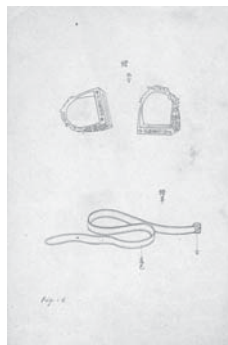
164. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.15 鞞/韉》  
Fig.15 Crupper/Reins  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



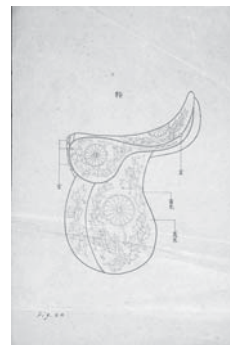
165. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.16 靱》  
Fig.16 Rope  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



166. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.17 拳銃囊/鞍褥》  
Fig.17 Holster/Saddlecloth  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



167. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.18 鍔/鍔革》  
Fig.18 Stirrup/Stirrup  
Leather  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



168. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《Fig.20 鞍》  
Fig.20 Saddle  
1880年  
インク・紙  
21.8×14.5cm



169. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
Fig.19 [Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
37.7×27.5cm





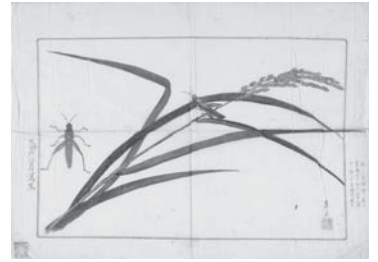
170. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
37.9×27.5cm



171. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨、水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
37.6×27.6cm



172. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨、水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
27.6×37.7cm



173. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨、水彩・紙  
chinese ink and watercolor on paper  
27.5×37.5cm



174. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《三州豊橋芸妓種吉》  
Tanekichi, Geisha in Toyohashi,  
Mikawa  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
33.7×22.4cm



175. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
油彩・紙  
oil on paper  
27.8×21.3cm



176. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
33.0×24.0cm



177. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
51.0×37.8cm



178. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨、鉛筆・紙  
chinese ink and pencil on paper  
72.7×58.3cm



179. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
63.4×43.2cm



180. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
24.0×46.0cm



181. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
19.1×25.9cm



182. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
18.0×24.5cm



183. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
24.0×18.0cm



184. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
17.1×23.0cm



185. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
18.2×24.1cm



186. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
18.2×28.9cm



187. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
鉛筆・紙  
pencil on paper  
19.6×28.7cm



188. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
鉛筆、水彩・紙  
pencil and watercolor on paper  
25.5×38.0cm



189. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
43.4×32.5cm



190. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《夫婦之肖像》  
Portrait of a Married Couple  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
42.0×29.5cm



191. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《夫婦之肖像》  
Portrait of a Married Couple  
n.d.  
墨、朱墨・紙  
chinese ink and vermilion  
ink on paper  
19.9×14.8cm



192. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
水彩・紙  
watercolor on paper  
27.1×38.0cm



193. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
32.2×43.3cm



194. 河野次郎 (1856-1934)  
KOHNO, Jiro  
《[無題]》  
[Untitled]  
n.d.  
墨・紙  
chinese ink on paper  
33.0×44.7cm

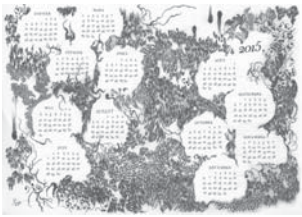


195. 河野次郎(1856-1934)  
 KOHNO, Jiro  
 《[無題]》  
 [Untitled]  
 n.d.  
 墨・紙  
 chinese ink on paper  
 13.8×18.9cm



196. 河野次郎(1856-1934)  
 KOHNO, Jiro  
 《[無題]》  
 [Untitled]  
 n.d.  
 水彩・紙  
 watercolor on paper  
 53.0×37.8cm

## ②特別資料



1. 眞島直子(1944-)  
 MAJIMA, Naoko  
 《2015年協力会カレンダー》  
 Calendar of 2015  
 2014年  
 印刷・紙  
 print on paper  
 29.7×42.0cm  
 名古屋市美術館協力会寄贈

## (2)資料収集状況一覧

### 年度別

年度	分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
58年度		0	26	2	0		1		29
59年度		3	32	50	1		0		86
60年度		4	25	67	20		2		118
61年度		5	23	33	6		1		68
62年度		12	38	0	360		15		425
63年度		0	15	8	13		6		42
元年度		3	7	2	275		1		288
2年度		7	4	2	17		1		31
3年度		1	3	2	122		0		128
4年度		2	10	15	126		3		156
5年度		0	13	4	0		3		20
6年度		0	7	0	1		2		10
7年度		1	27	2	195		0		225
8年度		0	7	0	2		3		12
9年度		0	2	0	17		2		21
10年度		2	8	0	21		0		31
11年度		2	10	0	0		1		13
12年度		0	9	0	0		0		9
13年度		0	8	0	※ -83	※ 83	1	0	9
14年度		1	0	0	167	0	0	0	168
15年度		0	1	0	0	8	2	0	11
16年度		0	0	8	0	0	2	0	10
17年度		0	2	10	0	4	0	0	16
18年度		0	9	0	0	0	0	0	9
19年度		0	2	0	0	0	1	0	3
20年度		0	1	0	0	0	1	0	2
21年度		0	1	7	3	0	0	0	11
22年度		0	1	0	0	0	0	0	1
23年度		0	1	0	0	0	0	0	1
24年度		0	0	0	0	0	2	0	2
25年度		0	0	0	0	2	0	0	2
26年度		0	0	0	0	0	0	0	0
購入総計		43	292	212	1,263	97	50	0	1,957
保管転換		16	41	31	35	3	3	1	130
寄贈	(6)	82	(35) 321	(53) 920	(8) 363	(24) 433	(1) 24	(70) 1,631	(197) 3,774
総計	(6)	141	(35) 654	(53) 1,163	(8) 1,661	(24) 533	(1) 77	(70) 1,632	(197) 5,861

### 収集方針別

分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
エコーラ・ド・パリ	—	29	3	478	0	2	1	513
メキシコ・ルネサンス	—	34	38	381	54	4	0	511
現代の美術	(5) 5	137	(3) 82	(2) 282	12	61	(1) 10	(11) 589
郷土の美術	(1) 136	(34) 453	(50) 1,040	(7) 521	(24) 467	(1) 10	(69) 1,621	(186) 4,248
総計	(6) 141	(34) 653	(53) 1,163	(9) 1,662	(24) 533	(1) 77	(70) 1,632	(197) 5,861

( )内の数字は平成26年度収集分

**パイク, ナムジュン 《ロボット家族—お父さん、お母さん》**

1986年 テレビ、ビデオ 226.1×139.1×52.1cm、203.1×153.7×53.3cm

ナムジュン・パイク《ロボット家族—お父さん、お母さん》二体に搭載された受像機7台（「お父さんの眼」2台、「お母さんの眼」2台及び「お母さんの首部分」3台）は、テレビ放送をリアルタイムで受信、放映できるようになっている。2011年より「地上デジタル」放送が施行されたが、当館展示室の受信環境が整備されていないため、四年余りの間、同作品の展示・紹介は行われなかった。2013年10月、ニューヨークの〈アジア・ソサエティ美術館〉より同作品に対して出品依頼が寄せられ、修復を条件に貸し出しを検討、経費等について合意に達したので、出品に向け、分解、点検、修復作業を行った。

「お父さん」12台、「お母さん」11台のモニターのうち、パイクが制作編集したCG映像を流すブラウン管テレビ受像機16台に関して、「通電」を行い、映像出力を確認。また、CG映像に関しては、現

行のレーザーディスクから画像のデータ変換を行い、新たに搭載したメディアプレイヤーから映像を送信するようにシステムを変更した。一方、リアルタイムでテレビ放送を受信する液晶モニター7台（SONY携帯型液晶モノクロモニター“WATCHMAN”）に関しては、その一部に不具合が確認されたため、すべてを交換し、新たに14インチの液晶（カラー）モニターを搭載、その画像をblack & whiteに変換し、「地デジ」放送の受信を確認した。

また、以前から懸案となっていた「お父さん」の顔の部分にあたるモニター・カバーの白濁に関しては、1940年代に製作されたオリジナルのフロント・カバーの原材料による経年変化であることが判明、今後も定期的にシリコン・グリス・コンパウンドを塗布して処置を行うこととする。

**ボロフスキー, ジョナサン 《ハンマリングマン》**

1982年 木、鉄、アルミニウム、モーター、ファイバーグラス 高さ442cm

定期点検及び清掃、水性塗料（艶消し）による本体の塗装を行う。モーター、各ボルト部分を点検した後、モーター・シャフト部分のグリスと防錆処理を行う。また、タイマーを取替え、作動時間（インターバル）を新たに設定した。2007年以来、5分間の停止イン

ターバルの後に、3分間作動するように設定していたが、来館者への地下ロビー滞留時間を考慮し、3分間の停止インターバルの後に、2分間作動するように新たに設定した。

**ボロフスキー, ジョナサン 《フライングマン》**

1981-83年 アクリル、スチロフォーム 218×107×91cm

1988年の開館以来、地下ロビーのおよそ8mの高さに展示していた同作品の左手第二指から第四指にかけての部分が破損、脱落しかけていることが判明。撤収し、修復することになった。同部分は、作家自身の手から直接型をとったもので、ゴム製素材に彩色を施

して、下地となるそのゴムが経年により脆くなり、指の部分に亀裂が入ったのが原因であることが判明。亀裂部分を補強し、仕上げの補彩を行い、地上8mの空中に張られたワイヤーに吊るして固定、設置、復旧した。

**グルームス, レッド 《ウールワース・ビルディング：「ラッカス・マンハッタン」より》**

1975-76年 ミクストメディア 566×400×500cm

1994年の設置・展示以来、十分な清掃ができずに居た同作品を、エアー・コンプレッサーならびに刷毛による清掃を行った。ビルディング周囲に張り巡らされた舗道や背後の部分を本体から離し、清掃を行い、その後作品の構造を確認した後に組み立て、復旧した。

**コールダー, アレキサンダー 《ファブニール・ドラゴンⅡ》**

1969年 着色スチール 325×411×238cm

定期点検及び清掃。洗浄、防錆処理の後、下塗り一回、上塗り二回の全面塗装を行う。また、本体と回転翼との連結部分へのグリスの塗布、各部のボルトの点検等を行う。

収蔵資料貸出（平成26年度）

作家名	作品名	貸出期間・貸出先	展覧会名・展示期間
マルク・シャガール	二重肖像	H.26. 8.17～H.27. 7.26 パラッツォ・レアーレ ベルギー王立美術館	「シャガール」展 H.26. 9.17～H.27. 1.18 H.27. 2.27～H.27. 6.28
ナムジュン・パイク	ロボット家族(お父さん・お母さん)	H.26. 8.18～H.27. 1.31 アジア・ソサエティ美術館	「ナムジュン・パイク：発展、革命、解明」展 H.26. 9. 5～H.27. 1. 4
河野次郎	(受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [名古屋時代の習作素描] (受託美術品) [制服原画] 服制 (受託美術品) [制服原画] fig.1 御前立 (受託美術品) [制服原画] fig.2 御正帽/御略帽 (受託美術品) [制服原画] fig.3 御正衣 (受託美術品) [制服原画] fig.3-3 同後面 (受託美術品) [制服原画] fig.5 御短袴 (受託美術品) [制服原画] fig.6 御飾帯/御飾緒 (受託美術品) [制服原画] fig.7 御正剣/御正剣帯/御正剣緒 (受託美術品) [制服原画] fig.7 御軍衣 (受託美術品) [制服原画] fig.8-8 同後面 (受託美術品) [制服原画] fig.11 御外套御頭巾/同雨覆 (受託美術品) [制服原画] fig.12 御外套 (受託美術品) [制服原画] fig.12-12 同後面 (受託美術品) [制服原画] fig.13 頭絡/轡銜及轡鎖 (受託美術品) [制服原画] fig.14 腹帯 (受託美術品) [制服原画] fig.15 鞆/鞆 (受託美術品) [制服原画] fig.16 鞆 (受託美術品) [制服原画] fig.17 拳銃囊/鞍褥 (受託美術品) [制服原画] fig.18 鐙/鐙革 (受託美術品) [制服原画] fig.20 鞍 (受託美術品) [無題] (受託美術品) [無題] (受託美術品) [無題] (受託美術品) [無題] (受託美術品) [無題]	H.26. 8.22～H.27. 4. 9 足利市立美術館 栃木県立美術館	「河野次郎と明治・大正の画人ネットワーク」展 H.26. 9. 6～H.26.10. 5 H.27. 1.10～H.27. 3.22
三尾公三	男と女のスペース	H.26. 8.29～H.26.11.17 群馬県立近代美術館	「1974年―戦後日本美術の転換点」展 H.26. 9.13～H.26.11. 3
安井曾太郎	十和田湖	H.26. 9. 1～H.27. 1.11 ふくやま美術館 佐倉市立美術館	「安井曾太郎の世界」展 H.26. 9.20～H.26.11.16 H.26.11.22～H.12.11.25
藤田嗣治	自画像 家族の肖像	H.26. 9.10～H.26.11.14 秋田県立美術館	「藤田嗣治 どうぶつものがたり」展 H.26. 9.20～H.26.11. 4
浅野弥衛	それは閉ざされている 作品 作品	H.26. 9.15～H.27. 1. 9 三重県立美術館	「特集展示：生誕100年 浅野弥衛」展 H.26.10. 1～H.26.12.21

山本鼎	「ブルトンス」画稿 千曲川 [セザンヌ模写I] [セザンヌ模写II] [舞踏会] [部屋の中]	H.26.9.16～H.26.11.24 上田市立美術館	「山本鼎のすべて」展 H.26.10.2～H.26.11.9
海老原喜之助	風景 群島	H.26.9.16～H.27.4.15 鹿児島市立美術館 下関市立美術館 横須賀美術館	「海老原喜之助展」 H.26.10.2～H.26.11.9 H.26.11.15～H.26.12.28 H.27.2.7～H.27.4.5
赤瀬川原平	あいまいな海1 あいまいな海4 あいまいな海8 あいまいな海9 あいまいな海10 あいまいな海11(座骨内の眼球) 復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る) 事実か方法か1・2 不在の部屋 模型千円札II 押収品・模型千円札II パネル作品 押収品・模型千円札III 梱包作品(かばん) 押収品・模型千円札III 梱包作品(ボトル) 押収品・模型千円札III 梱包作品(かなづち) 大日本零円札と両替された現金の瓶詰 (受託美術品)ヴァギナのシート(二番目のプレゼント) (受託美術品)患者の予言(カラスの卵) (受託美術品)ホモロジー・男	H.26.10.13～H.27.6.15 千葉市美術館 大分市美術館 広島市現代美術館	「赤瀬川原平の芸術原論」展 H.26.10.28～H.26.12.23 H.27.1.7～H.27.2.22 H.27.3.21～H.27.5.31
伊藤廉	A.E.氏の肖像 岩山 夏	H.26.10.18～H.27.1.26 碧南市藤井達吉現代美術館	「もうひとつの『絵の話』 伊藤廉」展 H.26.11.1～H.27.1.12
小山田二郎	昔の聖者	H.26.10.24～H.27.3.9 府中市美術館	「生誕100年 小山田二郎」展 H.26.11.8～H.27.2.22
荻須高德	洗濯場、オーベルヴィリエ	H.27.1.9～H.27.9.21 神奈川県立近代美術館 葉山 富山県立近代美術館 世田谷美術館	「金山康喜のバリー1950年代の日本人画家たち」展 H.27.1.24～H.27.3.22 H.27.5.16～H.27.7.5 H.27.7.18～H.27.9.6
中村宏	ブーツと汽車 都市計画	H.27.1.30～H.27.4.13 浜松市美術館	「絵画者 中村宏展」 H.27.2.14～H.27.3.29
三岸好太郎	《蝶と貝殻》より ヒマラヤ杉と蝶 海洋を渡る蝶 蝶と蛾 雲の上の蛾	H.27.2.20～H.27.5.21 三重県立美術館	「空飛ぶ美術館」展 H.27.3.7～H.27.5.6

# 入館者一覽 VISITOR

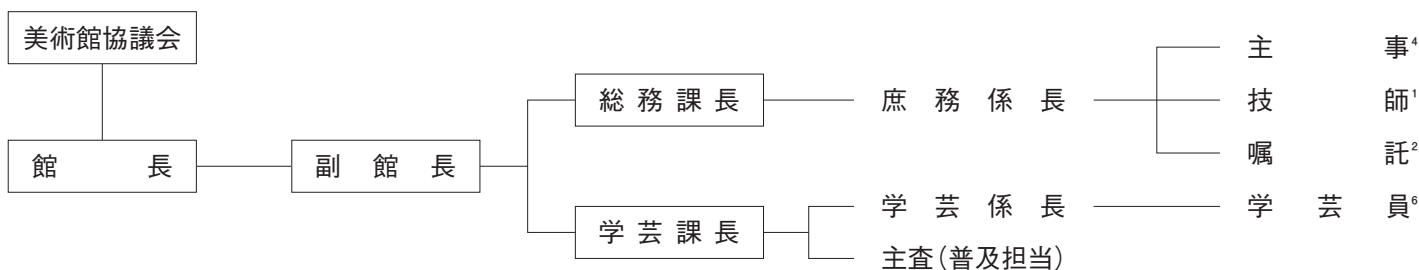
展覧会名	開催期間	開催日数	有 料			無 料			入場者総数	
			一般	高大生	有料小計	招待券等	中学生小以下	無料計		
常 設 展	平成26年 4月12日(土)～ 平成27年 3月29日(日)	251	4,214	1,323	5,537	70,531	10,490	81,021	86,558	
特 別 展	マインドフルネス! 高橋コレクション展 決定版2014	平成26年 4月12日(土)～ 平成26年 6月8日(日)	50	16,521	2,142	18,663	5,353	1,855	7,208	25,871
	挑戦する日本画：1950～ 1970年代の画家たち	平成26年 7月5日(土)～ 平成26年 8月24日(日)	44	7,155	698	7,853	3,922	1,506	5,428	13,281
	現代美術のハードコアは じつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより	平成26年 9月6日(土)～ 平成26年 10月26日(日)	44	5,480	1,435	6,915	3,577	457	4,034	10,949
	ゴー・ビトゥーンズ：こども を通して見る世界展	平成26年 11月8日(土)～ 平成26年 12月23日(火)	39	2,012	801	2,813	1,910	569	2,479	5,292
	だまし絵II	平成27年 1月10日(土)～ 平成27年 3月22日(日)	62	75,945	7,591	83,536	12,482	21,365	33,847	117,383
	特別展小計		239	107,113	12,667	119,780	27,244	25,752	52,996	172,776
合 計			111,327	13,990	125,317	97,775	36,242	134,017	259,334	
									教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く)	14,094
									総 計	273,428

## 〈年度別入館者数等〉

区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	累 計
展 覧 会	常 設 展	開催日数 280日	223日	275日	251日	7,701日
		入場者数 74,130人	69,656人	129,114人	86,558人	3,710,902人
	特 別 展	開催日数 238日	185日	217日	239日	5,761日
		入場者数 218,576人	190,562人	232,612人	172,776人	7,486,388人
入 場 者 小 計		292,706人	260,218人	361,726人	259,334人	11,197,290人
教育普及事業参加者		17,166人	54,039人	24,702人	14,094人	638,177人
入 館 者 合 計		309,872人	314,257人	386,428人	273,428人	11,835,467人



### 1 組織図



### 2 美術館協議会

#### (1)名古屋市美術館協議会委員

名古屋市立東山小学校長	佐藤 佳子	愛知県私学協会副会長	大谷 恩
愛知県立旭丘高等学校長	笹尾 幸夫	名古屋市立向陽高等学校長	津金 倫明
公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	別所 眞三	金城学院大学人間科学部教授	原 史子
名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	橋本りゑ子	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	二村 里美
公募委員	近藤 眞理	愛知県立芸術大学美術学部教授	小西 信之
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂夫	愛知県美術館長	村田 眞宏
名古屋造形大学造形学部教授	江本菜穂子	名古屋大学文学研究科准教授	加藤 靖恵

#### (2)名古屋市美術館協議会開催状況

日 時	場 所	協 議 題
第1回定例会 平成26年 8月20日(水) 10:00~12:00	美術館講堂	○平成25年度事業実施結果について ○平成26年度事業実施状況について
第2回定例会 平成27年 2月18日(水) 10:00~12:00	美術館講堂	○平成26年度事業実施状況について ○平成27年度事業計画案について

### 3 職 員

館 長	横井 政和	学芸課長	深谷 克典
副館長	深谷 克典	学芸係長	山田 諭
総務課長	瀬音 秀幸	主査(普及)	石田みゆき
庶務係長	蘆澤 耕二	学 芸 員	角田美奈子
主 事	岸 正子		竹葉 丈
	布施 英彦		中村 暁子
	塚本 精蔵		笠木日南子
技 師	福満 和美		清家 三智
	小川 和秀		保崎 裕徳
	小崎 博一		
嘱 託	石川 信介		

### 4 運営予算

総予算費	内 訳	
239,663千円	特別展関係費	100,339千円
	常設展運営費	18,611千円
	資料関係費	5,791千円
	教育普及事業費	8,231千円
	調査研究費	1,572千円
	管 理 費	105,119千円

平成26年度名古屋市美術館年報

発行日

平成27年11月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号  
(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

## 名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005